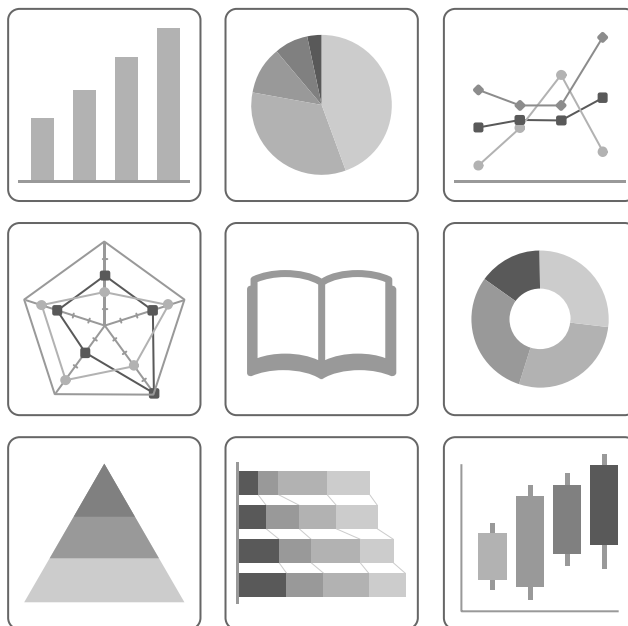


春日井市 子ども・子育てに関するアンケート調査 調査結果報告書



令和6年5月

春日井市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果.....	2
1	低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者	2
	(1) 家族の状況について	2
	(2) 子育ての環境について	9
	(3) 保護者の就労状況について	16
	(4) 平日の幼稚園、認定こども園、保育園などの利用状況【就学前のみ】	28
	(5) 土曜・休日や夏休みなどの長期休暇中の幼稚園等の利用希望【就学前のみ】	36
	(6) 不定期の保育や一時的な預かり等の利用【就学前のみ】	39
	(7) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況【就学前のみ】	41
	(8) 放課後の過ごし方	44
	(9) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度【就学前のみ】	65
	(10) 子育てについての考えや感じていること	75
2	小学校高学年本人	101
III	自由意見.....	114
1	低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者	114
2	小学校高学年本人	117

I 調査の概要

1 調査の目的

令和6年度の「第3次新かすがいっ子未来プラン（仮称）」計画策定にあたり、「子ども・子育て支援事業計画」の需要量の見込みを算出するとともに、「次世代育成支援対策行動計画」の基礎資料を得るため、市民の子育てに関する生活実態や子育て支援に対する意識等について調査を行ったものです。

2 調査対象

- (1) 市内在住の就学前の児童を養育する保護者（以下「就学前児童保護者」という。）
- (2) 市内在住の小学校低学年の児童を養育する保護者（以下「低学年児童保護者」という。）
- (3) 市内在住の小学校高学年の児童を養育する保護者（以下「高学年児童保護者」という。）
- (4) 市内在住の小学校高学年児童

3 調査期間

【低学年・高学年】令和6年1月18日（木）～令和6年2月21日（水）

【就学前・高学年本人】令和6年1月18日（木）～令和6年2月16日（金）

4 調査方法

対象者に案内を郵送もしくは学校で配布し、Web アンケートによる回答

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	5,000 通	2,267 通	45.3%
低学年児童保護者	2,150 通	756 通	35.2%
高学年児童保護者	2,150 通	734 通	34.1%
小学校高学年本人	2,150 通	1,393 通	64.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

Ⅱ 調査結果

1 低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者

(1) 家族の状況について

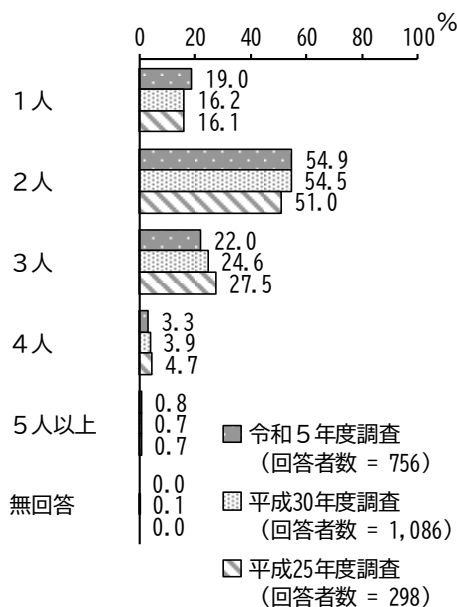
宛名に記載のあるお子さんを含め、子どもは全部で何人いらっしゃいますか。

低学年児童保護者・高学年児童保護者・就学前児童保護者ともに「2人」の割合が最も高くなっています。

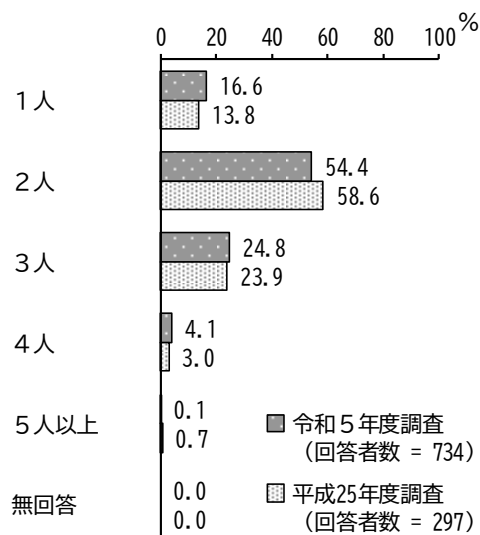
低学年児童保護者・就学前児童保護者ともに、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高学年児童保護者では、平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

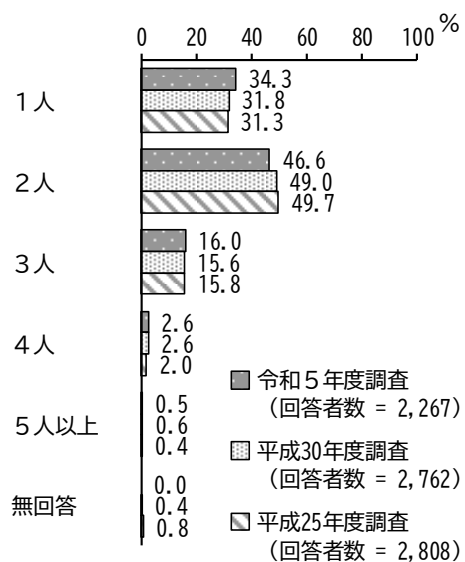
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



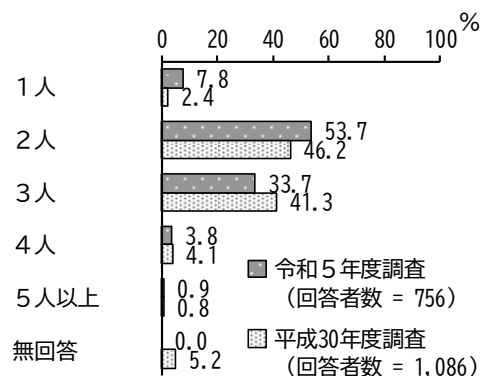
ご自身のご家庭で子どもは何人いるのが理想だと考えますか。

低学年児童保護者・高学年児童保護者・就学前児童保護者ともに「2人」の割合が最も高く、次いで「3人」の割合が高くなっています。

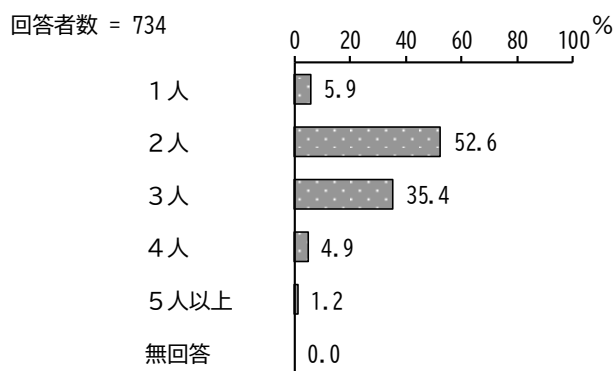
低学年児童保護者では、平成30年度調査と比較すると、「1人」「2人」の割合が増加しています。一方、「3人」の割合が減少しています。

就学前児童保護者では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

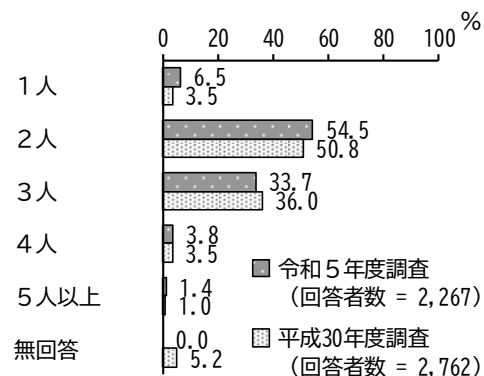
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



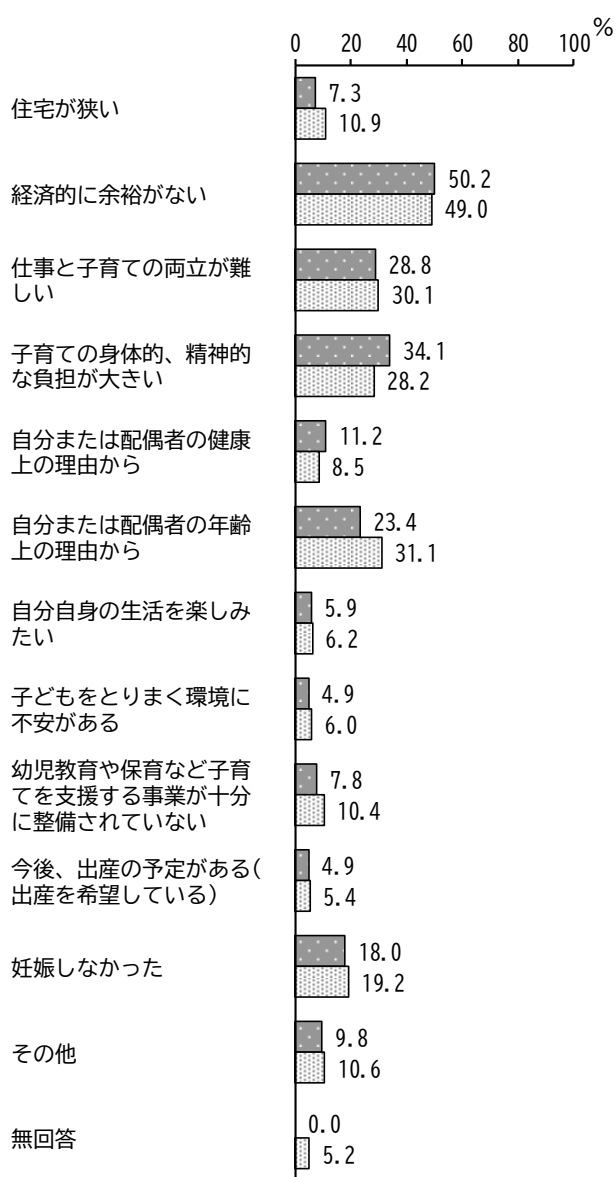
実際のお子さんの人数が理想の人数より少ない方にうかがいます。少ない理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

低学年児童保護者、高学年児童保護者ともに「経済的に余裕がない」の割合が最も高くなっています。

また、「仕事と子育ての両立が難しい」、「子育ての身体的、精神的な負担が大きい」、「自分または配偶者の年齢上の理由から」の割合が高い傾向にあります。

低学年児童保護者では、平成30年度調査と比較すると、「子育ての身体的、精神的な負担が大きい」の割合が増加しています。一方、「自分または配偶者の年齢上の理由から」の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】

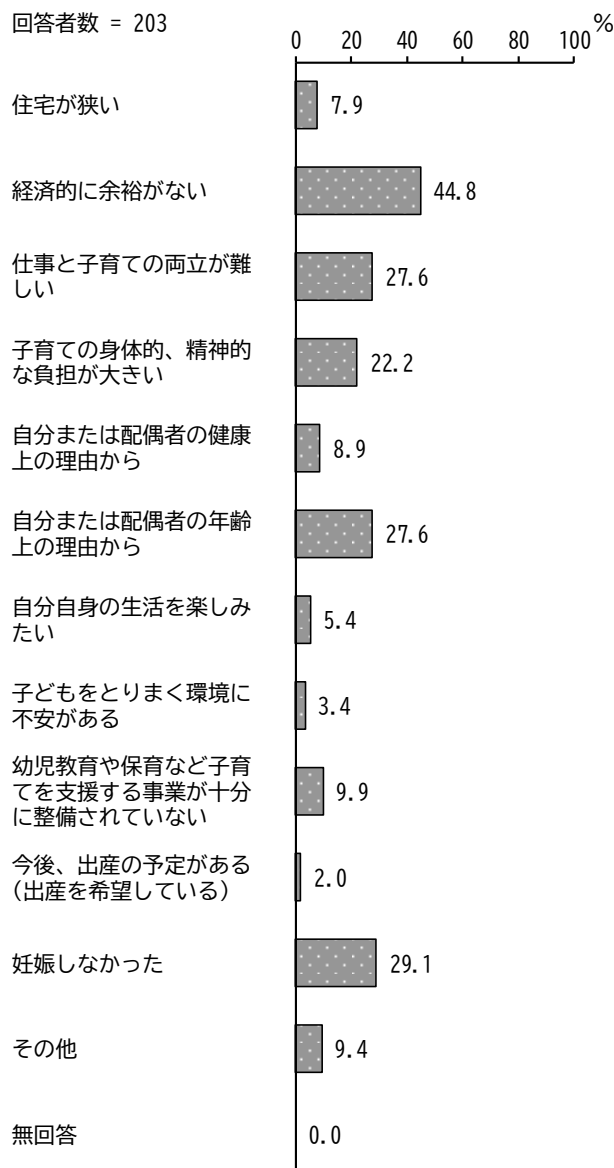


■ 令和5年度調査
(回答者数 = 205)

▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 386)

【高学年児童保護者】

回答者数 = 203

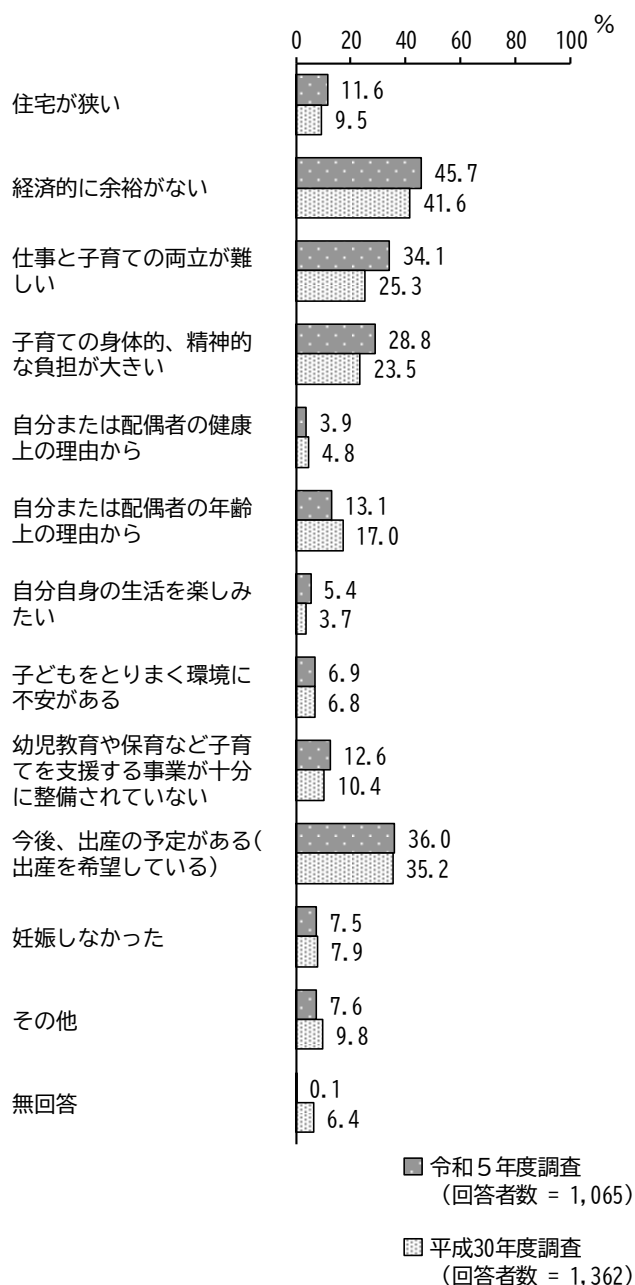


就学前児童保護者では、「経済的に余裕がない」の割合が最も高くなっています。

また、「仕事と子育ての両立が難しい」、「子育ての身体的、精神的な負担が大きい」、「今後、出産の予定がある（出産を希望している）」の割合が高い傾向にあります。

平成 30 年度調査と比較すると、「仕事と子育ての両立が難しい」「子育ての身体的、精神的な負担が大きい」の割合が増加しています。

【就学前児童保護者】



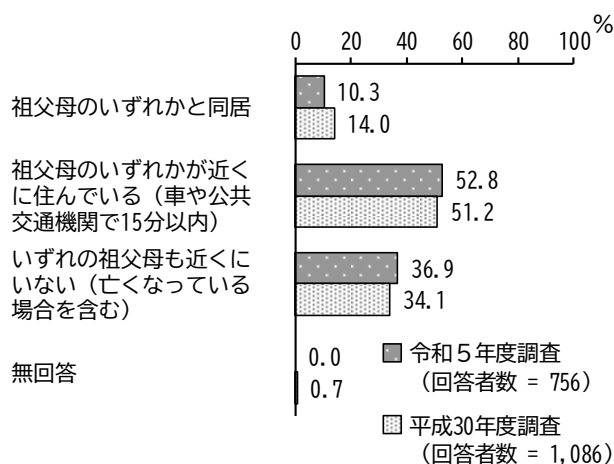
宛名のお子さんの祖父母についてうかがいます。

低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者のいずれも「祖父母のいずれかが近くに住んでいる（車や公共交通機関で15分以内）」、「いずれの祖父母も近くにいない（亡くなっている場合を含む）」の割合が高い傾向にあります。

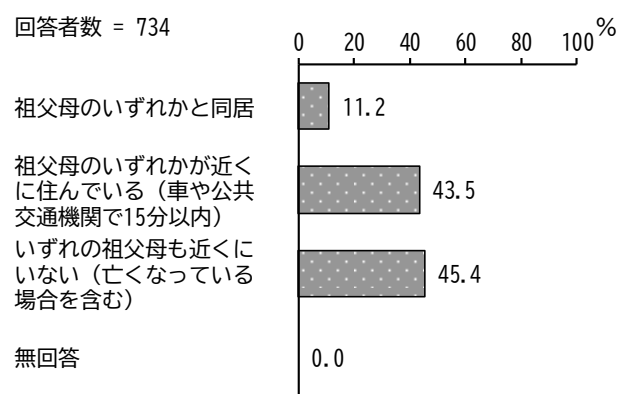
低学年児童保護者では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学前児童保護者では、平成30年度調査と比較すると、「いずれの祖父母も近くにいない（亡くなっている場合を含む）」の割合が増加しています。一方、「祖父母のいずれかが近くに住んでいる（車や公共交通機関で15分以内）」の割合が減少しています。

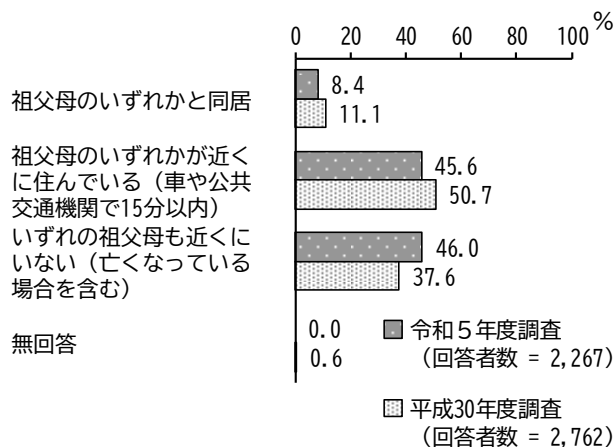
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



【低学年 家庭類型【現在】別】

家庭類型【現在】別にみると、ひとり親で「祖父母のいずれかと同居」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	祖父母のいずれかと同居	祖父母のいずれかが近くに住んでいる(車や公共交通機関で15分以内)	いずれの祖父母も近くにいない(亡くなっている場合を含む)	無回答
全 体	756	10.3	52.8	36.9	—
ひとり親	50	32.0	42.0	26.0	—
共働き	545	8.4	52.7	38.9	—
家事専業	160	10.0	56.9	33.1	—

【就学前 家庭類型【現在】別】

家庭類型【現在】別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	祖父母のいずれかと同居	祖父母のいずれかが近くに住んでいる（車や公共交通機関で15分以内）	いずれの祖父母も近くにいない（亡くなっている場合を含む）	無回答
全 体	2,267	8.4	45.6	46.0	—
ひとり親	65	33.8	36.9	29.2	—
共働き	1,562	7.3	46.9	45.8	—
家事専業	624	8.7	43.9	47.4	—

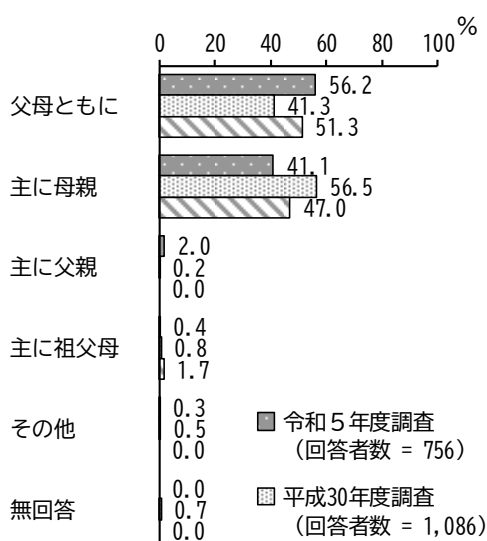
宛名のお子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。

低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者ともに「父母ともに」の割合が最も高く、次いで「主に母親」の割合が高くなっています。

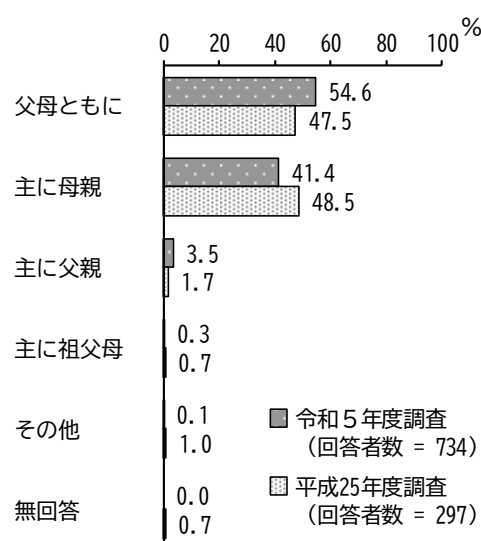
低学年児童保護者、就学前児童保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

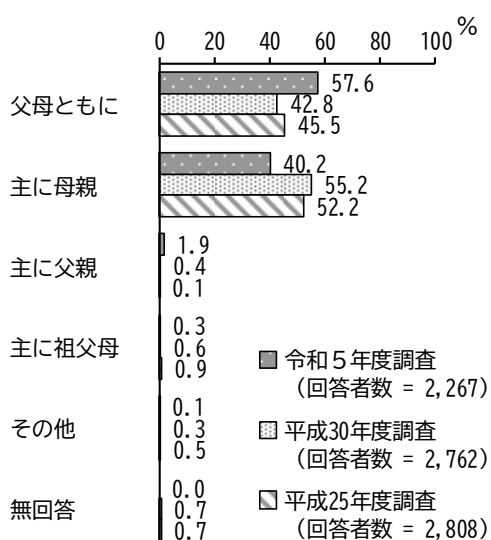
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



(2) 子育ての環境について

日ごろ、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまるものすべてを選んでください。

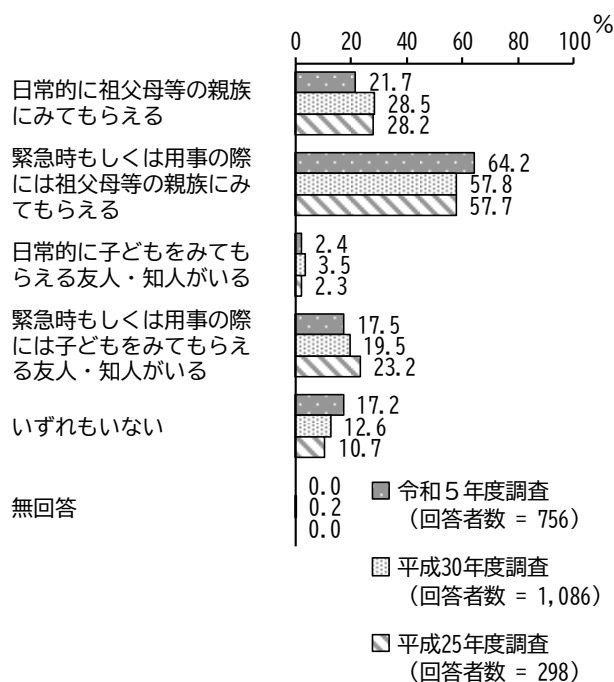
低学年児童保護者、高学年児童保護者ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が最も高くなっています。

次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっています。

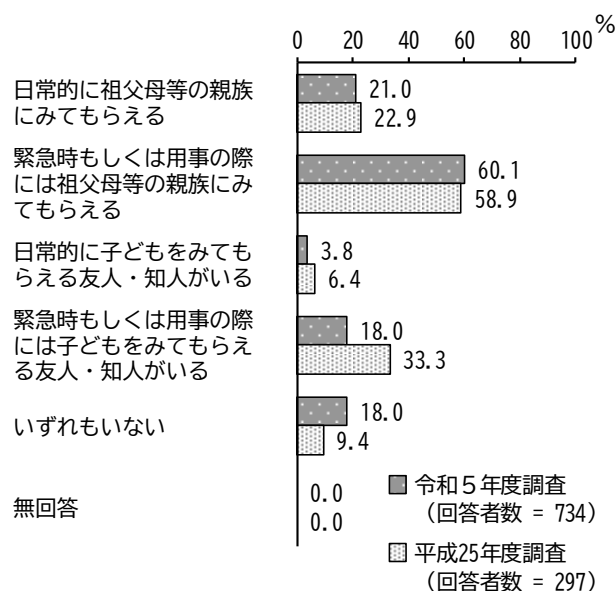
低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少しています。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】

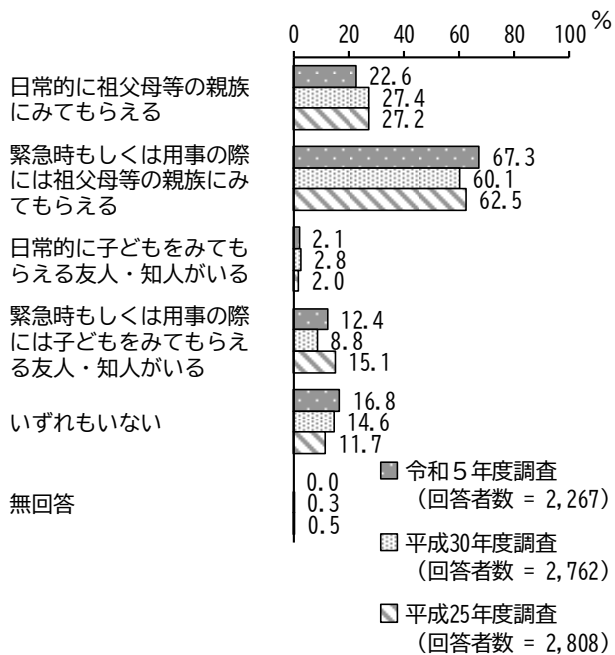


就学前児童保護者では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が最も高くなっています。

次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が増加しています。

【就学前児童保護者】



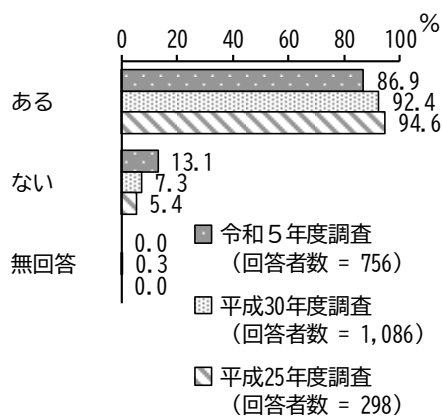
お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。

低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者ともに「ある」の割合が最も高くなっています。

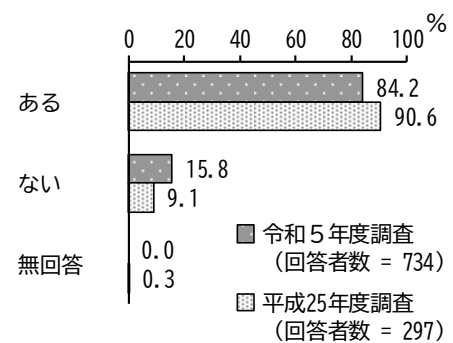
低学年児童保護者、就学前児童保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。

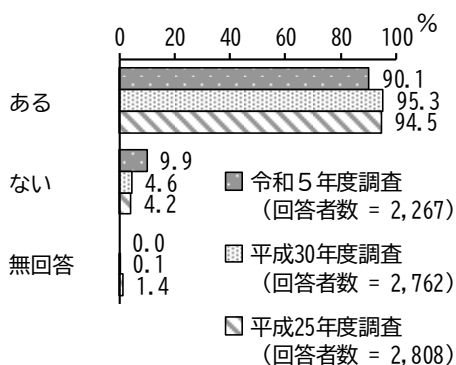
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】

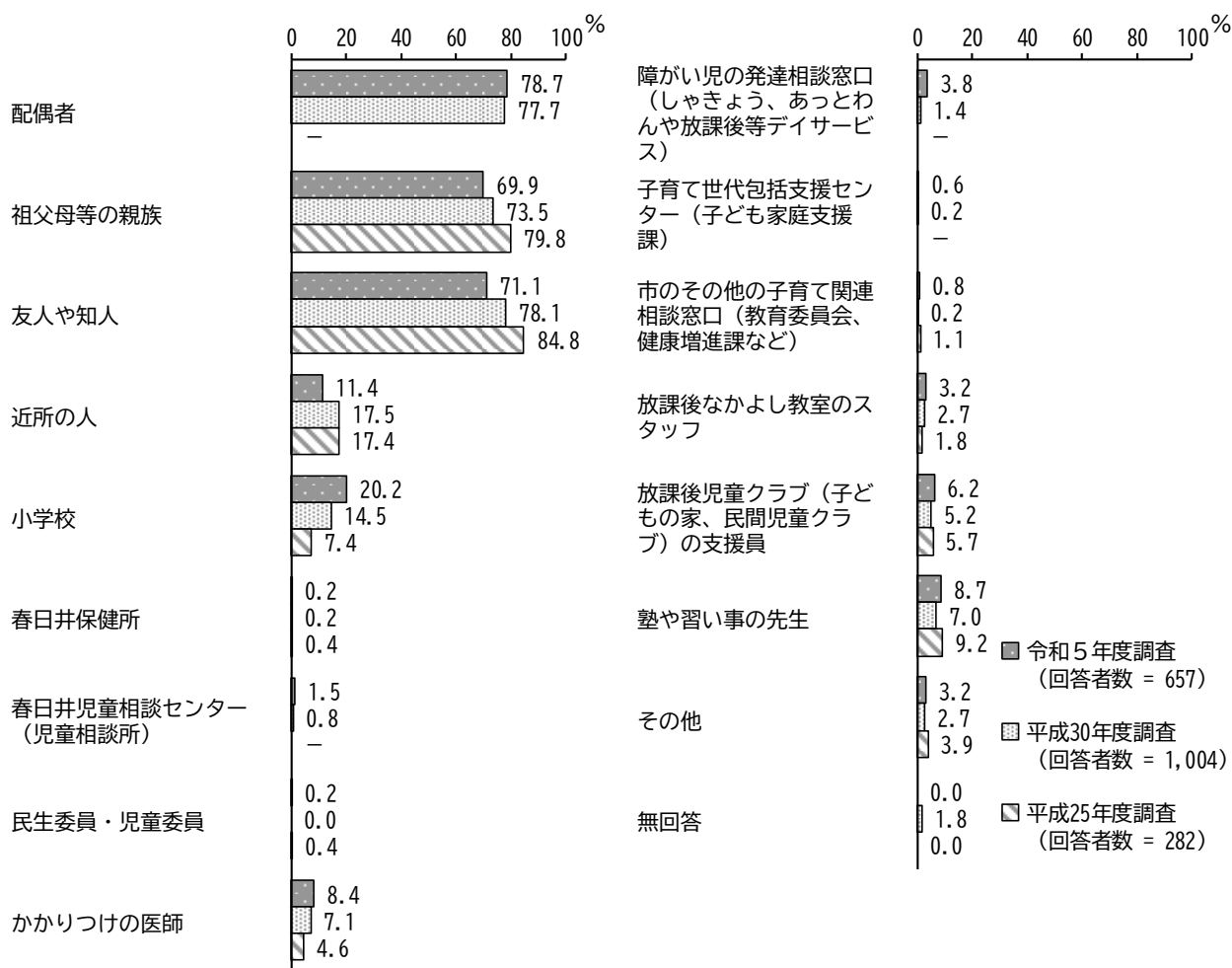


お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

低学年児童保護者では、「配偶者」、「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が高い傾向にあります。

平成30年度調査と比較すると、「小学校」の割合が増加しています。一方、「友人や知人」「近所の人」の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】

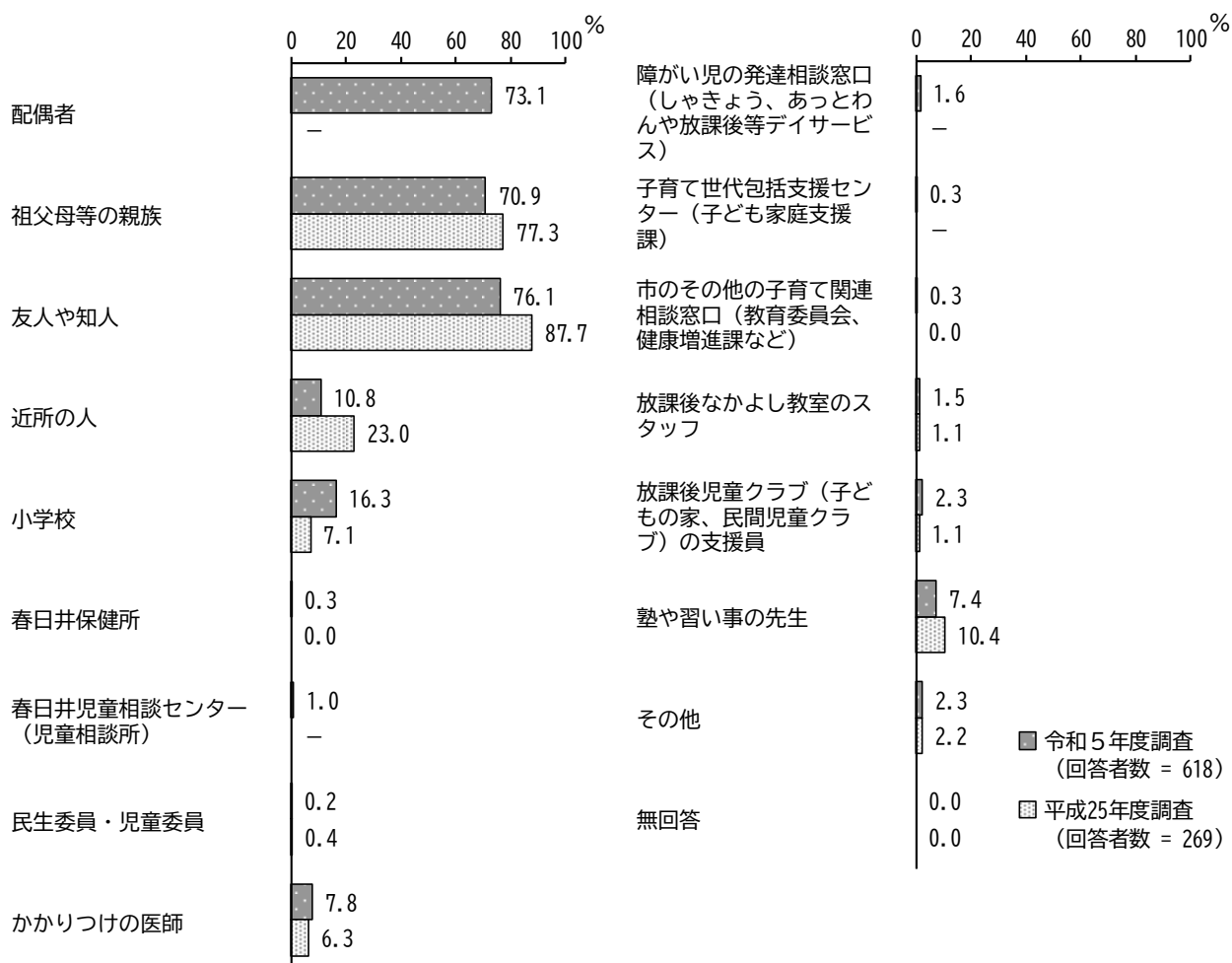


※前々回調査では、「配偶者」「春日井児童相談センター (児童相談所)」「障がい児の発達相談窓口 (しゃきょう、あつとわんや放課後等デイサービス)」「子育て世代包括支援センター (子ども家庭支援課)」の選択肢はありませんでした。

高学年児童保護者では、「配偶者」、「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が高い傾向にあります。

平成 25 年度調査と比較すると、「小学校」の割合が増加しています。一方、「祖父母等の親族」「友人や知人」「近所の人」の割合が減少しています。

【高学年児童保護者】

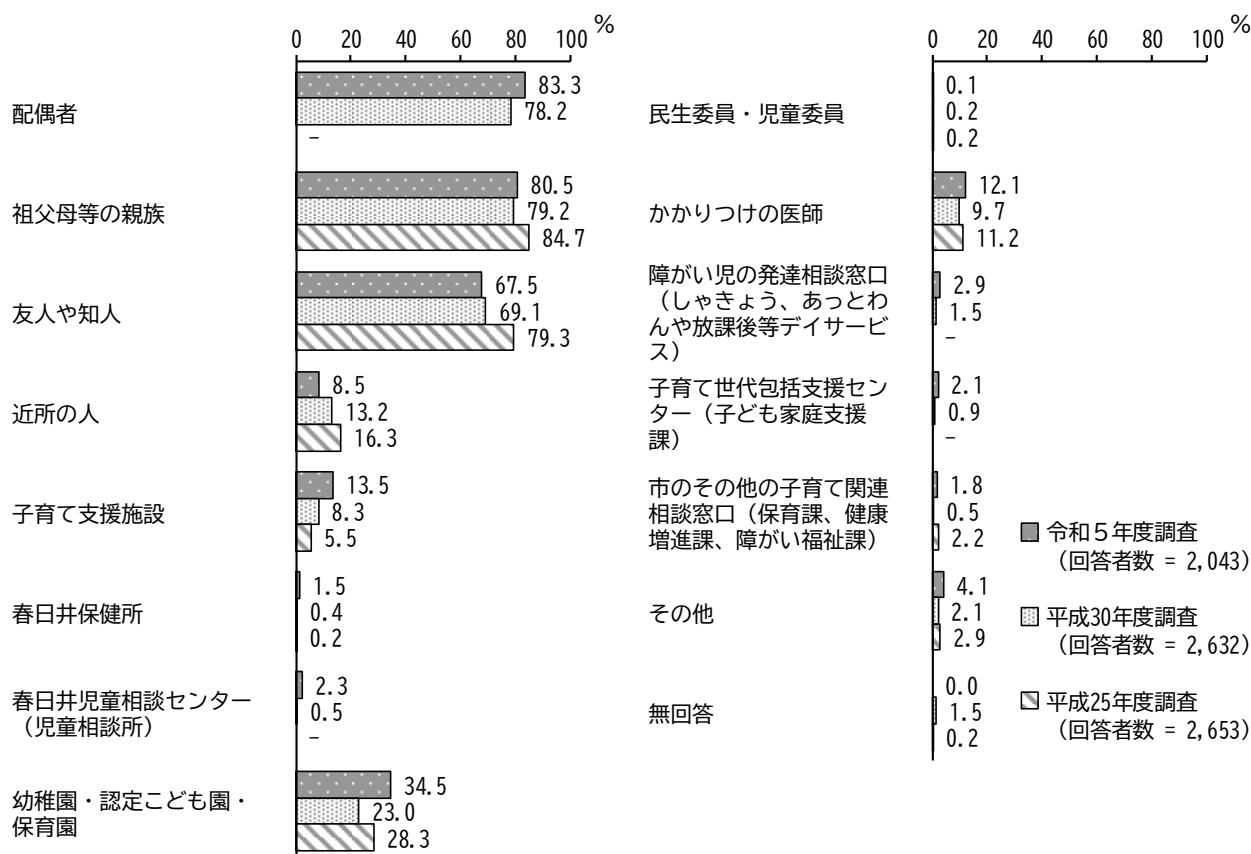


※前々回調査では、「配偶者」「春日井児童相談センター (児童相談所)」「障がい児の発達相談窓口 (しゃきょう、あつとわんや放課後等デイサービス)」「子育て世代包括支援センター (子ども家庭支援課)」の選択肢はありませんでした。

就学前児童保護者では、「配偶者」、「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が高い傾向にあります。

平成30年度調査と比較すると、「配偶者」「子育て支援施設」「幼稚園・認定こども園・保育園」の割合が増加しています。

【就学前児童保護者】



※前々回調査では、「配偶者」「春日井児童相談センター (児童相談所)」「障がい児の発達相談窓口 (しゃきょう、あつとわんや放課後等デイサービス)」「子育て世代包括支援センター (子ども家庭支援課)」の選択肢はありませんでした。

市や関連機関の相談先を知っていながらも利用しない方にうかがいます。利用しない理由はなんですか。あてはまるものすべてを選んでください。

就学前児童保護者では、「代替方法がある（親族や友人に相談ができる等）」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「相談することがない」の割合が 26.8%、「申請等手続きが面倒」の割合が 20.5%となっています。

低学年児童保護者では、「相談することがない」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「代替方法がある（親族や友人に相談ができる等）」の割合が 33.2%、「申請等手続きが面倒」の割合が 14.3%となっています。

高学年児童保護者では、「相談することがない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「代替方法がある（親族や友人に相談ができる等）」の割合が 32.0%、「申請等手続きが面倒」の割合が 13.4%となっています。

遠方である

交通手段がない

申請等手続きが面倒

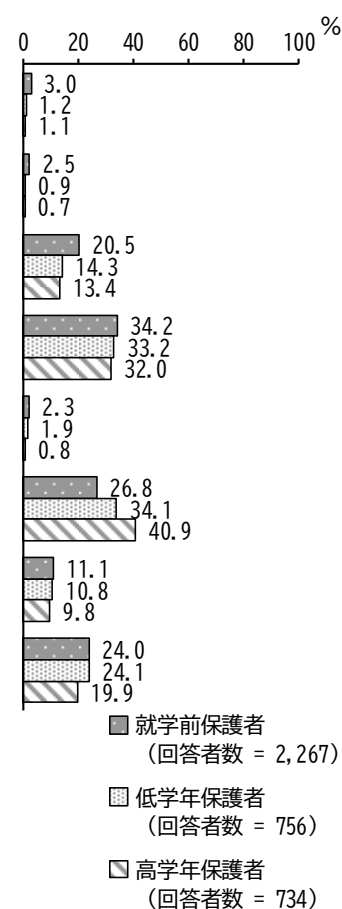
代替方法がある（親族や友人に相談ができる等）

相談できないほど疲弊している

相談することがない

その他

無回答



(3) 保護者の就労状況について

お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、あてはまるものを選んでください。

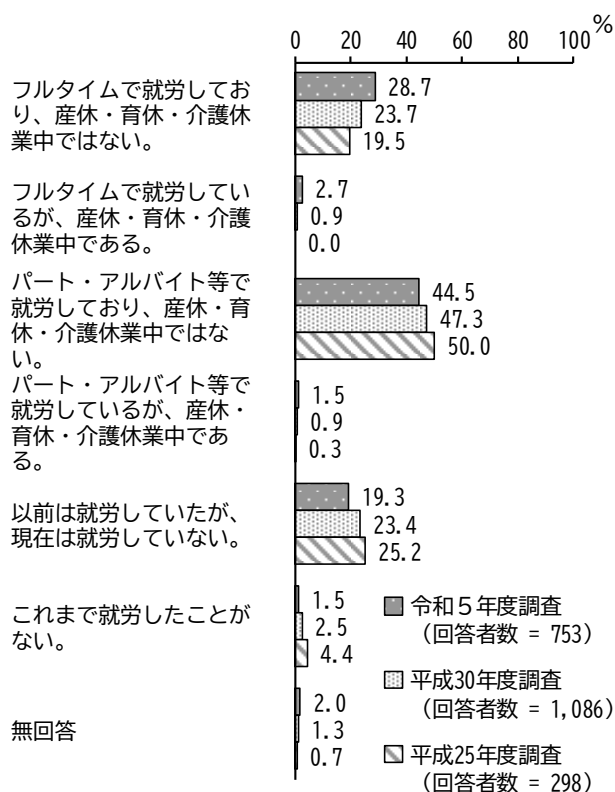
母親

低学年児童保護者及び高学年児童保護者では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。」の割合が最も高くなっています。

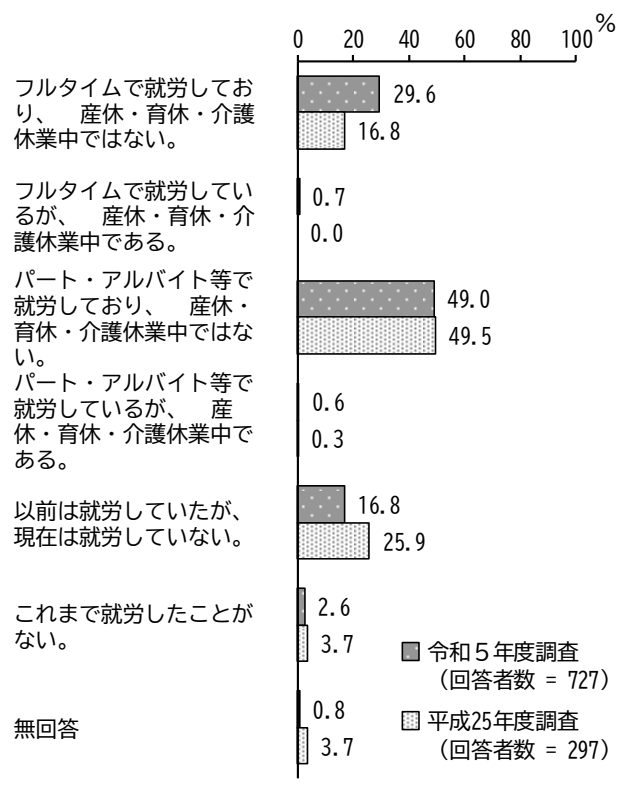
低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない。」の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



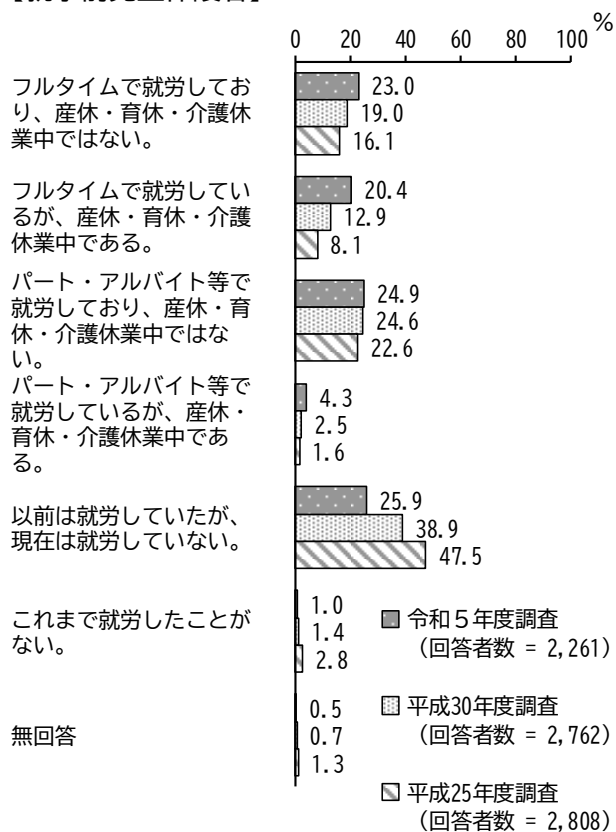
【高学年児童保護者】



就学前児童保護者では、「以前は就労していたが、現在は就労していない。」の割合が最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である。」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない。」の割合が減少しています。

【就学前児童保護者】



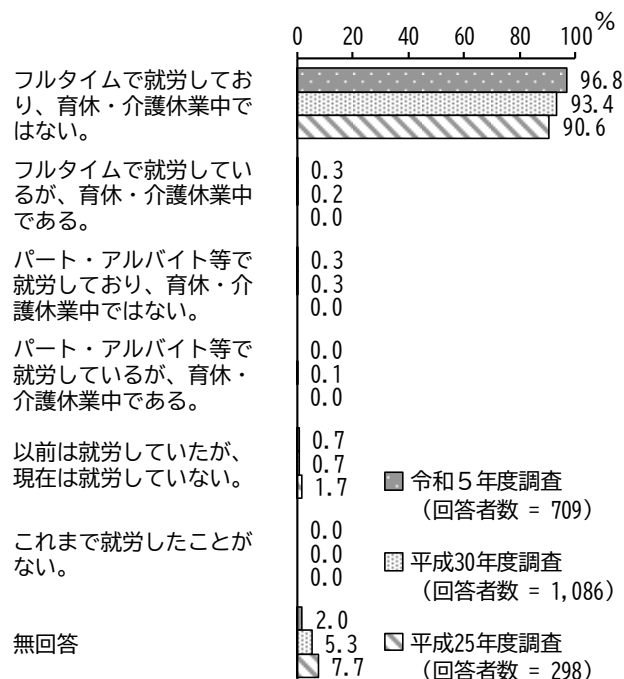
父親

低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。」の割合が最も高くなっています。

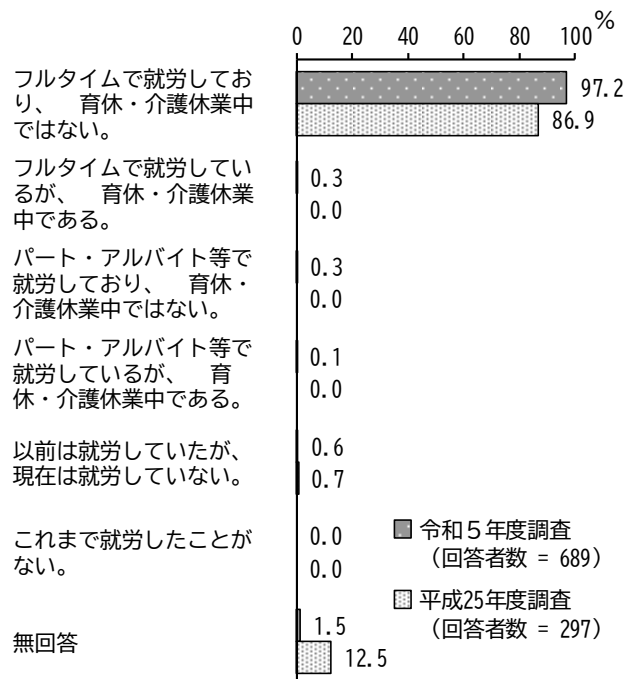
低学年児童保護者、就学前児童保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない。」の割合が増加しています。

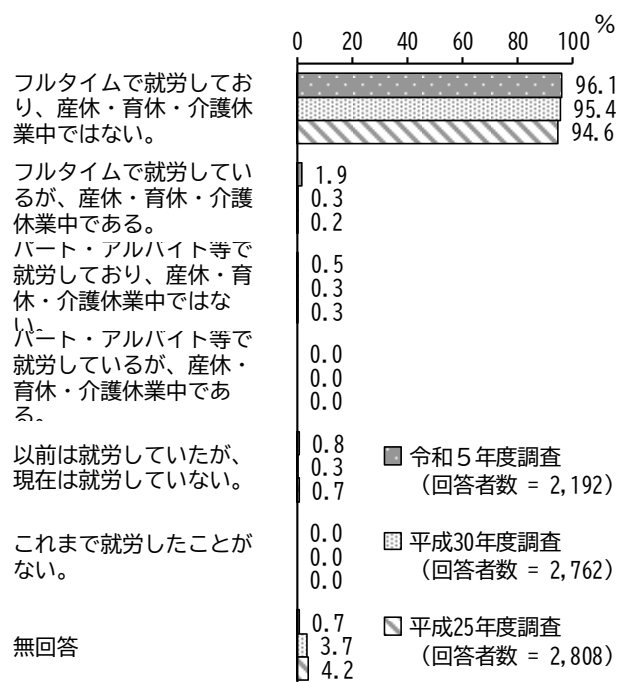
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



令和5年度調査

【就学前 年齢（3区分）別】

母親の就労状況について、年齢（3区分）別にみると、0歳で「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である。」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない。	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である。	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である。	以前は就労していたが、現在は就労していない。	これまで就労したことがない。	無回答
全 体	2,261	23.0	20.4	24.9	4.3	25.9	1.0	0.5
0歳	571	8.4	47.1	6.7	8.9	27.5	0.7	0.7
1・2歳	647	24.1	19.0	25.3	3.4	27.0	0.8	0.3
3～5歳	1,042	30.2	6.5	34.7	2.3	24.4	1.3	0.5

平成30年度調査

【就学前 年齢（3区分）別】

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない。	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である。	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である。	以前は就労していたが、現在は就労していない。	これまで就労したことがない。	無回答
全 体	2,762	19.0	12.9	24.6	2.5	38.9	1.4	0.7
0歳	732	6.3	31.6	7.5	4.6	48.9	0.8	0.3
1・2歳	837	23.2	8.6	22.8	1.9	41.7	1.1	0.7
3～5歳	1,175	23.8	4.4	36.6	1.4	30.8	2.1	0.9

1 週あたりの「就労日数」をお答えください。

母親の1 週あたりの平均就労日数は、就学前児童保護者が 4. 68 日、低学年児童保護者が 4. 49 日、高学年児童保護者が 4. 40 日となっています。

父親の1 週あたりの平均就労日数は、就学前児童保護者、高学年児童保護者が 5. 21 日、低学年児童保護者が 5. 20 日となっています。

【1 週あたりの平均就労日数】

	就学前	低学年	高学年
①母親	4. 68 日	4. 49 日	4. 40 日
②父親	5. 21 日	5. 20 日	5. 21 日

1 日あたりの「就労時間」をお答えください。

母親の1 日あたりの平均就労時間は、就学前児童保護者が 6. 65 時間、低学年児童保護者が 6. 23 時間、高学年児童保護者が 6. 17 時間となっています。

父親の1 日あたりの平均就労時間は、就学前児童保護者、低学年児童保護者が 9. 46 時間、高学年児童保護者が 9. 49 時間となっています。

【1 日あたりの平均就労時間】

	就学前	低学年	高学年
①母親	6. 65 時間	6. 23 時間	6. 17 時間
②父親	9. 46 時間	9. 46 時間	9. 49 時間

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまるものを選んでください。

母親

低学年児童保護者では、「今のまま（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 28.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

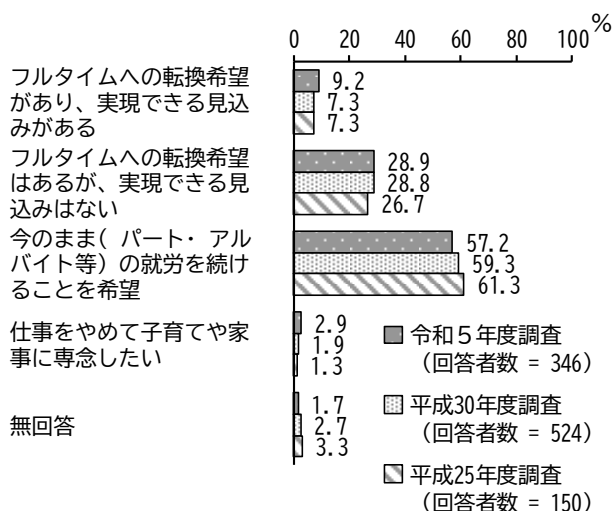
高学年児童保護者では、「今のまま（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 23.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

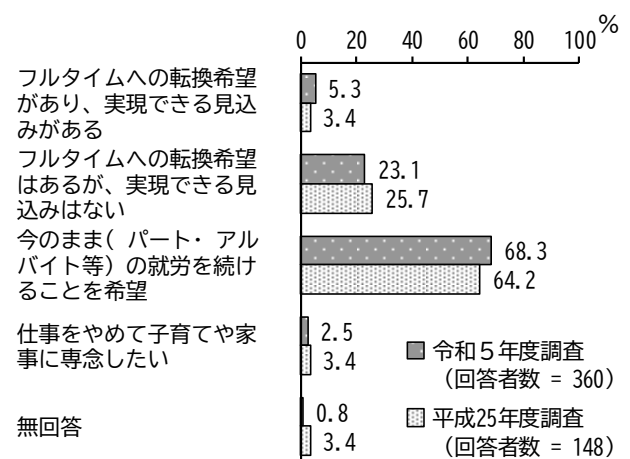
就学前児童保護者では、「今のまま（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 33.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

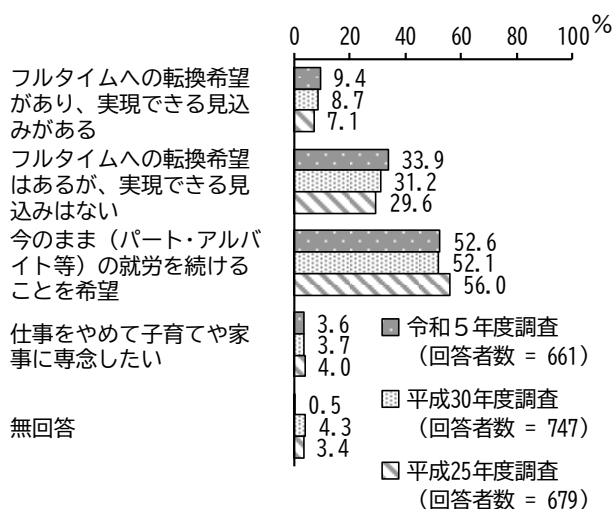
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



父親

低学年児童保護者では、「今のまま（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望」が1件となっています。

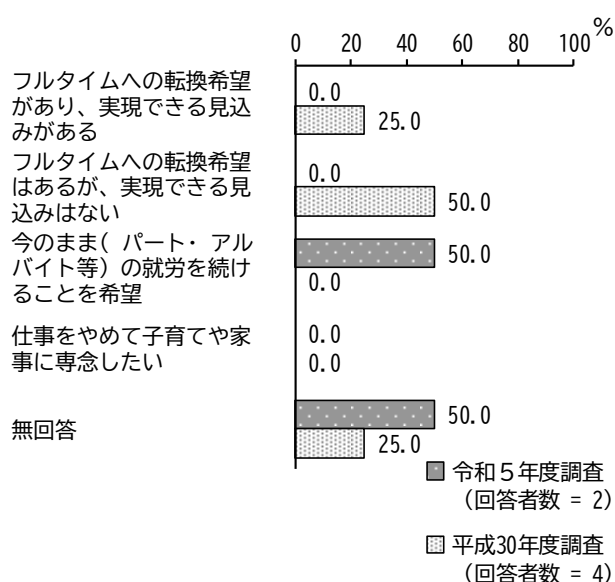
平成 30 年度調査と比較すると、「今のまま（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。

高学年児童保護者では、「今のまま（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望」が2件となっています。

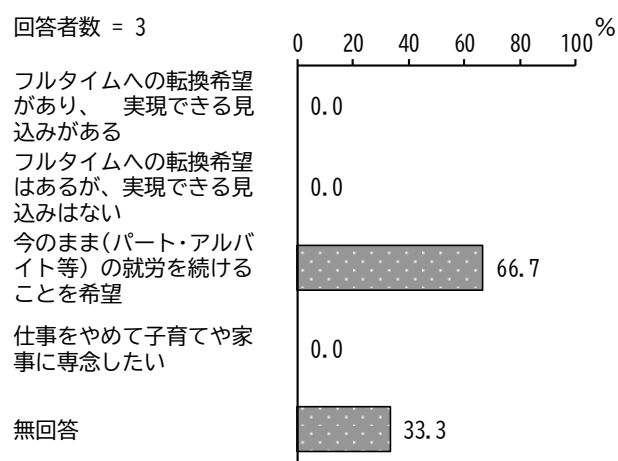
就学前児童保護者では、「今のまま（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 41.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「今のまま（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が減少しています。

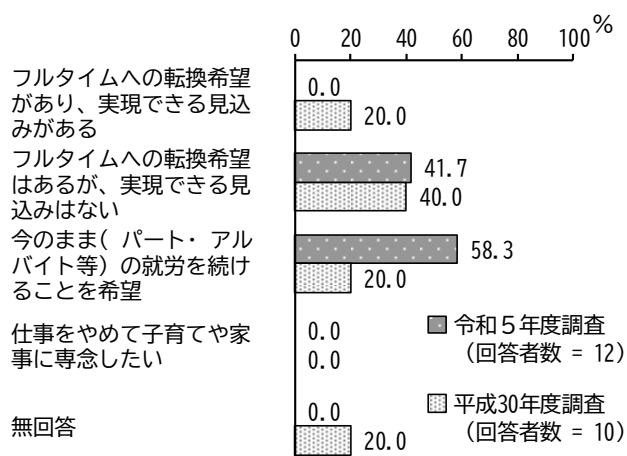
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



就労したいという希望はありますか。あてはまるものを選んでください。

就学前児童保護者の母親では、「1年より先、一番下の子どもが大きくなった頃に働きたい」の割合が56.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい（パート・アルバイト等）」の割合が26.4%となっています。

父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい（フルタイム）」の割合が70.6%と最も高くなっています。

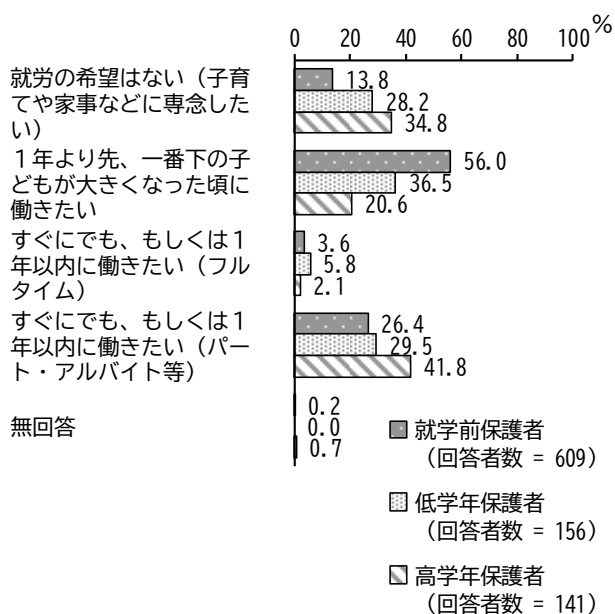
低学年児童保護者の母親では、「1年より先、一番下の子どもが大きくなった頃に働きたい」の割合が36.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい（パート・アルバイト等）」の割合が29.5%となっています。

父親では、「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」が4件となっています。「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい（フルタイム）」が1件となっています。

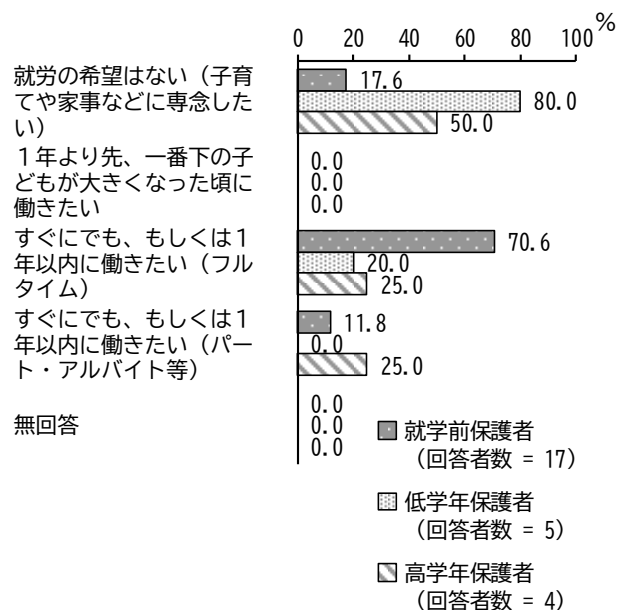
高学年児童保護者の母親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい（パート・アルバイト等）」の割合が41.8%と最も高く、次いで「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」の割合が34.8%となっています。

父親では、「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」が2件となっています。「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい（フルタイム）」、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい（パート・アルバイト等）」が1件となっています。

【母親】



【父親】



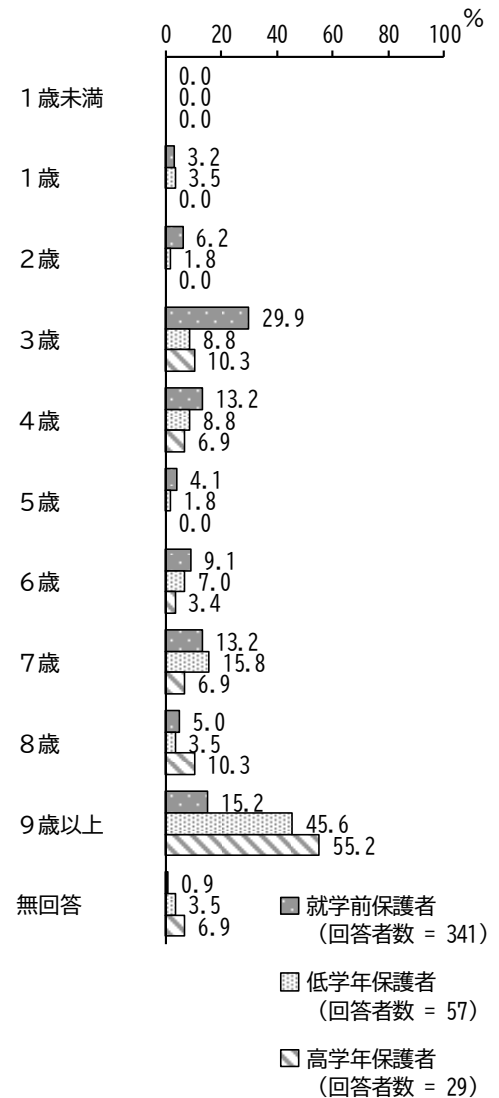
「1年より先、一番下の子どもが大きくなった頃に働きたい」と回答した方にうかがいます。一番下のお子さんが何歳になった頃に働きたいですか。（※年齢をお答えください。）

母親

就学前児童保護者では、「3歳」の割合が29.9%と最も高く、次いで「9歳以上」の割合が15.2%、「4歳」、「7歳」の割合が13.2%となっています。

低学年児童保護者では、「9歳以上」の割合が45.6%と最も高く、次いで「7歳」の割合が15.8%となっています。

高学年児童保護者では、「9歳以上」の割合が55.2%と最も高く、次いで「3歳」、「8歳」の割合が10.3%となっています。



父親

就学前児童保護者、低学年児童保護者、高学年児童保護者ともに、有効回答がありませんでした。

現在の主な勤務地はどこですか。

就学前児童保護者の母親では、「春日井市内」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「名古屋市内」の割合が 30.5%、「名古屋市を除く県内」の割合が 12.7%となっています。

父親では、「名古屋市内」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「名古屋市を除く県内」の割合が 27.8%、「春日井市内」の割合が 25.0%となっています。

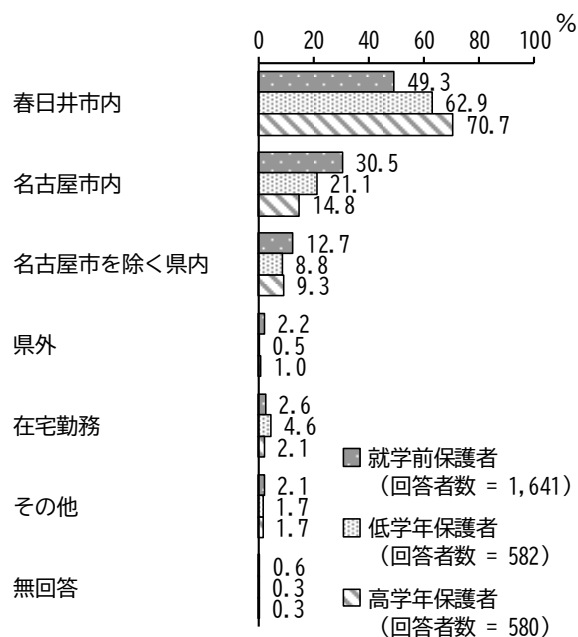
低学年児童保護者の母親では、「春日井市内」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「名古屋市内」の割合が 21.1%となっています。

父親では、「名古屋市内」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「名古屋市を除く県内」の割合が 25.7%、「春日井市内」の割合が 25.4%となっています。

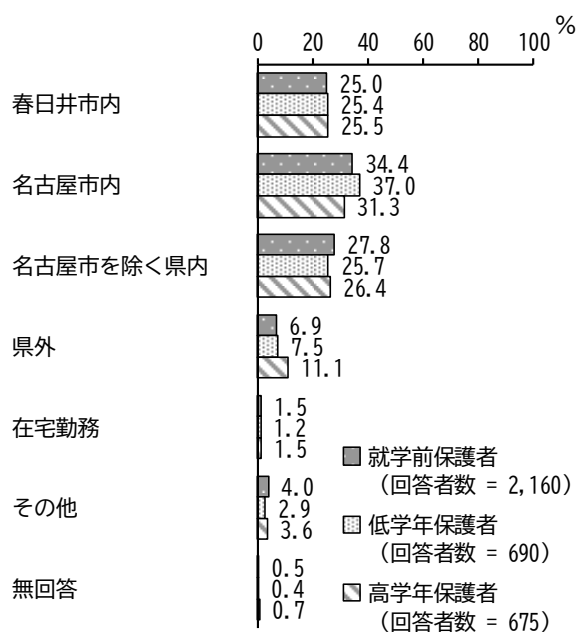
高学年児童保護者の母親では、「春日井市内」の割合が 70.7%と最も高く、次いで「名古屋市内」の割合が 14.8%となっています。

父親では、「名古屋市内」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「名古屋市を除く県内」の割合が 26.4%、「春日井市内」の割合が 25.5%となっています。

【母親】



【父親】

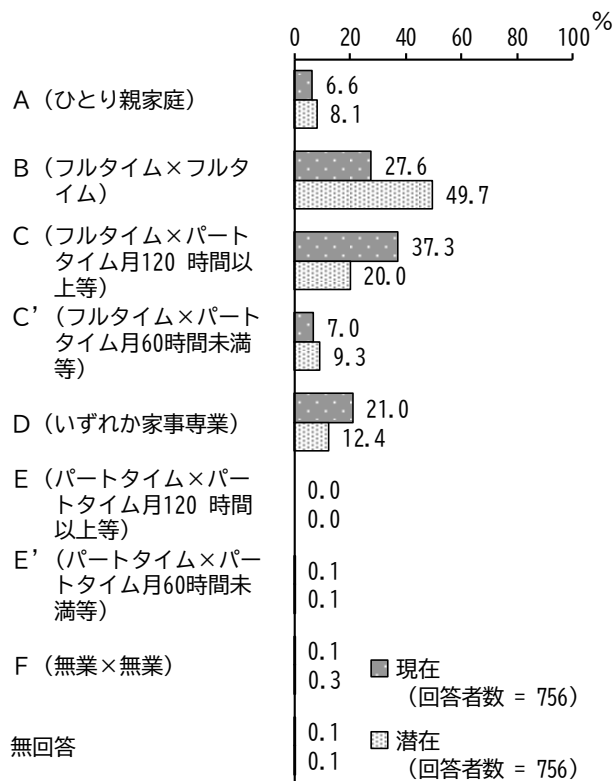


家庭類型

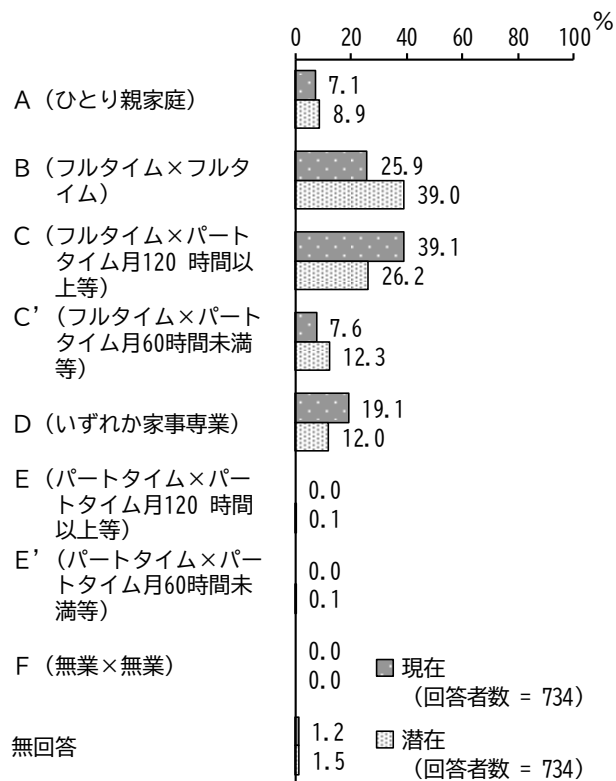
低学年児童保護者及び高学年児童保護者では、現在はC（フルタイム×パートタイム月120時間以上等）が最も高く、潜在はB（フルタイム×フルタイム）の割合が最も高くなっています。

就学前児童保護者では、現在・潜在ともにB（フルタイム×フルタイム）の割合が最も高くなっています。

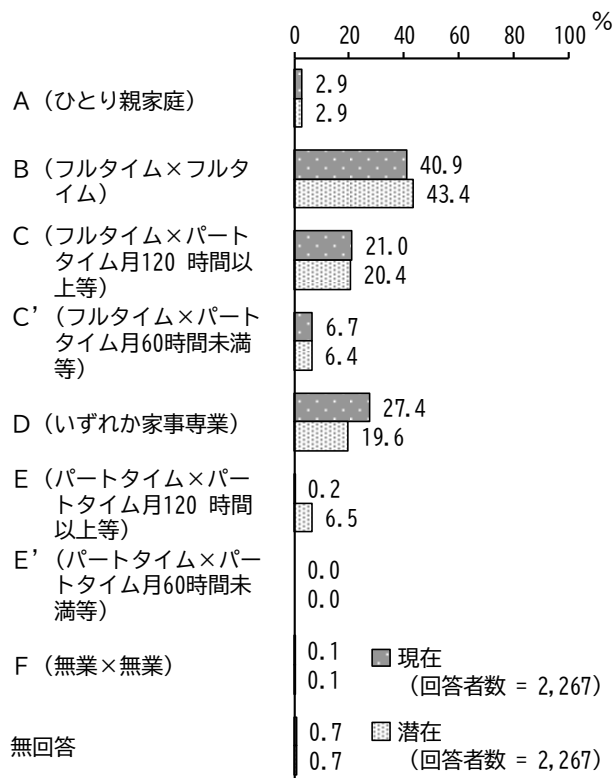
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】

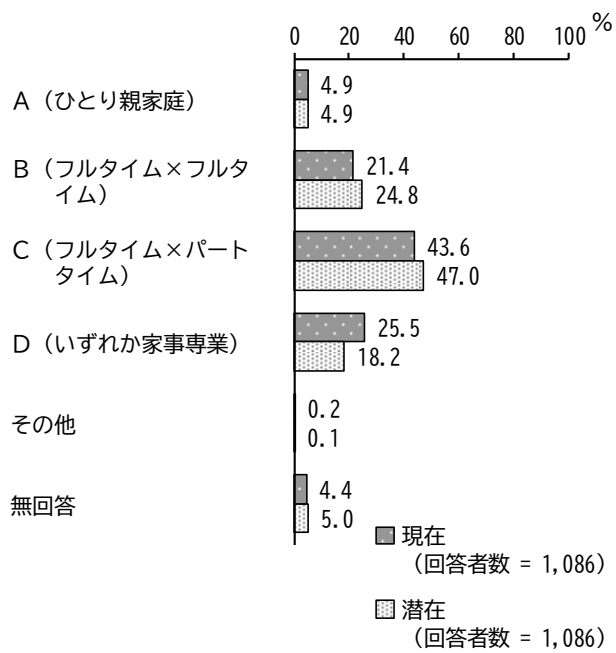


【就学前児童保護者】

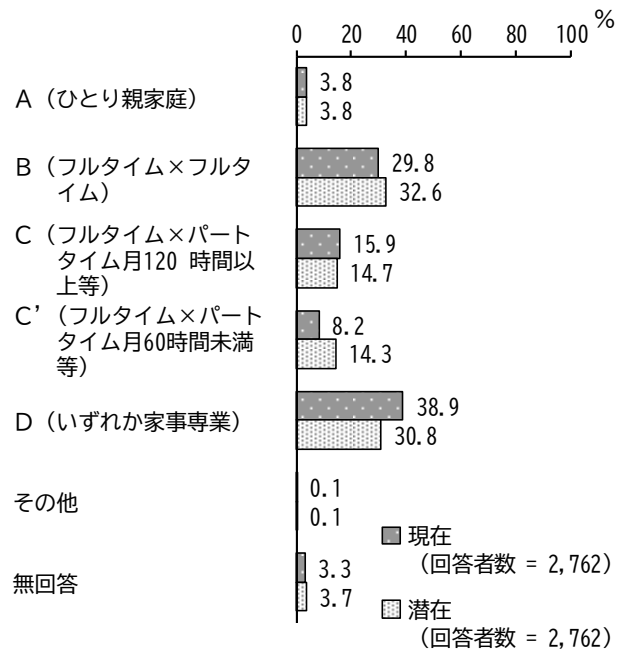


【参考 前回調査】

【低学年児童保護者】



【就学前児童保護者】

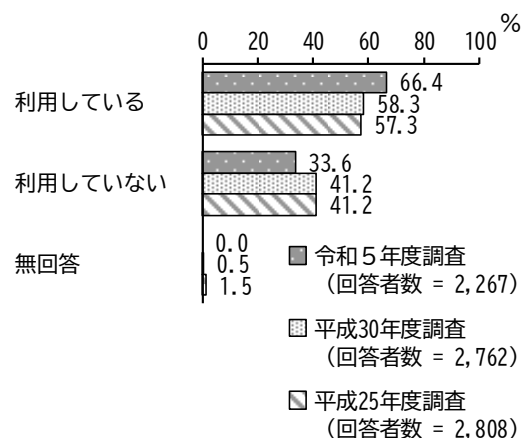


(4) 平日の幼稚園、認定こども園、保育園などの利用状況【就学前のみ】

宛名のお子さんは現在、幼稚園、認定こども園、保育園などを「定期的（平日）」に利用していますか。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「利用している」の割合が「利用していない」の割合より高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



【就学前 家庭類型【現在】別】

家庭類型【現在】別にみると、お子さんが0～2歳の場合、ひとり親で「利用している」の割合が高くなっています。

0～2歳

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	1,220	38.4	61.6	—
ひとり親	31	71.0	29.0	—
共働き	831	48.4	51.6	—
家事専業	349	12.3	87.7	—

【就学前 家庭類型【現在】別】

家庭類型【現在】別にみると、お子さんが3歳以上の場合、大きな差はみられません。

3歳以上

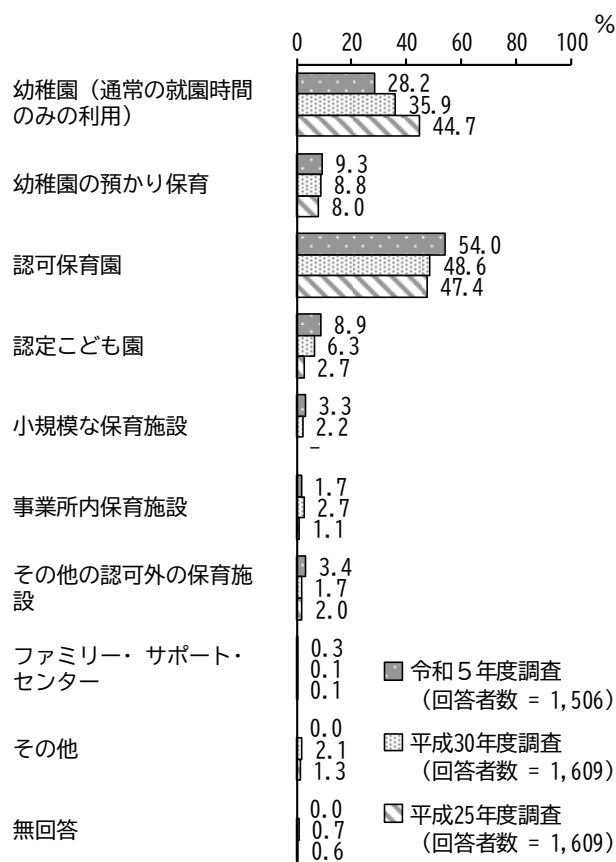
単位：％

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	1,046	99.1	0.9	—
ひとり親	34	100.0	—	—
共働き	730	99.6	0.4	—
家事専業	275	97.8	2.2	—

宛名のお子さんが、年間を通じて平日に「定期的」に利用している施設や事業をお答えください。あてはまるものすべてをお答えください。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「認可保育園」の割合が最も高く、次いで「幼稚園(通常の就園時間のみの利用)」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園(通常の就園時間のみの利用)」の割合が減少しています。



※前々回調査では、「小規模な保育施設」の選択肢はありませんでした。

【就学前 年齢(3区分)別】

年齢(3区分)別にみると、1・2歳で「認可保育園」の割合が高くなっています。

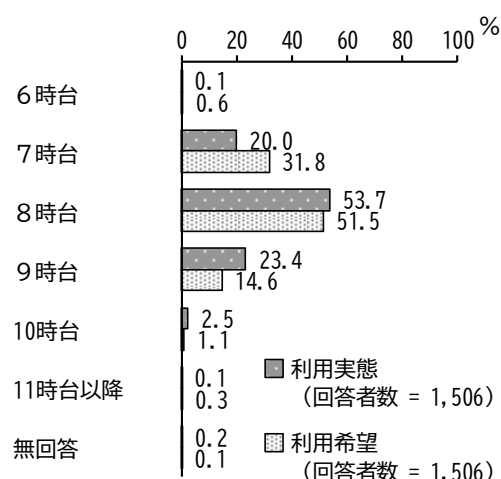
単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園(通常の就園時間のみの利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	1,506	28.2	9.3	54.0	8.9	3.3	1.7	3.4	0.3	—	—
0 歳	81	6.2	—	55.6	9.9	12.3	12.3	6.2	—	—	—
1・2 歳	388	9.0	1.3	68.0	7.2	9.3	3.1	4.1	0.3	—	—
3～5 歳	1,037	37.0	13.0	48.6	9.5	0.4	0.4	2.9	0.3	—	—

平日に定期的に利用している幼稚園・認定こども園、保育園などについて、何時からか
お答えください。【就学前のみ】

利用実態では、「8時台」の割合が53.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が23.4%、「7時台」の割合が20.0%となっています。

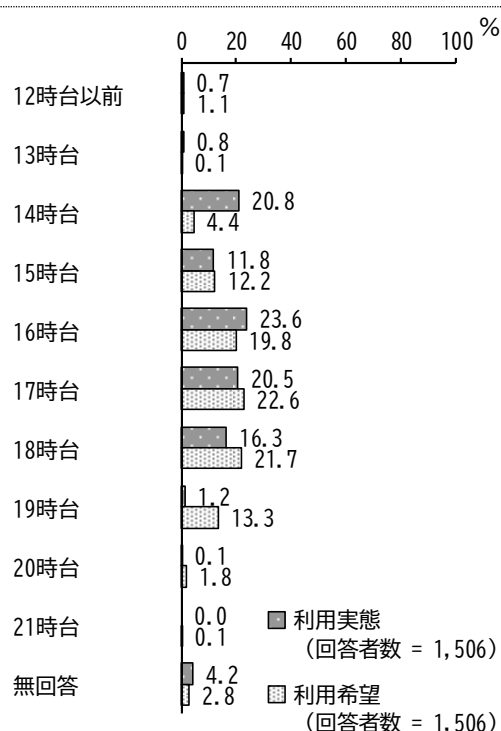
利用希望では、「8時台」の割合が51.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が31.8%、「9時台」の割合が14.6%となっています。



平日に定期的に利用している幼稚園・認定こども園、保育園などについて、何時までか
お答えください。【就学前のみ】

利用実態では、「16時台」の割合が23.6%と最も高く、次いで「14時台」の割合が20.8%、「17時台」の割合が20.5%となっています。

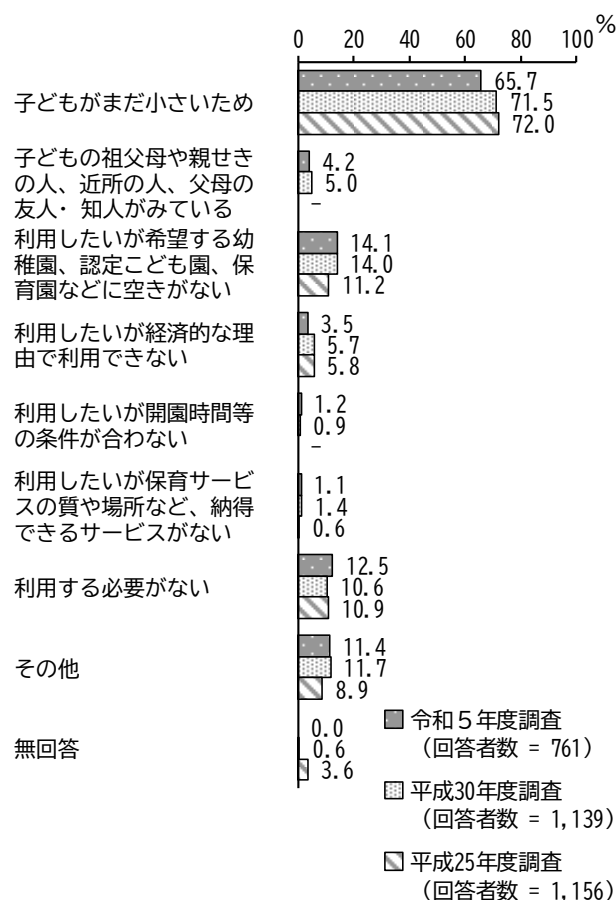
利用希望では、「17時台」の割合が22.6%と最も高く、次いで「18時台」の割合が21.7%、「16時台」の割合が19.8%となっています。



宛名のお子さんが現在、幼稚園、認定こども園、保育園などを「定期的」に利用していない理由は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「子どもがまだ小さいため」の割合が最も高くなっています。次いで「利用したいが希望する幼稚園、認定こども園、保育園などに空きがない」、「利用する必要がない」の割合が高い傾向にあります。

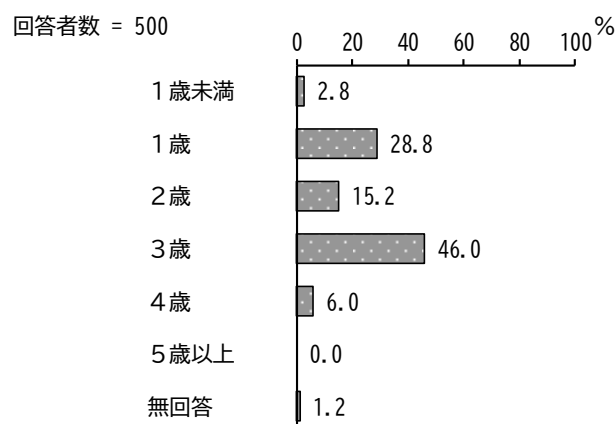
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもがまだ小さいため」の割合が減少しています。



※前々回調査では、「子どもの祖父母や親せきの人、近所の人、父母の友人・知人がみている」「利用したいが開園時間等の条件が合わない」の選択肢はありませんでした。

1. 子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている (※年齢をお答えください。)

就学前児童保護者では、「3歳」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 28.8%、「2歳」の割合が 15.2%となっています。

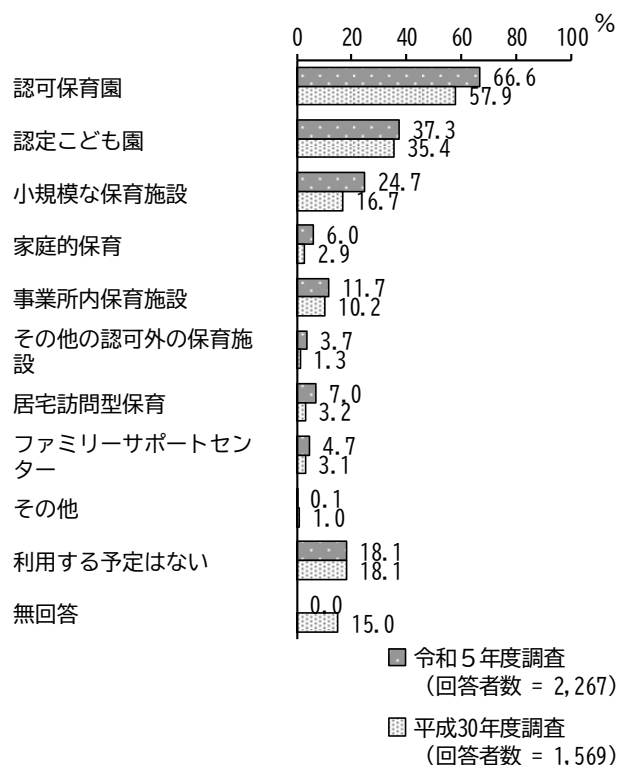


宛名のお子さんが0～2歳のときに利用したい（現在、利用している、利用していないにかかわらず）施設や事業は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。

【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「認可保育園」の割合が最も高く、次いで「認定こども園」、「小規模な保育施設」の割合が高い傾向にあります。

平成30年度調査と比較すると、「認可保育園」「小規模な保育施設」の割合が増加しています。



【就学前 年齢（3区分）別】

年齢（3区分）別にみると、0歳で「認可保育園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポートセンター	その他	利用する予定はない	無回答
全 体	2,267	66.6	37.3	24.7	6.0	11.7	3.7	7.0	4.7	0.1	18.1	—
0歳	572	74.0	40.2	27.6	4.5	8.6	3.5	3.7	3.0	—	15.7	—
1・2歳	648	68.1	38.0	27.6	8.0	13.0	4.8	9.1	6.0	—	14.5	—
3～5歳	1,046	61.7	35.4	21.3	5.5	12.6	3.3	7.5	4.9	0.3	21.6	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、これまで就労したことがない。で「利用する予定はない」の割合が高くなっています。

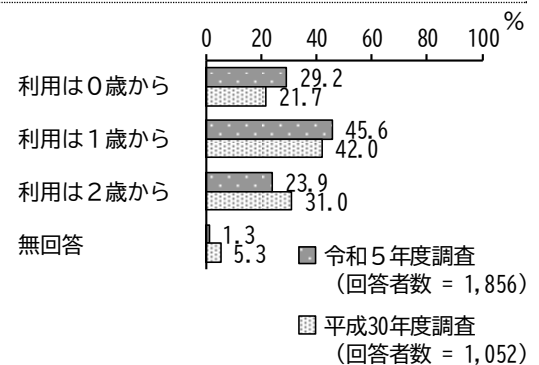
単位：％

区分	回答者数 (件)	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポ ーター	その他	利用する予定はな い	無回答
全 体	2,261	66.6	37.4	24.8	6.0	11.7	3.8	7.0	4.7	0.1	18.0	—
フルタイムで就労しており、産 休・育休・介護休業中ではない。	519	81.9	39.5	25.0	5.2	13.5	3.1	10.0	6.2	0.4	4.8	—
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である。	461	87.2	41.4	27.1	5.9	9.5	3.5	4.8	3.0	—	3.0	—
パート・アルバイト等で就労し ており、産休・育休・介護休業 中ではない。	564	64.2	37.6	23.6	7.4	16.1	5.0	8.7	6.4	0.2	17.0	—
パート・アルバイト等で就労し ているが、産休・育休・介護休 業中である。	97	79.4	35.1	30.9	10.3	9.3	—	7.2	3.1	—	6.2	—
以前は就労していたが、現在は 就労していない。	586	38.6	33.4	23.0	4.9	8.0	3.8	4.8	3.8	—	43.0	—
これまで就労したことがない。	23	30.4	21.7	17.4	—	4.3	8.7	—	—	—	52.2	—

宛名のお子さんが0～2歳のときに利用したい（現在、利用している、利用していないにかかわらず）施設や事業の利用希望開始年齢（すでに利用中の方は開始した年齢）をお答えください。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「利用は1歳から」の割合が最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用は0歳から」の割合が増加しています。一方、「利用は2歳から」の割合が減少しています。

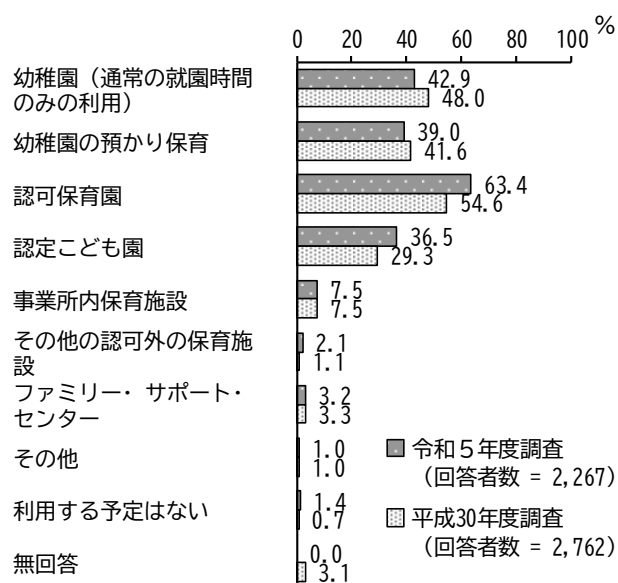


宛名のお子さんが3歳以上のときに利用したい（現在、利用している、利用していないにかかわらず）施設や事業は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。

【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「認可保育園」の割合が最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「認可保育園」「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園（通常の就園時間のみの利用）」の割合が減少しています。



【就学前 年齢（3区分）別】

年齢（3区分）別にみると、0歳で「認可保育園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間のみの利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	利用する予定はない	無回答
全 体	2,267	42.9	39.0	63.4	36.5	7.5	2.1	3.2	1.0	1.4	—
0歳	572	40.2	34.1	70.5	40.9	6.1	1.4	2.1	1.2	1.7	—
1・2歳	648	40.7	38.7	65.7	35.0	8.6	2.3	3.5	1.5	0.5	—
3～5歳	1,046	45.8	41.9	58.0	35.1	7.6	2.4	3.5	0.6	1.8	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、これまで就労したことがない。で「幼稚園(通常就園時間のみの利用)」の割合が高くなっています。

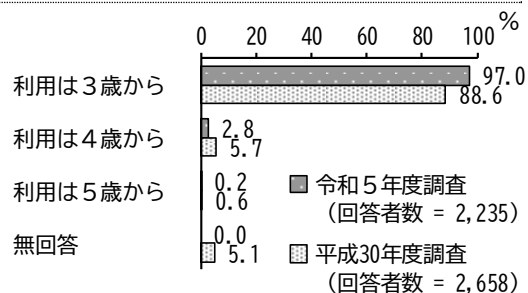
単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園(通常就園時間のみの利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリ・サポート・センター	その他	利用する予定はない	無回答
全 体	2,261	42.9	39.0	63.5	36.6	7.5	2.1	3.2	1.0	1.4	—
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。	519	22.7	35.1	82.1	39.1	9.2	1.9	4.4	0.8	0.8	—
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である。	461	25.2	35.1	83.5	41.4	5.6	1.7	1.7	0.2	1.1	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない。	564	43.6	44.9	60.6	36.0	9.0	3.5	3.2	1.2	1.6	—
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である。	97	27.8	28.9	76.3	38.1	5.2	1.0	5.2	1.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない。	586	75.3	42.0	34.0	31.7	6.3	1.4	2.7	1.5	1.9	—
これまで就労したことがない。	23	78.3	39.1	17.4	21.7	4.3	4.3	8.7	—	8.7	—

宛名のお子さんが3歳以上のときに利用したい（現在、利用している、利用していないにかかわらず）施設や事業の利用希望開始年齢（すでに利用中の方は開始した年齢）をお答えください。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「利用は3歳から」の割合が最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用は3歳から」の割合が増加しています。

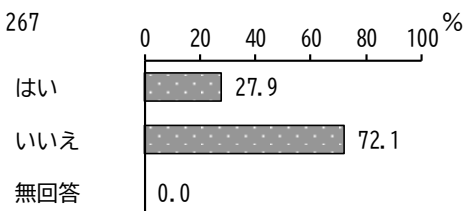


（５）土曜・休日や夏休みなどの長期休暇中の幼稚園等の利用希望【就学前のみ】

宛名のお子さんは現在幼稚園・認定こども園を利用していますか。
※土曜・休日や夏休みなどの長期休暇中についてです。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「はい」の割合が 27.9%、
「いいえ」の割合が 72.1%となっています。

回答者数 = 2,267



宛名のお子さんについて、土曜日に、幼稚園、認定こども園などの定期的な利用希望はありますか。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「利用する必要はない」
の割合が最も高くなっています。

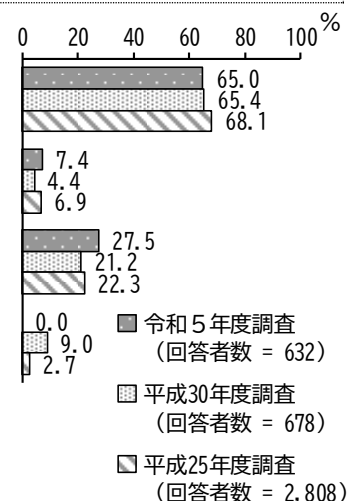
平成 30 年度調査と比較すると、「月に 1 ～ 2 回
は利用したい」の割合が増加しています。

利用する必要はない

ほぼ毎週利用したい

月に 1 ～ 2 回は利用したい

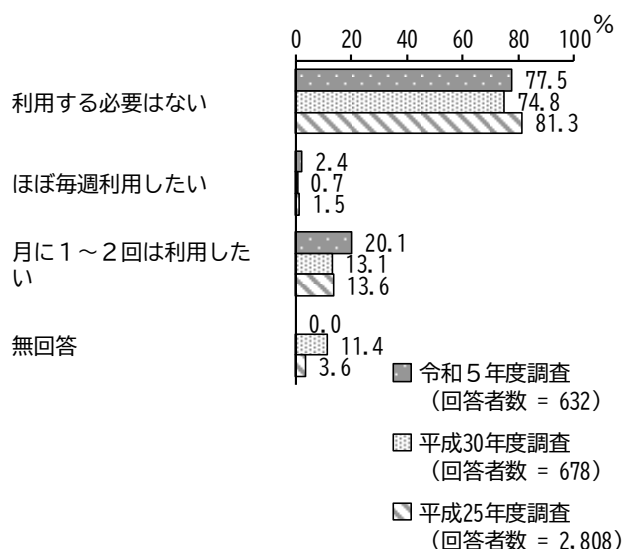
無回答



宛名のお子さんについて、日曜日・祝日に、幼稚園、認定こども園などの定期的な利用希望はありますか。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が最も高くなっています。

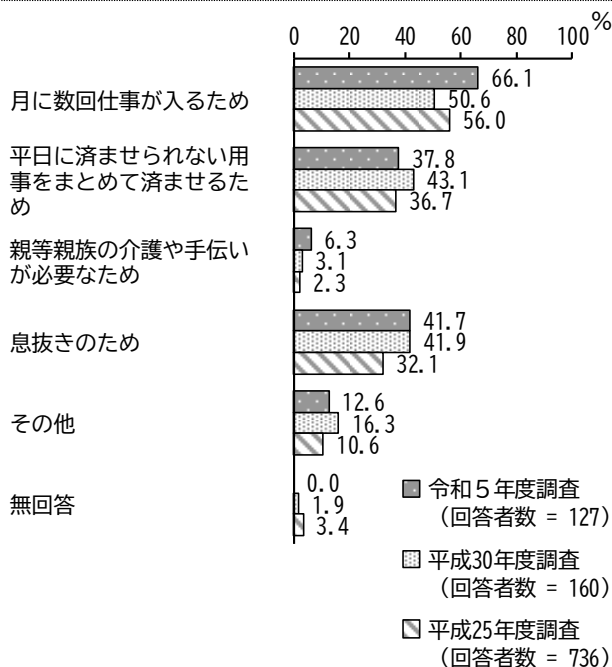
平成 30 年度調査と比較すると、「月に 1 ～ 2 回は利用したい」の割合が増加しています。



幼稚園・認定こども園の土曜日又は日曜日・祝日の利用希望で「月に 1 ～ 2 回は利用したい」と答えた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「月に数回仕事が入るため」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が 41.7%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 37.8%となっています。

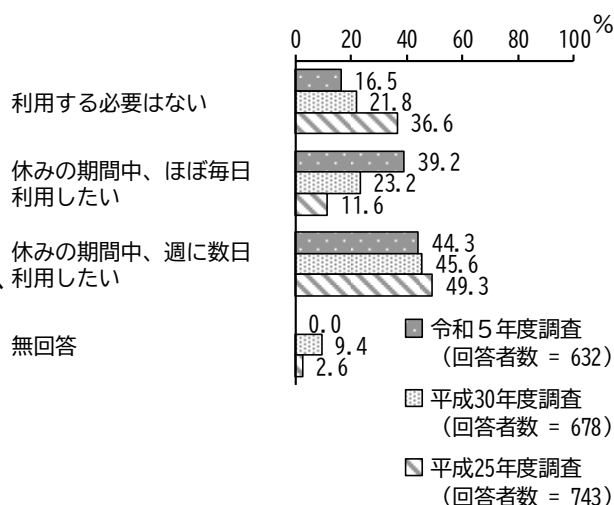
平成 30 年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」の割合が増加しています。一方、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が減少しています。



宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園、認定こども園などの利用を希望しますか。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が44.3%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が39.2%、「利用する必要はない」の割合が16.5%となっています。

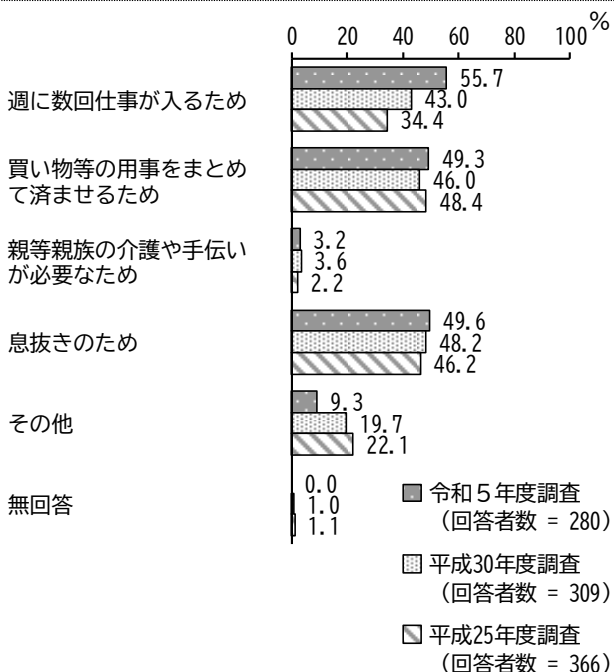
平成30年度調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



幼稚園・認定こども園の長期休暇の利用希望で「週に数日利用したい」と答えた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「週に数回仕事が入るため」の割合が55.7%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が49.6%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が49.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「週に数回仕事が入るため」の割合が増加しています。

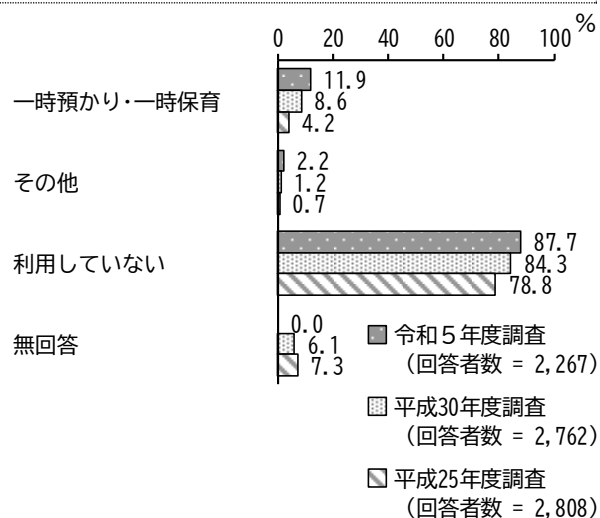


（６）不定期の保育や一時的な預かり等の利用【就学前のみ】

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまるものすべてをお答えください。【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「利用していない」の割合が最も高くなっています。

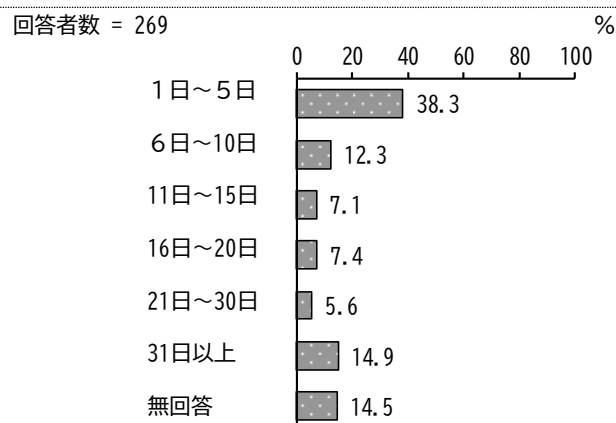
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



「一時預かり・一時保育（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを預かる事業）」と回答した方にうかがいます。年間の利用日数をお答えください。

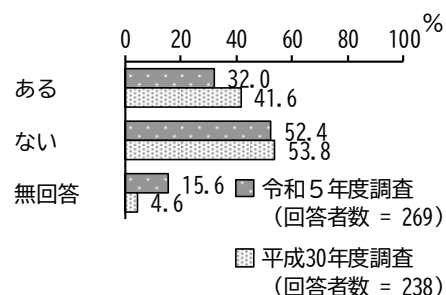
【就学前のみ】

就学前児童保護者では、「1 日～5 日」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「31 日以上」の割合が 14.9%、「6 日～10 日」の割合が 12.3%となっています。



「一時預かり・一時保育（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを預かる事業）」と回答した方にうかがいます。希望した日に利用できなかったことがありますか。【就学前のみ】

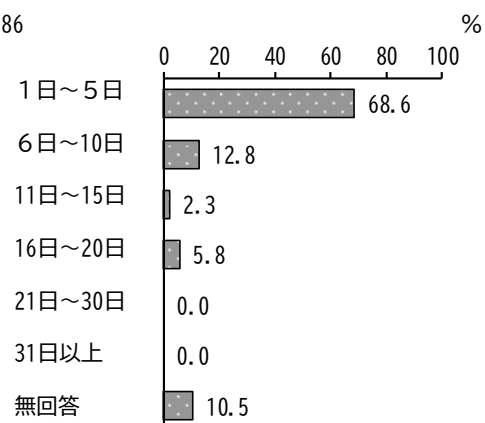
就学前児童保護者では、「ある」の割合が 32.0%、「ない」の割合が 52.4%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。



一時預かり・一時保育を1年間で利用できなかった日数

就学前児童保護者では、「1日～5日」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が 12.8%となっています。

回答者数 = 86

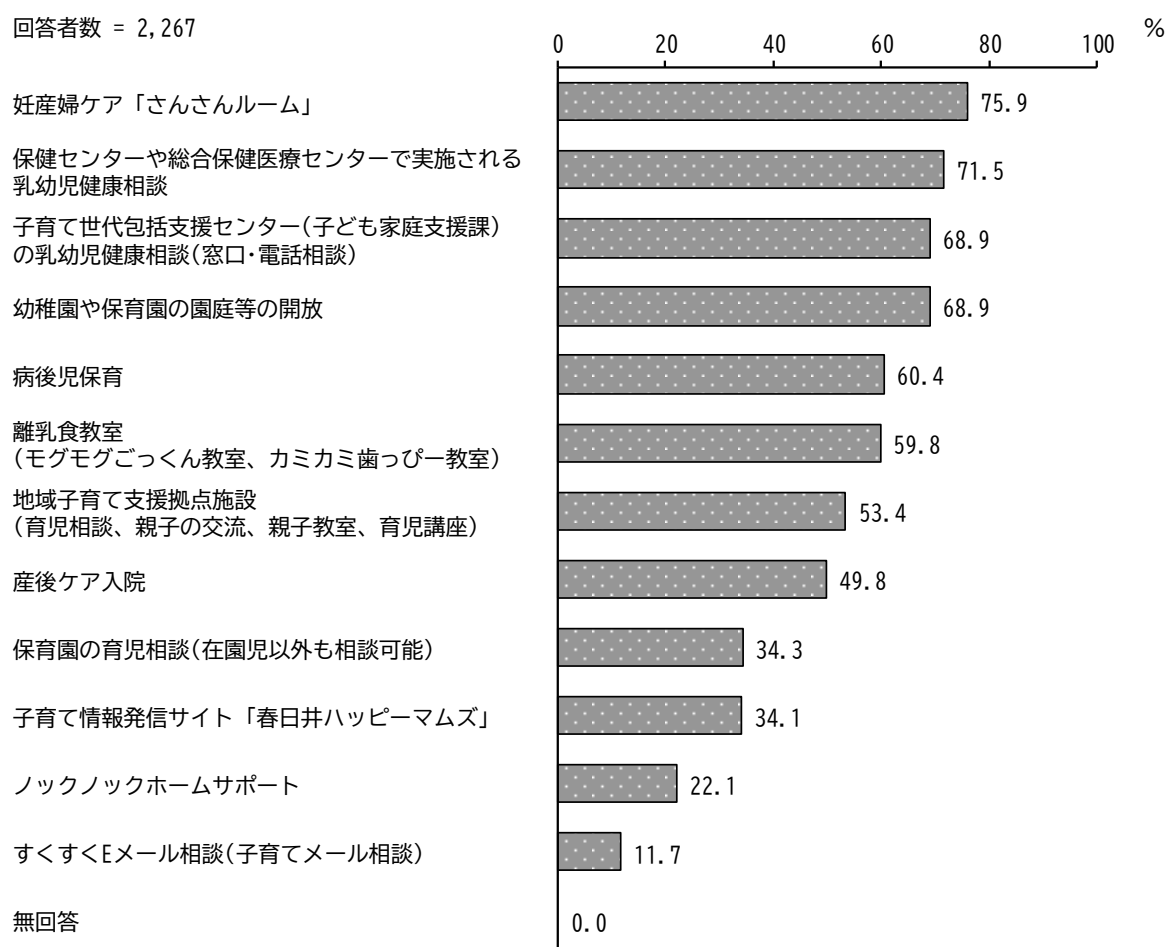


(7) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況【就学前のみ】

次の12の項目それぞれについて、あてはまるものをお答えください。
事業で知ってるもの、利用したことがあるもの、今後（今後も）利用したい、または人
にお勧めしたいものをお答えください。
それ以外の場合は「知らない」とお答えください。【就学前のみ】

①知っている事業

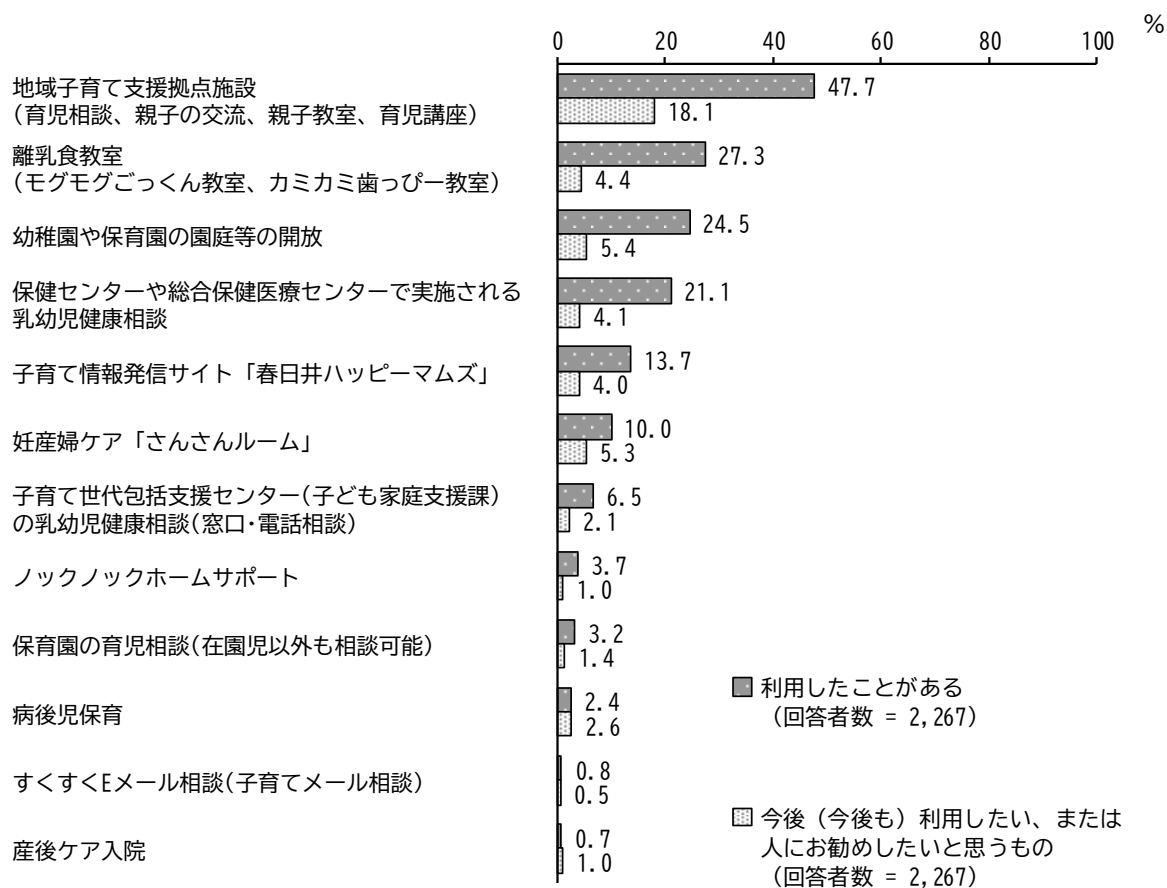
知っている事業については、「妊産婦ケア「さんさんルーム」」、「保健センターや総合保健医療センターで実施される乳幼児健康相談」、「子育て世代包括支援センター(子ども家庭支援課)の乳幼児健康相談(窓口・電話相談)」、「幼稚園や保育園の園庭等の開放」の割合が高い傾向にあります。



②利用したことがある事業、今後（今後も）利用したい、または人にお勧めしたいと思う事業

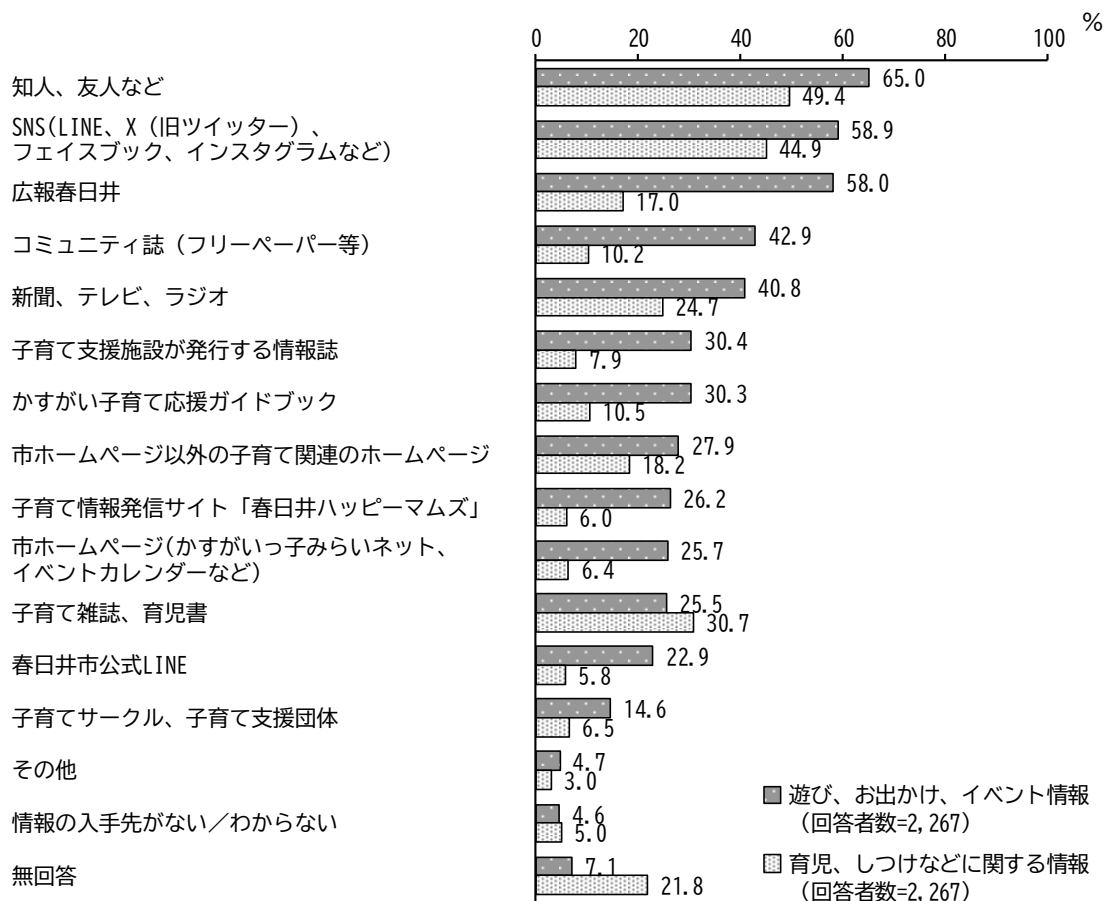
利用したことがある事業については、「地域子育て支援拠点施設（育児相談、親子の交流、親子教室、育児講座）」、「離乳食教室（モグモグごっくん教室、カミカミ歯っぴー教室）」、「幼稚園や保育園の園庭等の開放」の割合が高い傾向にあります。

今後（今後も）利用したい、または人にお勧めしたいと思うものについては、「地域子育て支援拠点施設（育児相談、親子の交流、親子教室、育児講座）」の割合が最も高くなっています。



次の15の項目それぞれについて、あてはまるものをお答えください。
子育てに関する情報の入手先としてよく利用するものはどれですか。
※該当しない場合は空欄としてください。【就学前のみ】

遊び、お出かけ、イベント情報の入手先・育児、しつけなどに関する情報の入手先ともに、「知人、友人など」の割合が最も高くなっています。



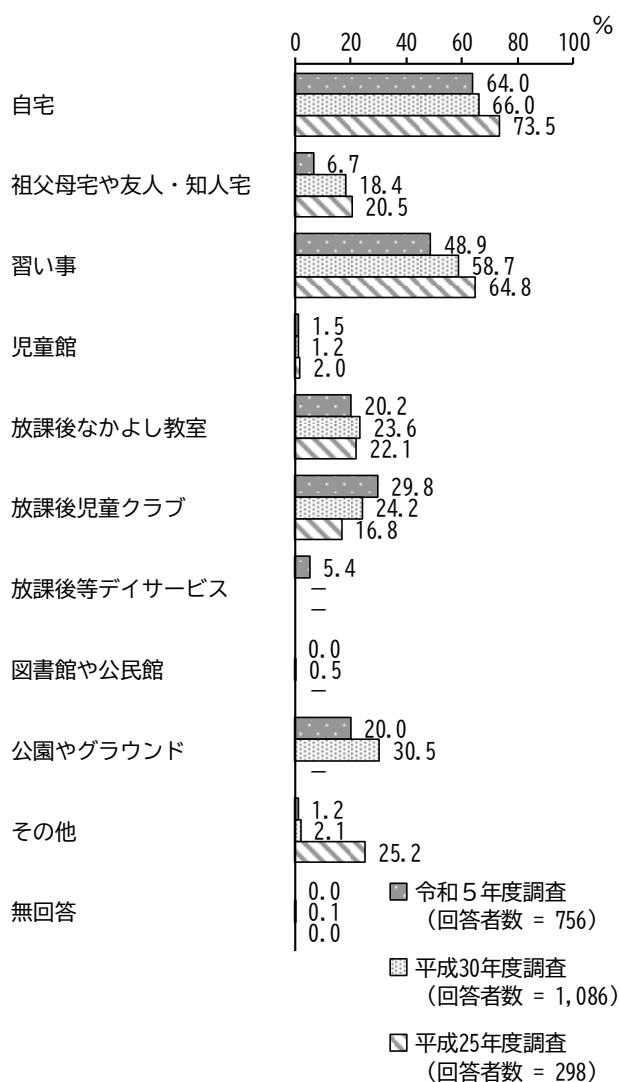
(8) 放課後の過ごし方

お子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。あてはまるものを5つまで選んでください。【低学年、高学年のみ】

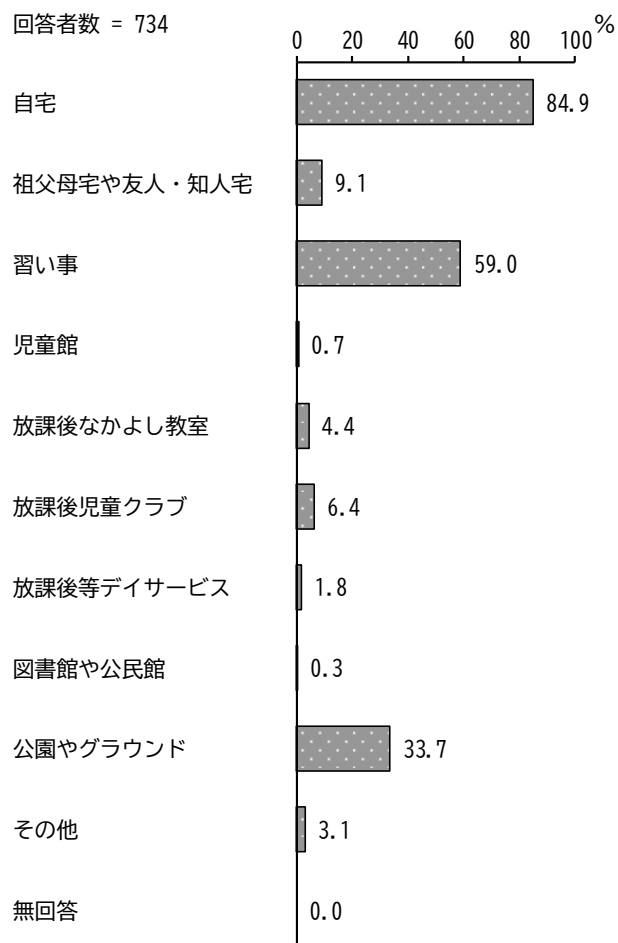
低学年児童保護者、高学年児童保護者ともに「自宅」の割合が最も高く、次いで「習い事」、「公園やグラウンド」の割合が高い傾向にあります。

低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ」「放課後等デイサービス」の割合が増加しています。一方、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「公園やグラウンド」の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



※前回調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

※前々回調査では、「放課後等デイサービス」「図書館や公民館」「公園やグラウンド」の選択肢はありませんでした。

【低学年 学年別】

放課後の時間を過ごしている場所の【現在の状況】を学年別にみると、小学2年生で「公園やグラウンド」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後なかよし教室	放課後児童クラブ	放課後等デイサービス	図書館や公民館	公園やグラウンド	その他	無回答
全 体	756	64.0	6.7	48.9	1.5	20.2	29.8	5.4	－	20.0	1.2	－
小学1年生	265	63.8	4.5	42.3	0.4	22.3	33.2	7.2	－	9.8	0.4	－
小学2年生	258	59.3	7.4	50.0	1.6	22.1	32.6	3.5	－	27.5	1.2	－
小学3年生	233	69.5	8.6	55.4	2.6	15.9	22.7	5.6	－	23.2	2.1	－

【低学年 家庭類型【現在】別】

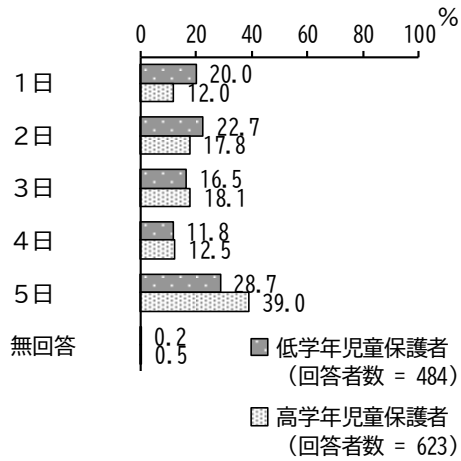
家庭類型【現在】別にみると、家事専業で「自宅」の割合が高くなっています。

単位：％

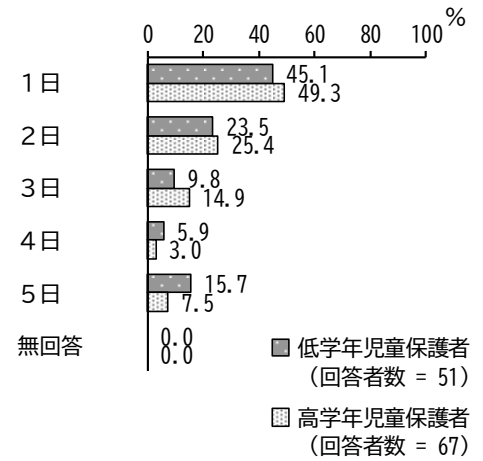
区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後なかよし教室	放課後児童クラブ	放課後等デイサービス	図書館や公民館	公園やグラウンド	その他	無回答
全 体	756	64.0	6.7	48.9	1.5	20.2	29.8	5.4	－	20.0	1.2	－
ひとり親	50	48.0	12.0	34.0	－	14.0	36.0	8.0	－	18.0	2.0	－
共働き	545	58.2	6.2	46.1	1.1	21.8	37.2	4.0	－	17.1	0.9	－
家事専業	160	88.8	6.9	63.8	3.1	16.9	2.5	9.4	－	30.6	1.9	－

週あたりの利用日数

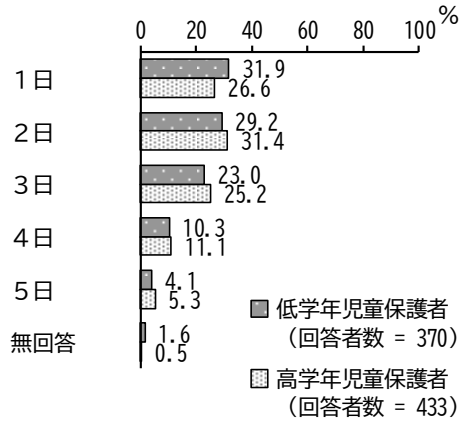
1. 自宅



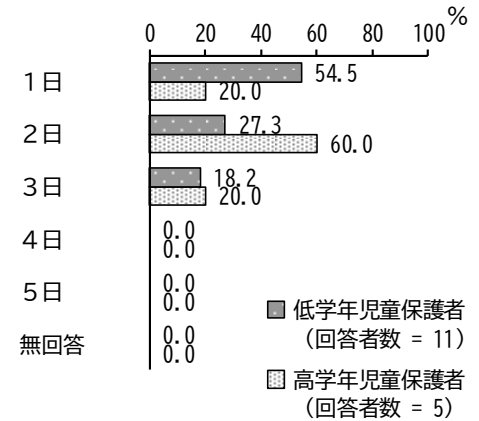
2. 祖父母宅や友人・知人宅



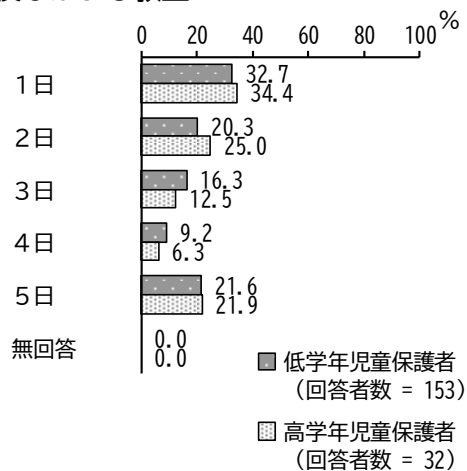
3. 習い事



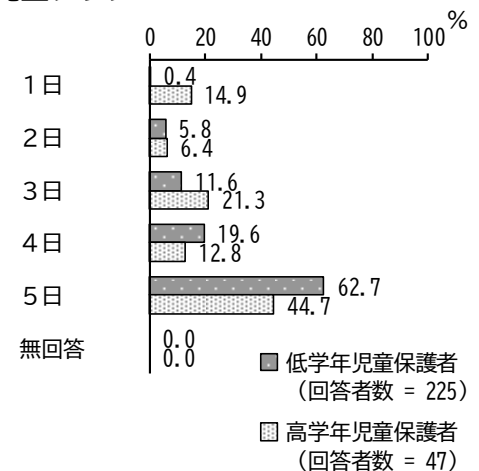
4. 児童館



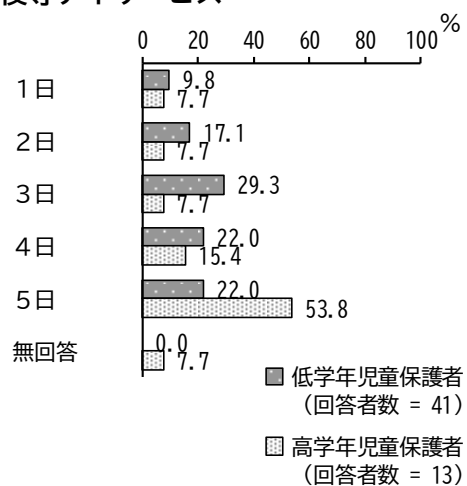
5. 放課後なかよし教室



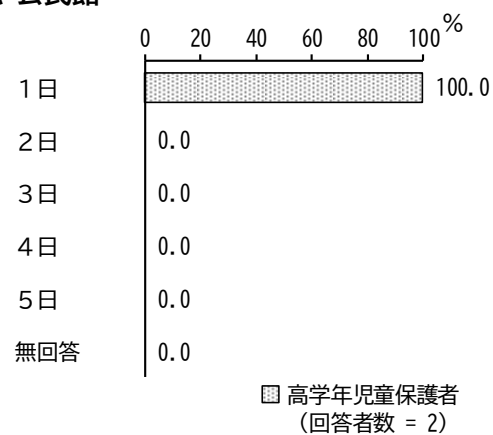
6. 放課後児童クラブ



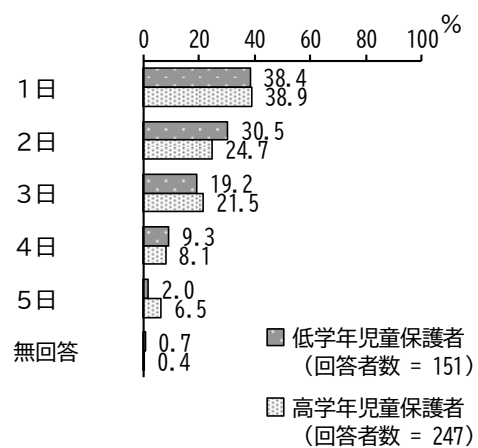
7. 放課後等デイサービス



8. 図書館や公民館



9. 公園やグラウンド

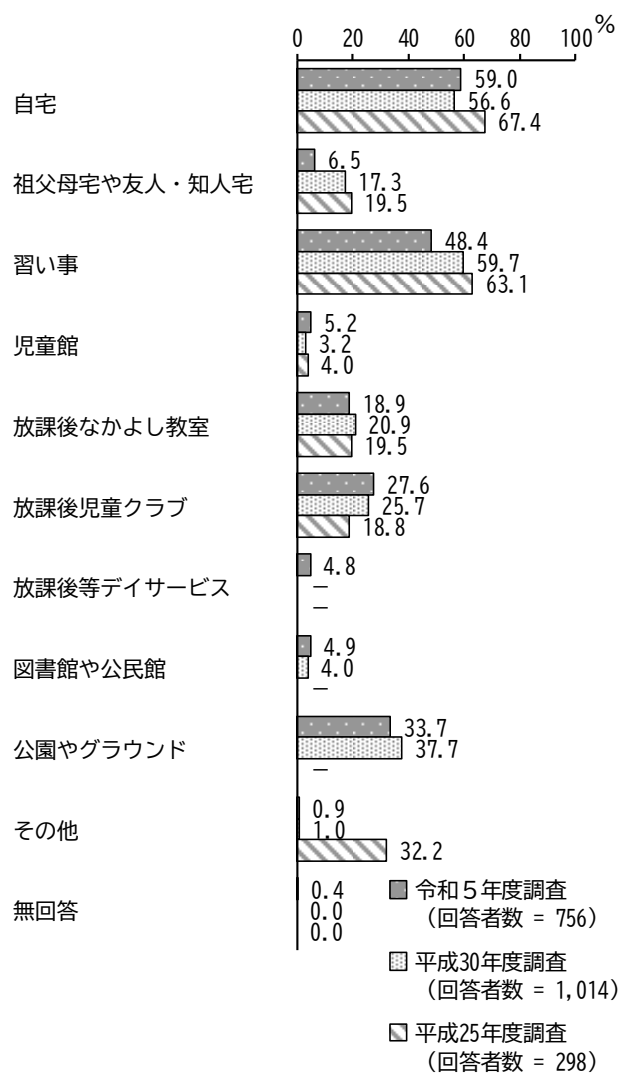


宛名のお子さんについて小学校低学年時（１～３年生）の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

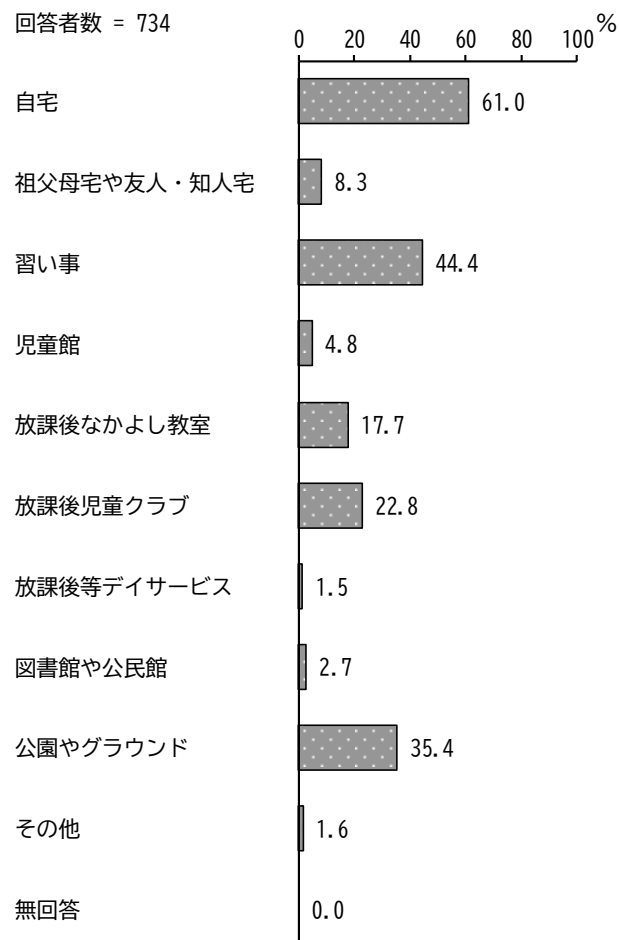
低学年児童保護者、高学年児童保護者では、「自宅」の割合が最も高く、次いで「習い事」、「公園やグラウンド」の割合が高い傾向にあります。

低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



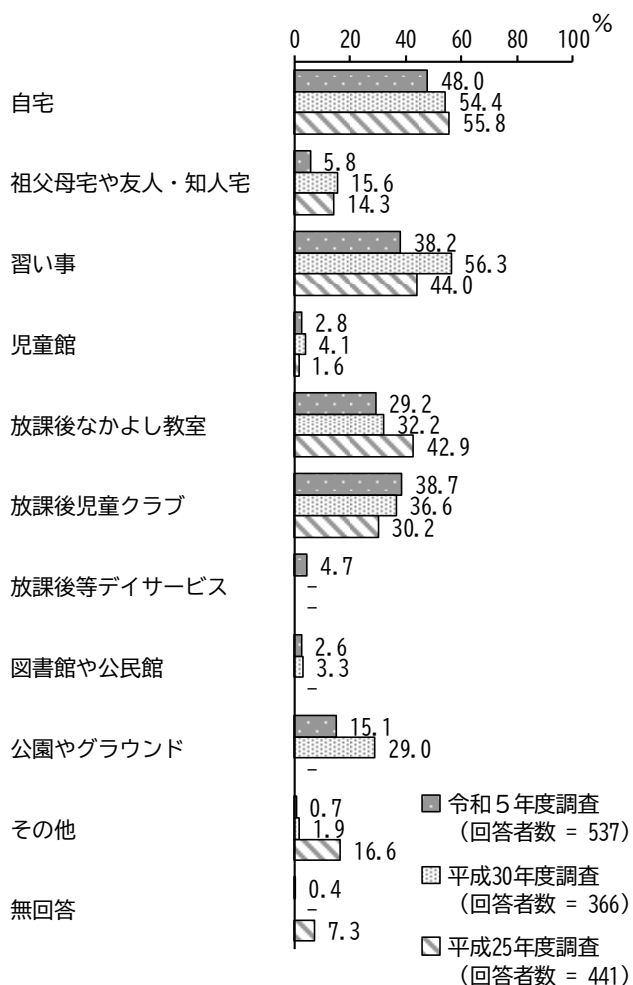
※前回調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

※前々回調査では、「放課後等デイサービス」「図書館や公民館」「公園やグラウンド」の選択肢はありませんでした。

就学前児童保護者では、「自宅」の割合が最も高く、次いで「放課後児童クラブ」「習い事」の割合が高い傾向にあります。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「公園やグラウンド」の割合が減少しています。

【就学前児童保護者】

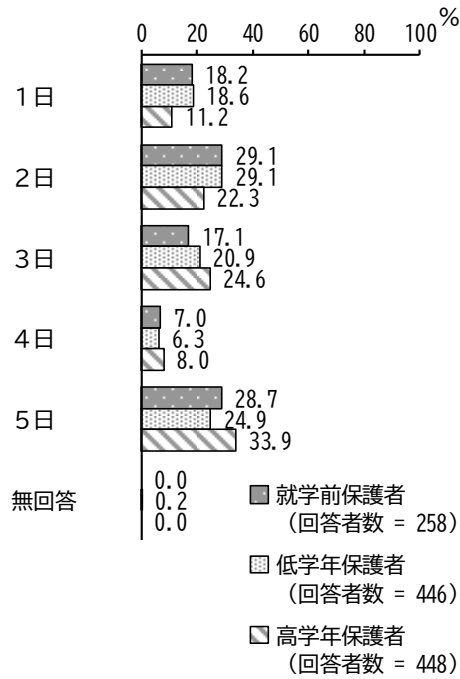


※前回調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

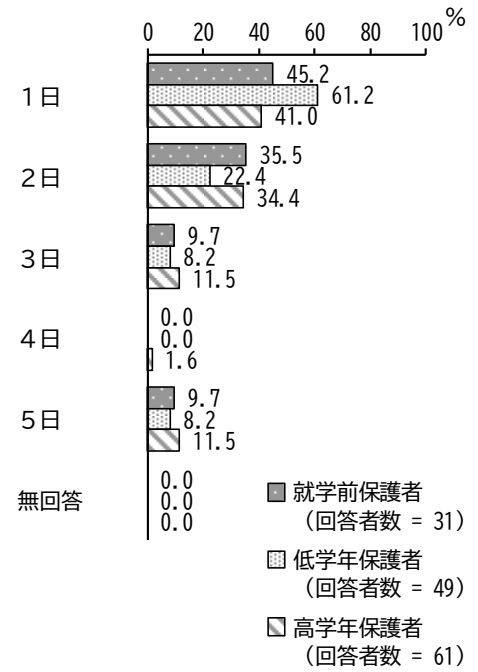
※前々回調査では、「放課後等デイサービス」「図書館や公民館」「公園やグラウンド」の選択肢はありませんでした。

週あたりの利用日数

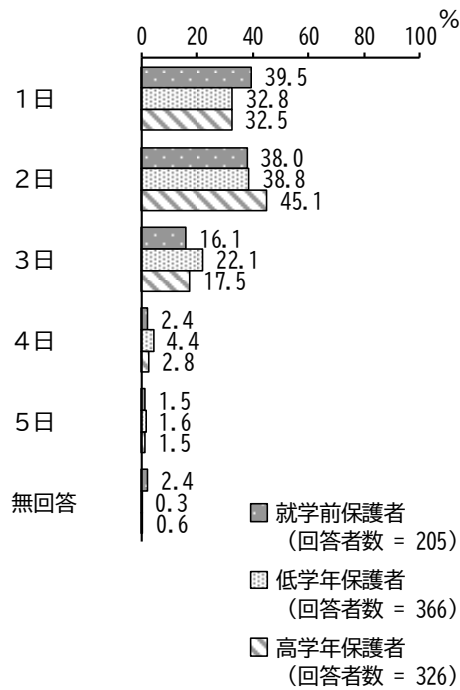
1. 自宅



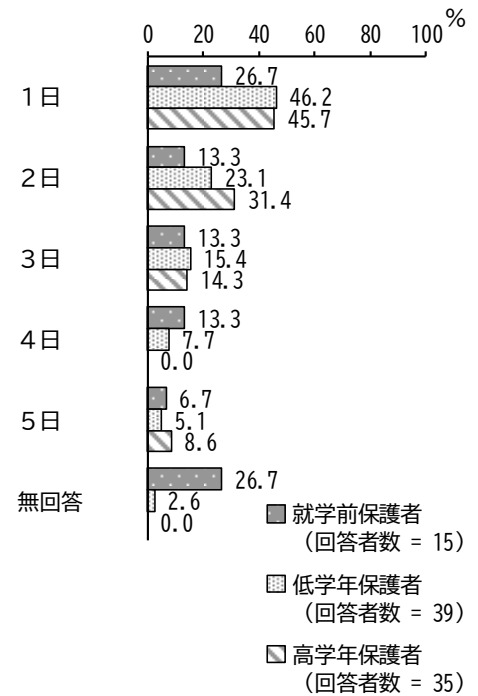
2. 祖父母宅や友人・知人宅



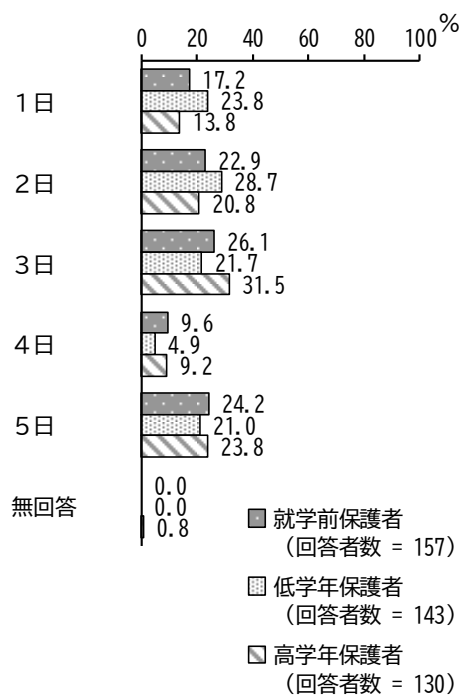
3. 習い事



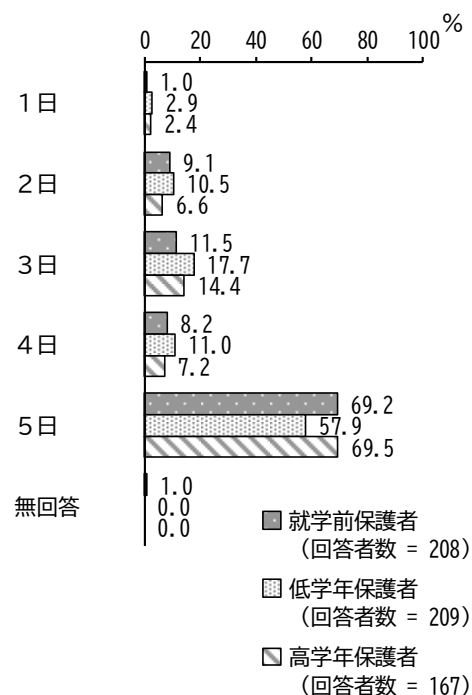
4. 児童館



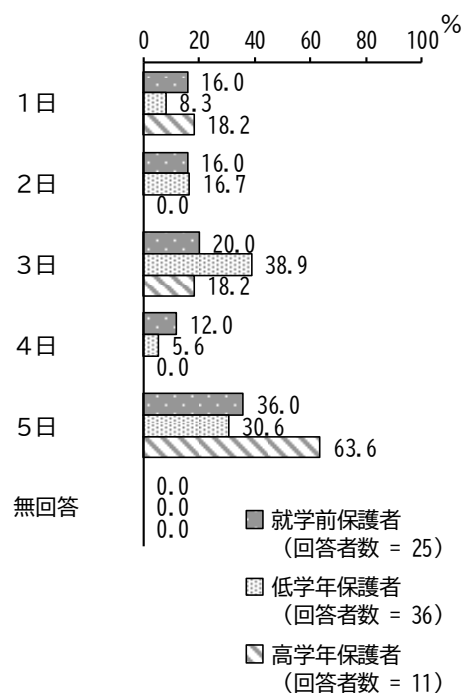
5. 放課後なかよし教室



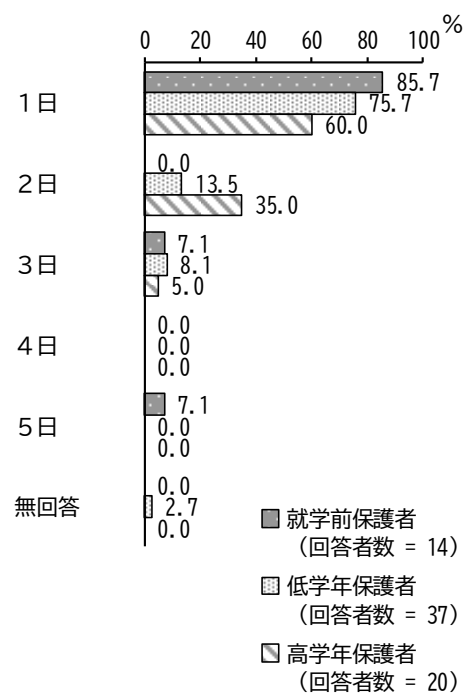
6. 放課後児童クラブ



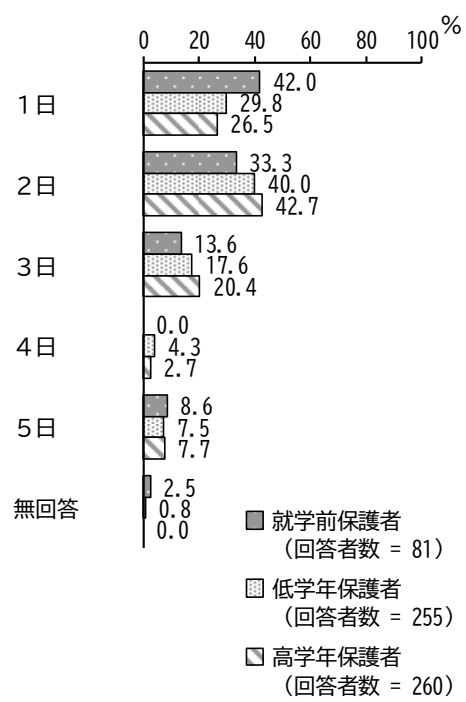
7. 放課後等デイサービス



8. 図書館や公民館



9. 公園やグラウンド



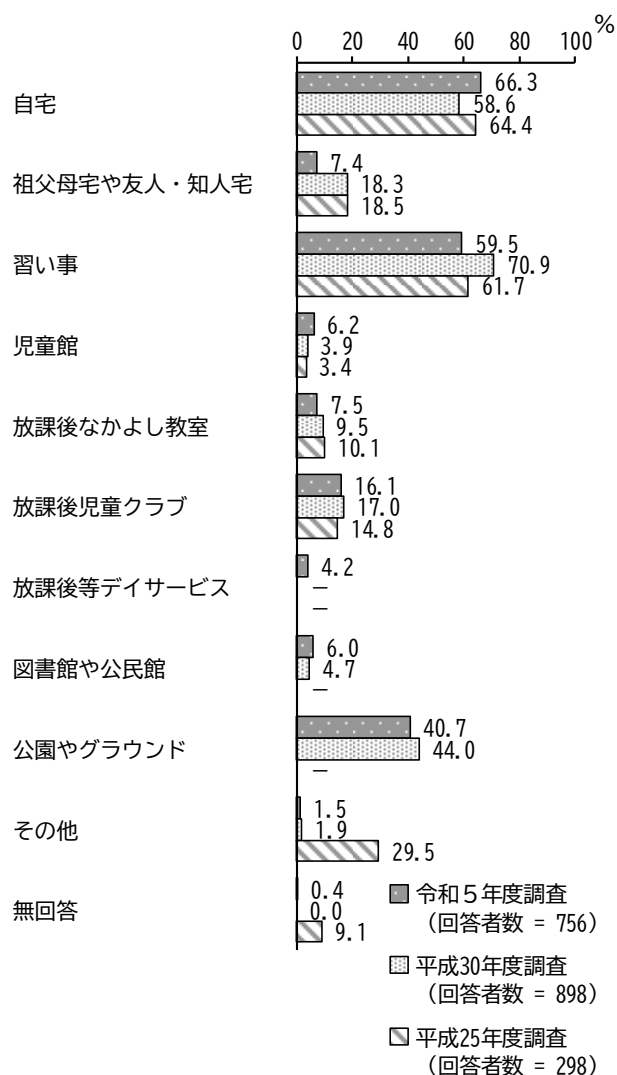
宛名のお子さんについて小学校高学年時（４～６年生）の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

低学年児童保護者、高学年児童保護者ともに「自宅」の割合が最も高く、次いで「習い事」、「公園やグラウンド」の割合が高い傾向にあります。

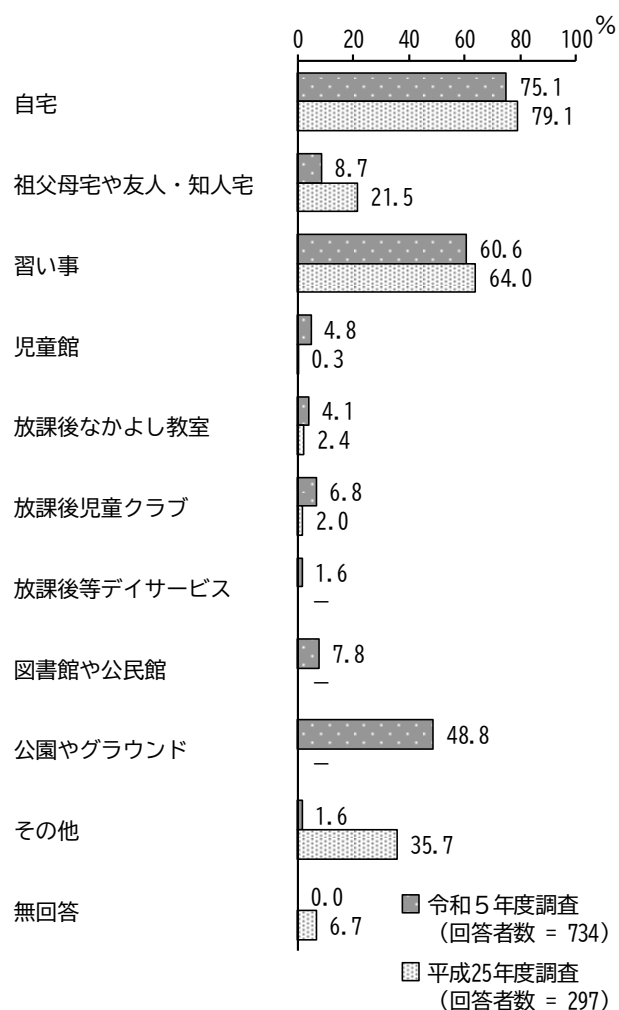
低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。一方、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少しています。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、「図書館や公民館」「公園やグラウンド」の割合が増加しています。一方、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



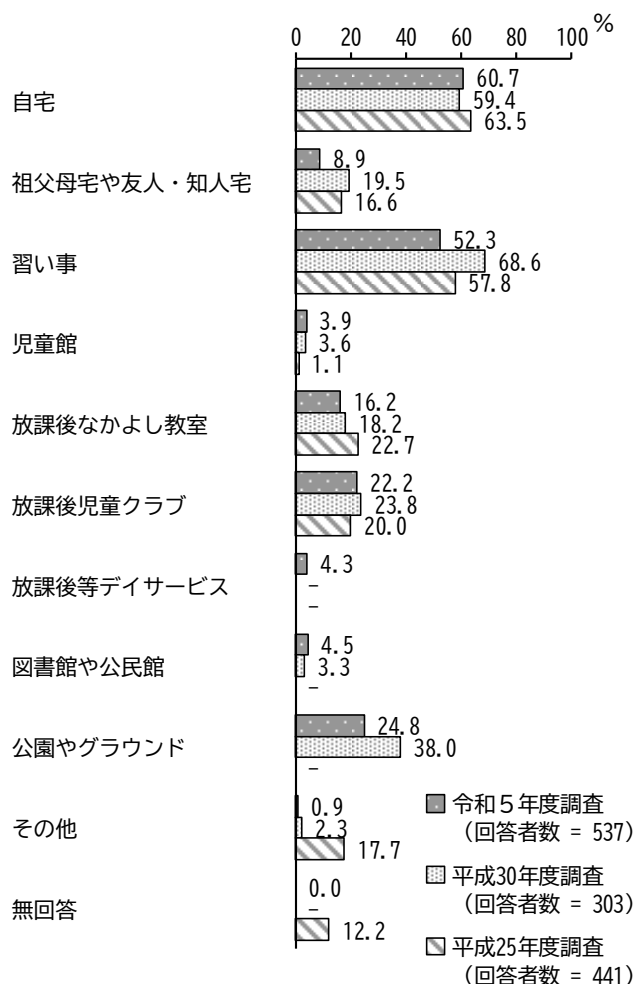
※前回調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

※前々回調査では、「放課後等デイサービス」「図書館や公民館」「公園やグラウンド」の選択肢はありませんでした。

就学前児童保護者では、「自宅」の割合が最も高く、次いで「習い事」、「公園やグラウンド」の割合が高い傾向にあります。

平成 30 年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「公園やグラウンド」の割合が減少しています。

【就学前児童保護者】

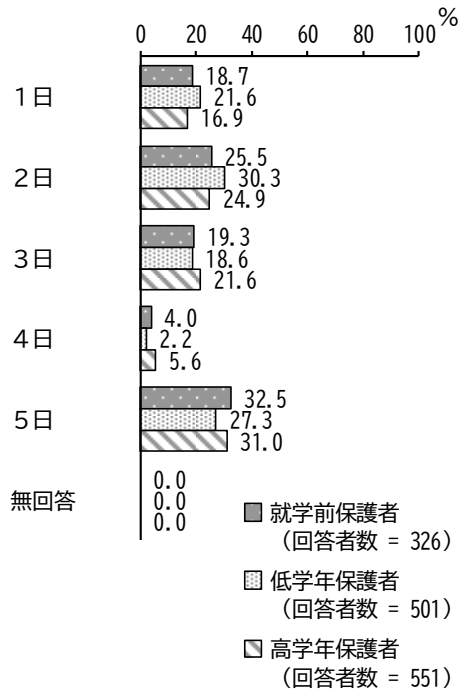


※前回調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

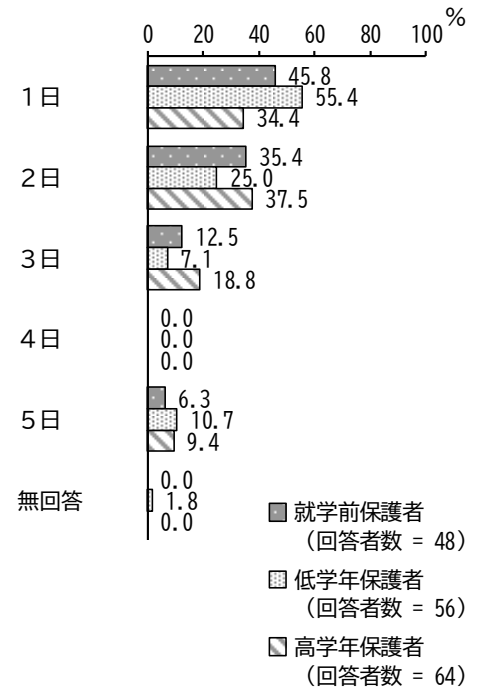
※前々回調査では、「放課後等デイサービス」「図書館や公民館」「公園やグラウンド」の選択肢はありませんでした。

週あたりの利用日数

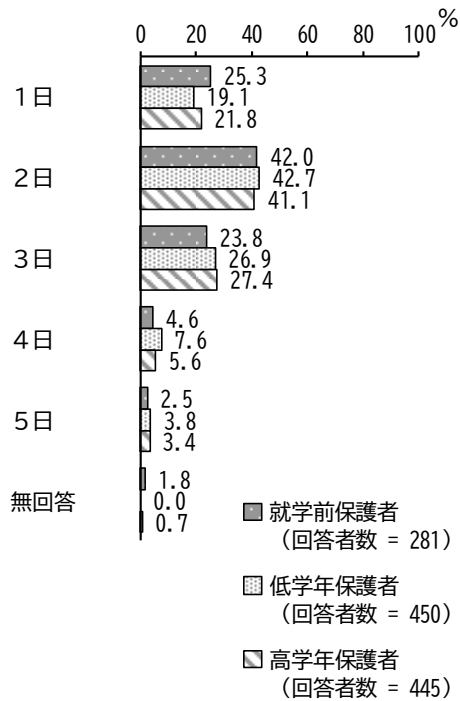
1. 自宅



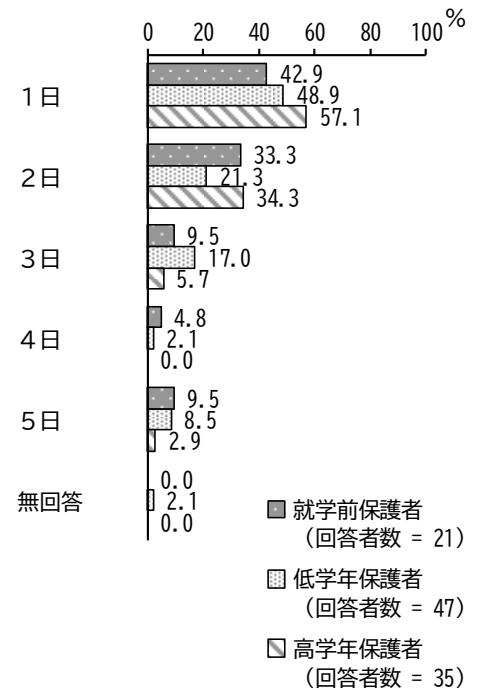
2. 祖父母宅や友人・知人宅



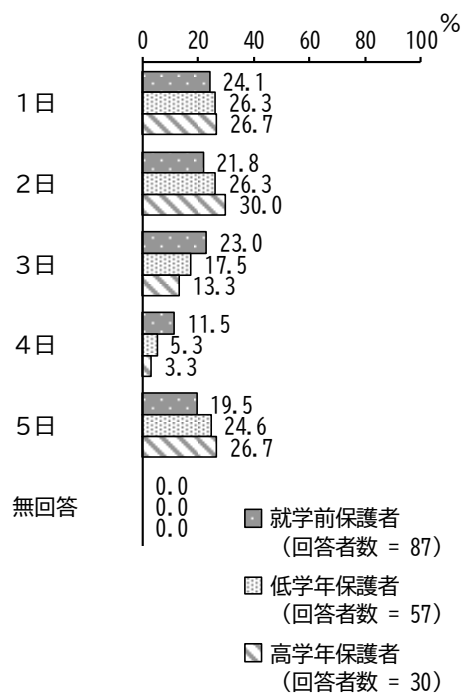
3. 習い事



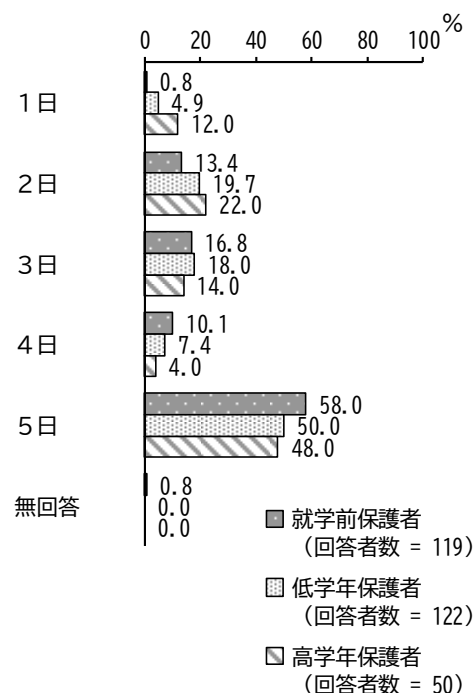
4. 児童館



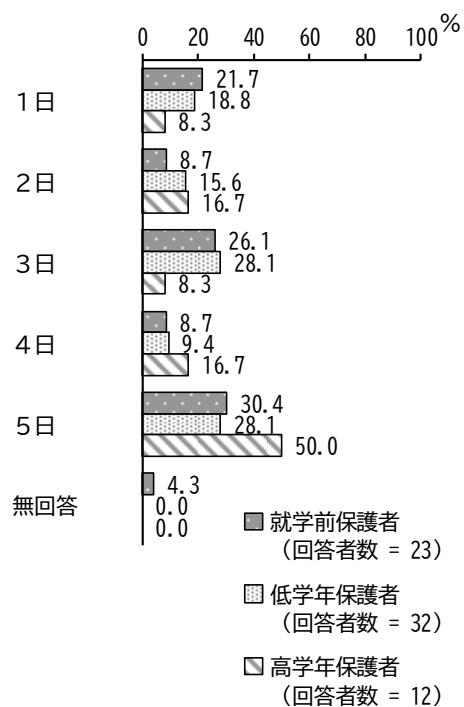
5. 放課後なかよし教室



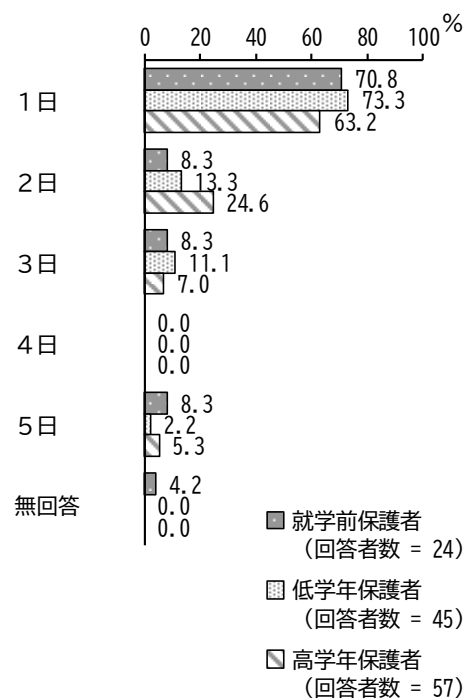
6. 放課後児童クラブ



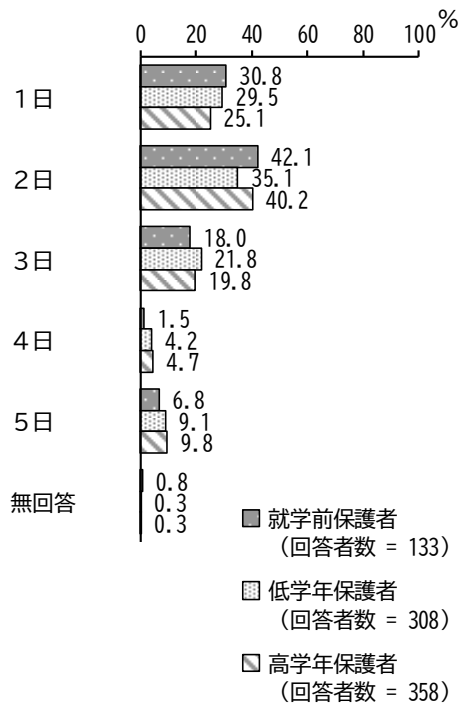
7. 放課後等デイサービス



8. 図書館や公民館



9. 公園やグラウンド

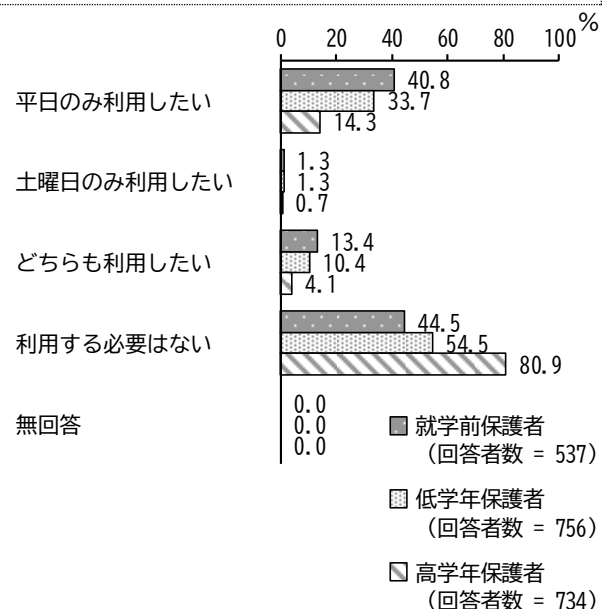


宛名のお子さんについて、平日または土曜日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。

就学前児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が44.5%と最も高く、次いで「平日のみ利用したい」の割合が40.8%、「どちらも利用したい」の割合が13.4%となっています。

低学年児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「平日のみ利用したい」の割合が33.7%、「どちらも利用したい」の割合が10.4%となっています。

高学年児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が80.9%と最も高く、次いで「平日のみ利用したい」の割合が14.3%となっています。

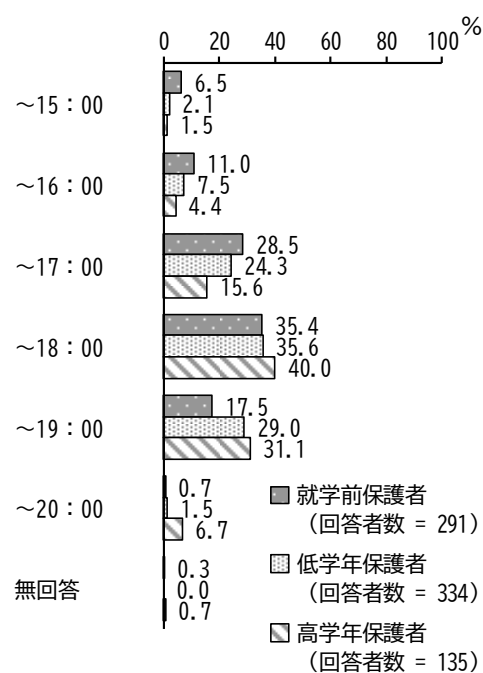


平日に放課後児童クラブの利用を希望する方にうかがいます。下校時から何時まで利用を希望しますか。

就学前児童保護者では、「～18：00」の割合が35.4%と最も高く、次いで「～17：00」の割合が28.5%、「～19：00」の割合が17.5%となっています。

低学年児童保護者では、「～18：00」の割合が35.6%と最も高く、次いで「～19：00」の割合が29.0%、「～17：00」の割合が24.3%となっています。

高学年児童保護者では、「～18：00」の割合が40.0%と最も高く、次いで「～19：00」の割合が31.1%、「～17：00」の割合が15.6%となっています。



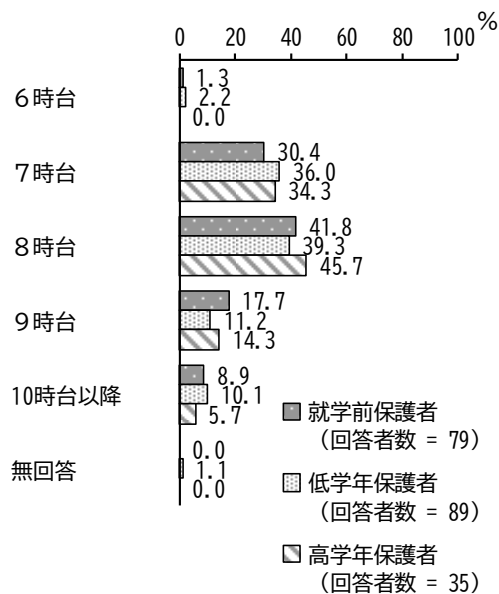
土曜日に放課後児童クラブの利用を希望する方にうかがいます。お子さんについて、土曜日の利用を希望する時間をお答えください。

利用開始時間

就学前児童保護者では、「8時台」の割合が41.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が30.4%、「9時台」の割合が17.7%となっています。

低学年児童保護者では、「8時台」の割合が39.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が36.0%、「9時台」の割合が11.2%となっています。

高学年児童保護者では、「8時台」の割合が45.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が34.3%、「9時台」の割合が14.3%となっています。

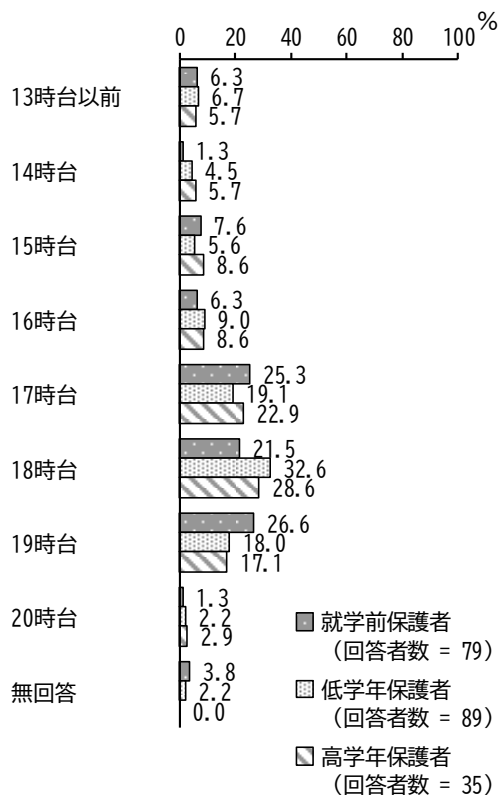


利用終了時間

就学前児童保護者では、「19時台」の割合が26.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.3%、「18時台」の割合が21.5%となっています。

低学年児童保護者では、「18時台」の割合が32.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.9%、「19時台」の割合が18.0%となっています。

高学年児童保護者では、「18時台」の割合が28.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.9%、「19時台」の割合が17.1%となっています。



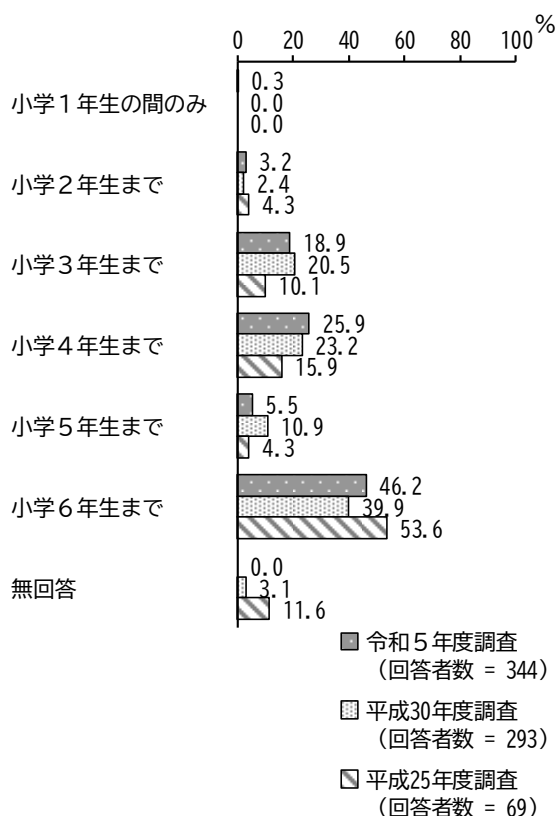
平日または土曜日に放課後児童クラブの利用を希望する方にうかがいます。何年生までの利用を希望しますか。

低学年児童保護者では、「小学6年生まで」の割合が46.2%と最も高く、次いで「小学4年生まで」の割合が25.9%、「小学3年生まで」の割合が18.9%となっています。

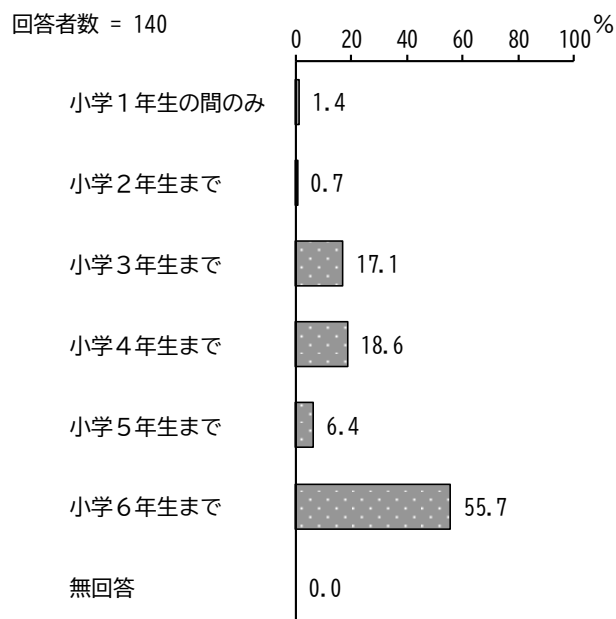
平成30年度調査と比較すると、「平日のみ利用したい」「どちらも利用したい」「利用する必要はない」の割合が増加しています。

高学年児童保護者では、「小学6年生まで」の割合が55.7%と最も高く、次いで「小学4年生まで」の割合が18.6%、「小学3年生まで」の割合が17.1%となっています。

【低学年児童保護者】



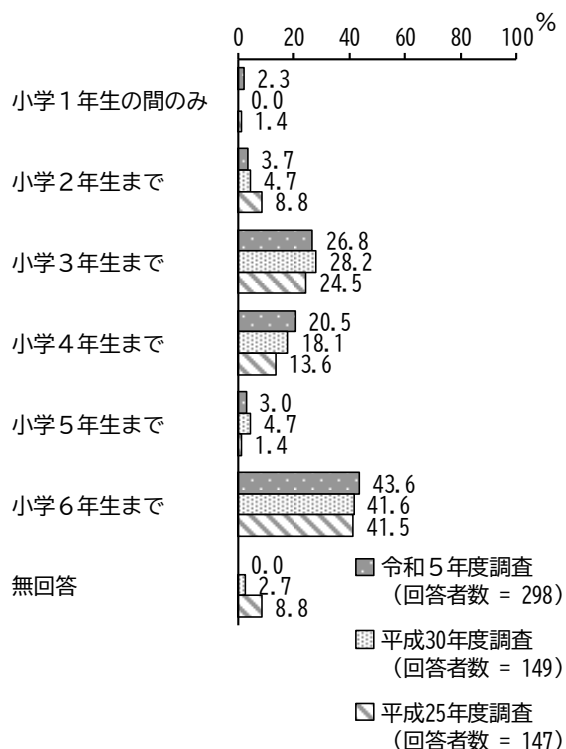
【高学年児童保護者】



就学前児童保護者では、「小学6年生まで」の割合が43.6%と最も高く、次いで「小学3年生まで」の割合が26.8%、「小学4年生まで」の割合が20.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

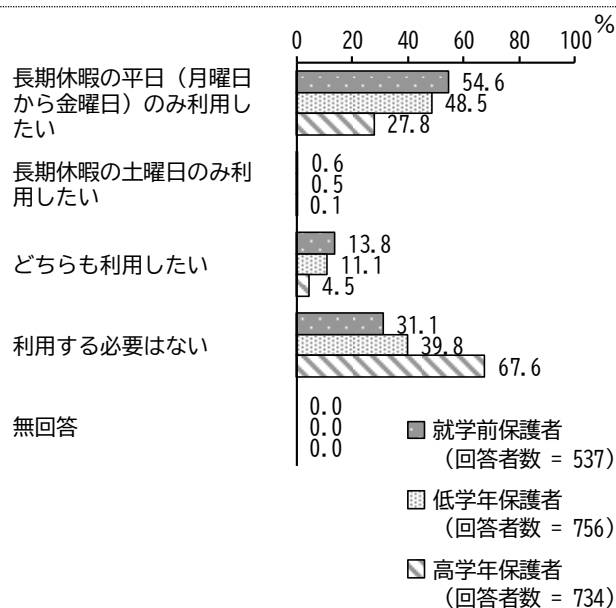
【就学前児童保護者】



宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

就学前児童保護者及び低学年児童保護者では、「長期休暇の平日（月曜日から金曜日）のみ利用したい」の割合が最も高くなっています。

高学年児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が最も高くなっています。



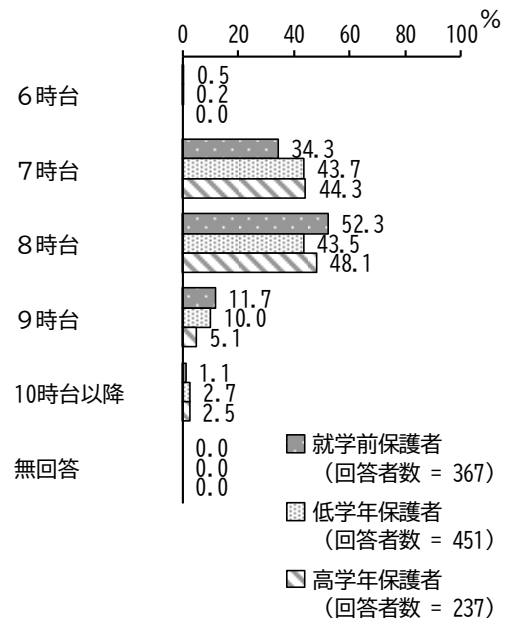
長期休暇期間中の平日に放課後児童クラブの利用を希望する方にうかがいます。お子さんについて、平日の利用を希望する時間をお答えください。

利用開始時間

就学前児童保護者では、「8時台」の割合が52.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が34.3%、「9時台」の割合が11.7%となっています。

低学年児童保護者では、「7時台」の割合が43.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が43.5%、「9時台」の割合が10.0%となっています。

高学年児童保護者では、「8時台」の割合が48.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が44.3%となっています。

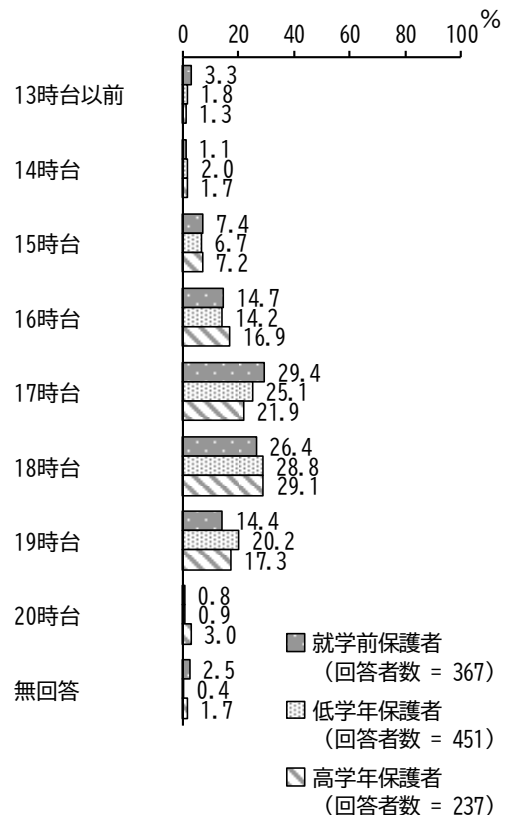


利用終了時間

就学前児童保護者では、「17時台」の割合が29.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が26.4%、「16時台」の割合が14.7%となっています。

低学年児童保護者では、「18時台」の割合が28.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.1%、「19時台」の割合が20.2%となっています。

高学年児童保護者では、「18時台」の割合が29.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.9%、「19時台」の割合が17.3%となっています。



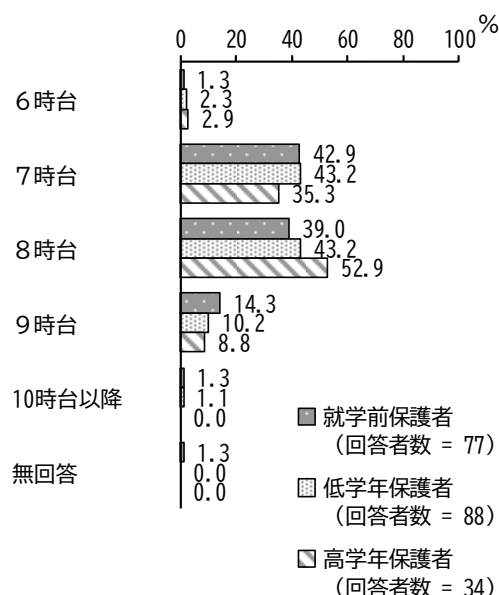
長期休暇期間中の土曜日に放課後児童クラブの利用を希望する方にうかがいます。お子さんについて、土曜日の利用を希望する時間をお答えください。

利用開始時間

就学前児童保護者では、「7時台」の割合が42.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が39.0%、「9時台」の割合が14.3%となっています。

低学年児童保護者では、「7時台」、「8時台」の割合が43.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が10.2%となっています。

高学年児童保護者では、「8時台」の割合が52.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が35.3%となっています。

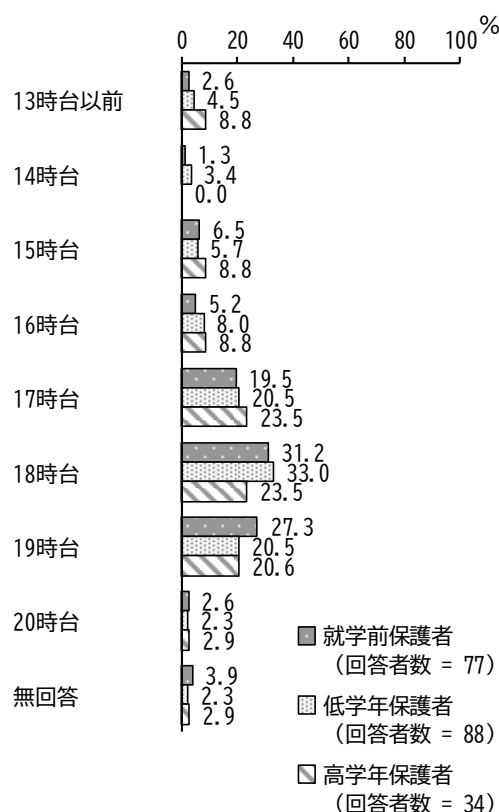


利用終了時間

就学前児童保護者では、「18時台」の割合が31.2%と最も高く、次いで「19時台」の割合が27.3%、「17時台」の割合が19.5%となっています。

低学年児童保護者では、「18時台」の割合が33.0%と最も高く、次いで「17時台」、「19時台」の割合が20.5%となっています。

高学年児童保護者では、「17時台」、「18時台」の割合が23.5%と最も高く、次いで「19時台」の割合が20.6%となっています。



平日または土曜日の長期休暇期間中に放課後児童クラブの利用を希望する方にうかがいます。何年生までの利用を希望しますか。

低学年児童保護者では、「小学6年生まで」の割合が54.1%と最も高く、次いで「小学4年生まで」の割合が21.8%、「小学3年生まで」の割合が16.0%となっています。

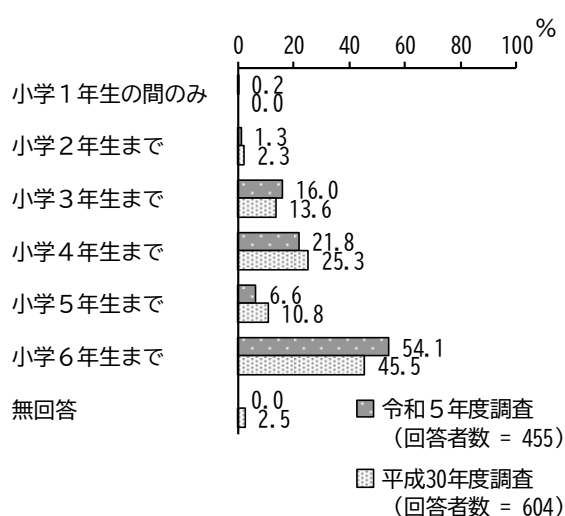
平成30年度調査と比較すると、「6時台」「7時台」「8時台」の割合が増加しています。

高学年児童保護者では、「小学6年生まで」の割合が62.2%と最も高く、次いで「小学4年生まで」の割合が17.2%、「小学3年生まで」の割合が12.6%となっています。

就学前児童保護者では、「小学6年生まで」の割合が43.0%と最も高く、次いで「小学3年生まで」の割合が27.8%、「小学4年生まで」の割合が20.8%となっています。

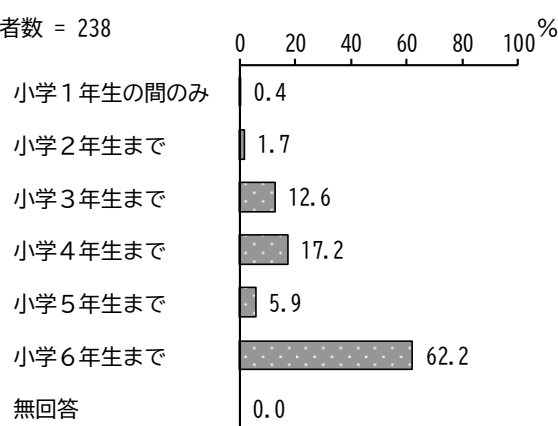
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【低学年児童保護者】

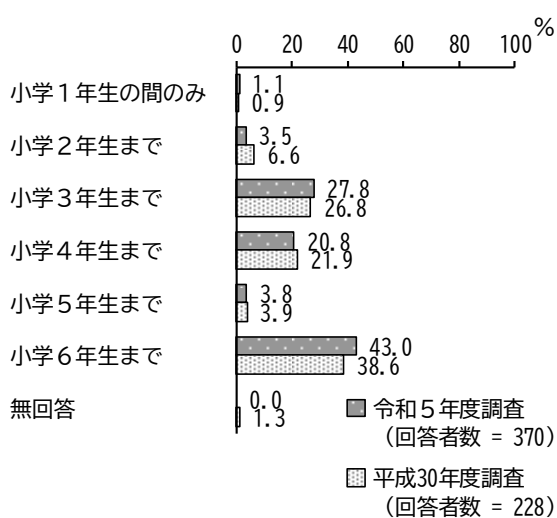


【高学年児童保護者】

回答者数 = 238



【就学前児童保護者】



（９）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度【就学前のみ】

宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。【就学前のみ】

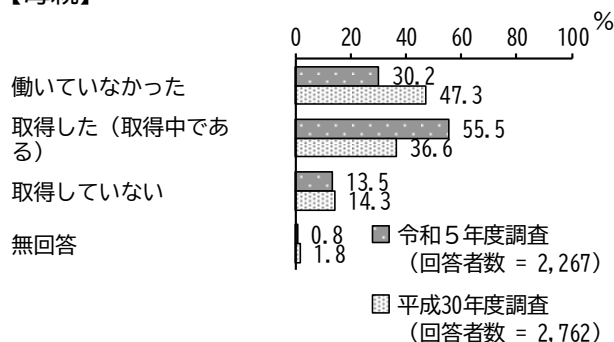
母親では、「取得した（取得中である）」の割合が最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。

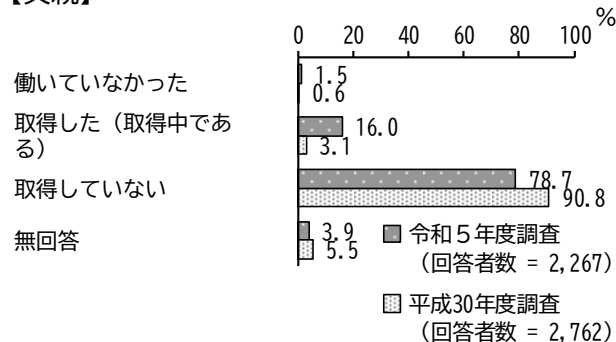
父親では、「取得していない」の割合が最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】



宛名のお子さんが生まれたときに育児休業を取得していない方はその理由をすべて選択してください。【就学前のみ】

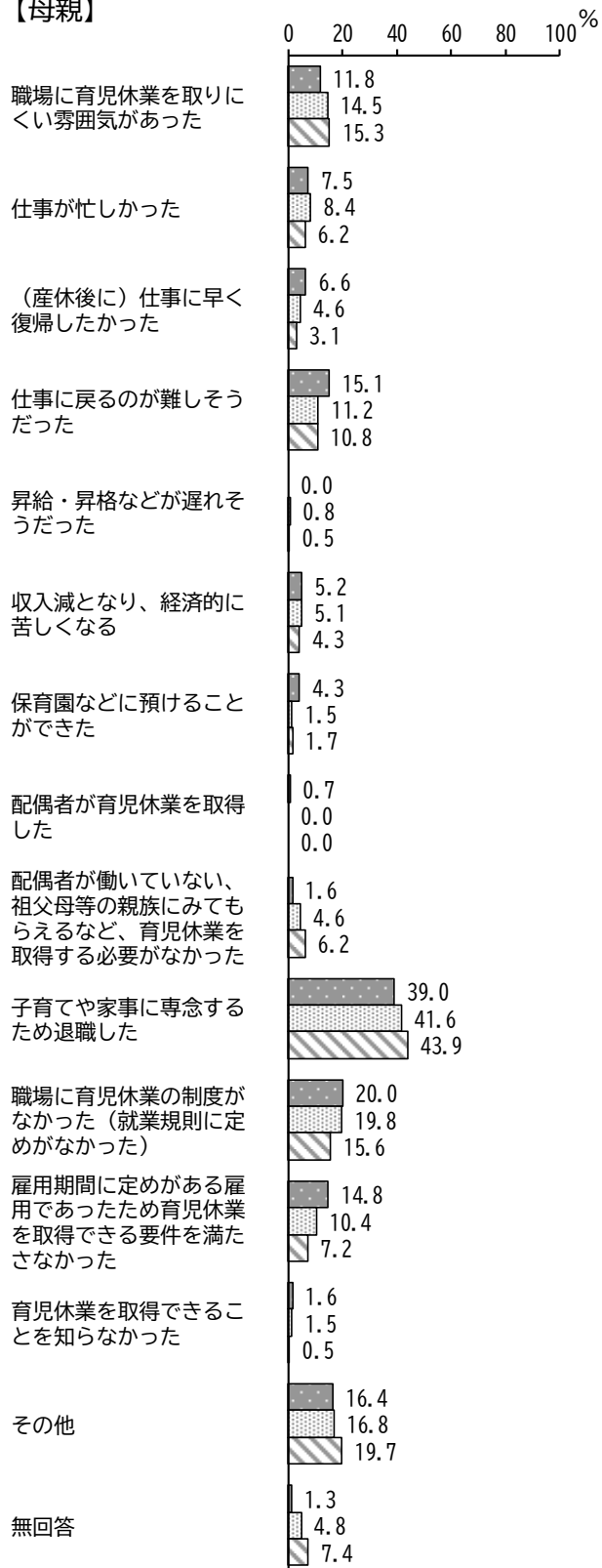
母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」、「仕事に戻るのが難しそうだった」の割合が高い傾向にあります。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

父親では、「仕事が忙しかった」の割合が最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が高い傾向にあります。

平成 30 年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が増加しています。一方、「配偶者が働いていない、祖父母等の親族にみてもらえなど、育児休業を取得する必要がなかった」の割合が減少しています。

【母親】

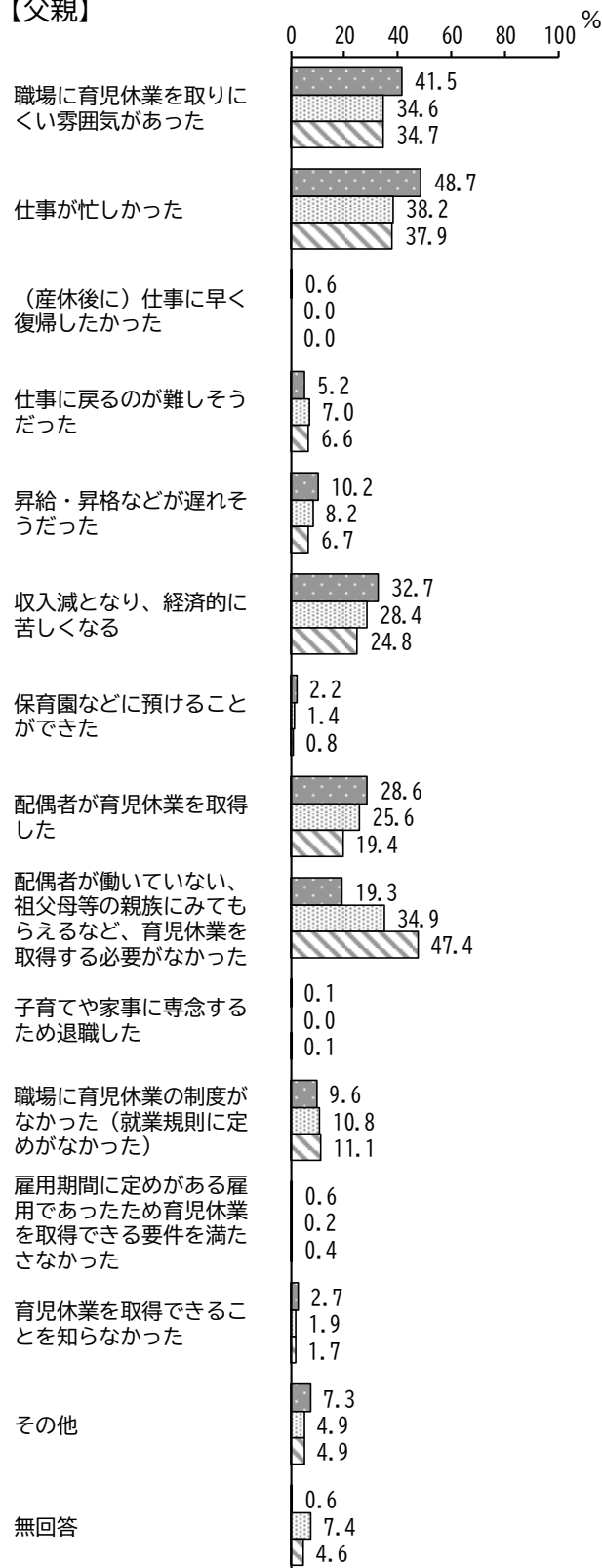


■ 令和5年度調査
(回答者数 = 305)

■ 平成30年度調査
(回答者数 = 394)

■ 平成25年度調査
(回答者数 = 417)

【父親】



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 1,783)

■ 平成30年度調査
(回答者数 = 2,508)

■ 平成25年度調査
(回答者数 = 2,604)

育児休業から職場に復帰したのは、4月の保育園の一斉入園のタイミングに合わせましたか。あるいはそれ以外でしたか。【就学前のみ】

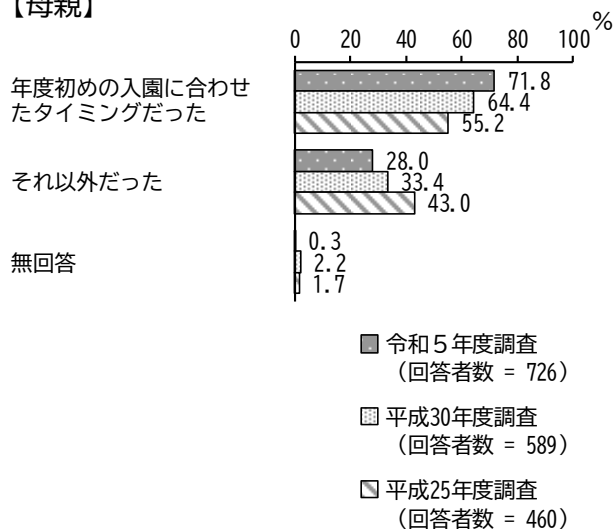
母親では、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が71.8%、「それ以外だった」の割合が28.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が増加しています。一方、「それ以外だった」の割合が減少しています。

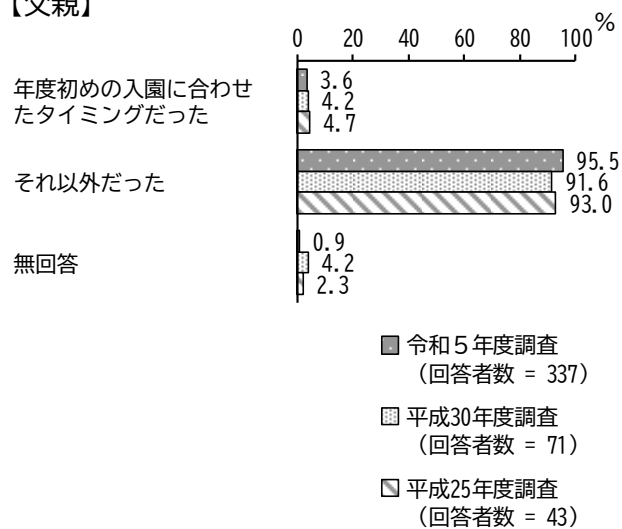
父親では、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が3.6%、「それ以外だった」の割合が95.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【母親】



【父親】



育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかった
ですか。【就学前のみ】

母親の実際の復帰タイミングは、「1歳～1歳6か月未満」の割合が37.7%と最も高く、次いで「1歳6か月～2歳未満」の割合が23.0%、「6か月～1歳未満」の割合が22.0%となっています。

父親の実際の復帰タイミングは、「3か月未満」の割合が64.4%と最も高く、次いで「3か月～6か月未満」の割合が20.5%となっています。

母親の理想の復帰タイミングは、「2歳～3歳未満」の割合が34.9%と最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」の割合が30.9%、「3歳以上」の割合が20.5%となっています。

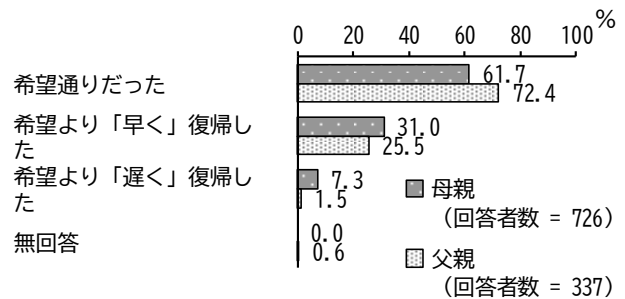
父親の理想の復帰タイミングは、「1歳～1歳6か月未満」の割合が42.9%と最も高く、次いで「6か月～1歳未満」の割合が22.0%、「3か月～6か月未満」の割合が17.6%となっています。

		回答者数	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1歳未満	1歳～1歳6か月未満	1歳6か月～2歳未満	2歳～3歳未満	3歳以上	無回答
実際	母親	726	0.1	2.5	22.0	37.7	23.0	10.6	3.2	0.8
	父親	337	64.4	20.5	9.2	4.5	0.3	0.9	0.0	0.3
理想	母親	278	0.0	0.7	2.5	30.9	9.4	34.9	20.5	1.1
	父親	91	9.9	17.6	22.0	42.9	0.0	3.3	2.2	2.2

「実際」の復帰と「希望」の復帰に違いはありますか。【就学前のみ】

母親では、「希望通りだった」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「希望より「早く」復帰した」の割合が 31.0%となっています。

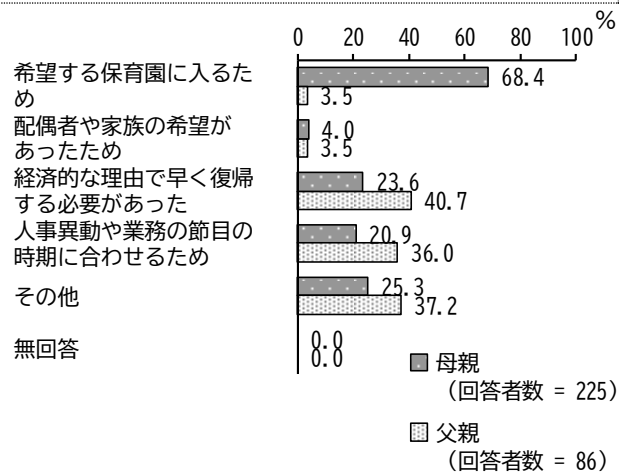
父親では、「希望通りだった」の割合が 72.4%と最も高く、次いで「希望より「早く」復帰した」の割合が 25.5%となっています。



希望より早く復帰したのは、どのような理由からですか。あてはまるものすべてをお答えください。【就学前のみ】

母親では、「希望する保育園に入るため」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 23.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 20.9%となっています。

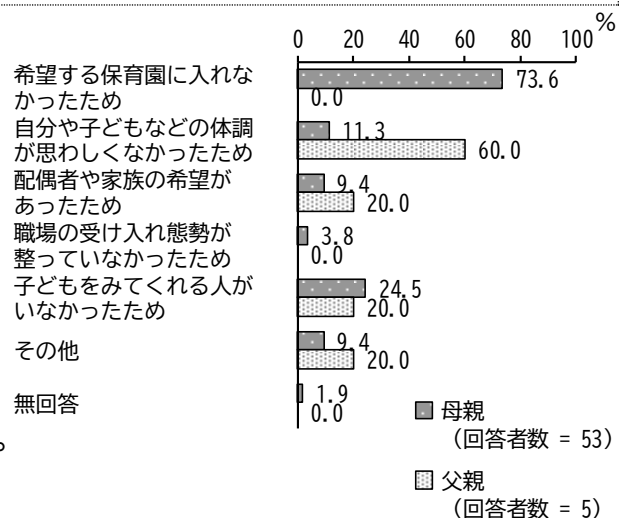
父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 36.0%となっています。



希望より遅く復帰したのは、どのような理由からですか。あてはまるものすべてをお答えください。【就学前のみ】

母親では、「希望する保育園に入れなかったため」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」の割合が 24.5%、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」の割合が 11.3%となっています。

父親では、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が 3件となっています。「配偶者や家族の希望があったため」、「子どもをみってくれる人がいなかったため」が 1件となっています。



育児休業からの職場復帰後に、短時間勤務制度を利用しましたか。【就学前のみ】

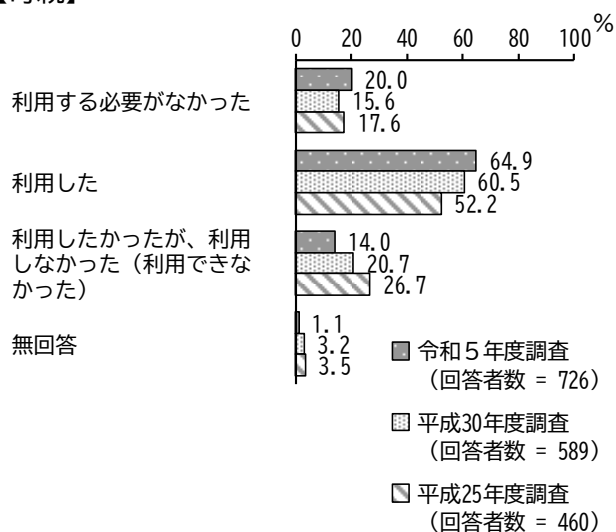
母親では、「利用した」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった」の割合が 20.0%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 14.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が減少しています。

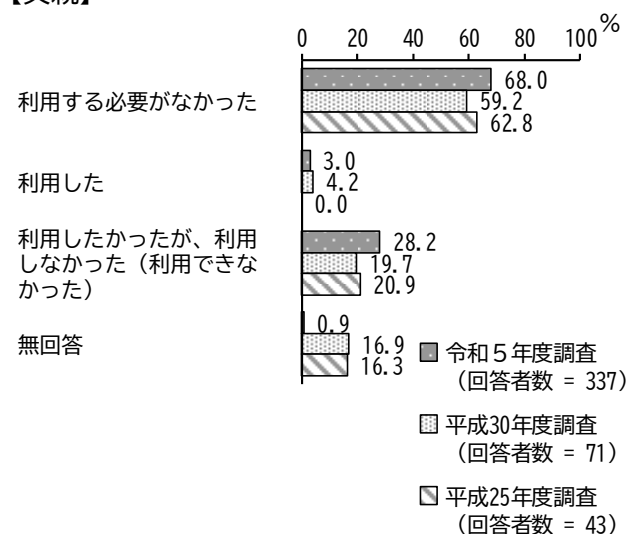
父親では、「利用する必要がなかった」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 28.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった」「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が増加しています。

【母親】



【父親】



短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を回答した方にうかがいます。その理由についてお答えください。あてはまるものすべてをお答えください。【就学前のみ】

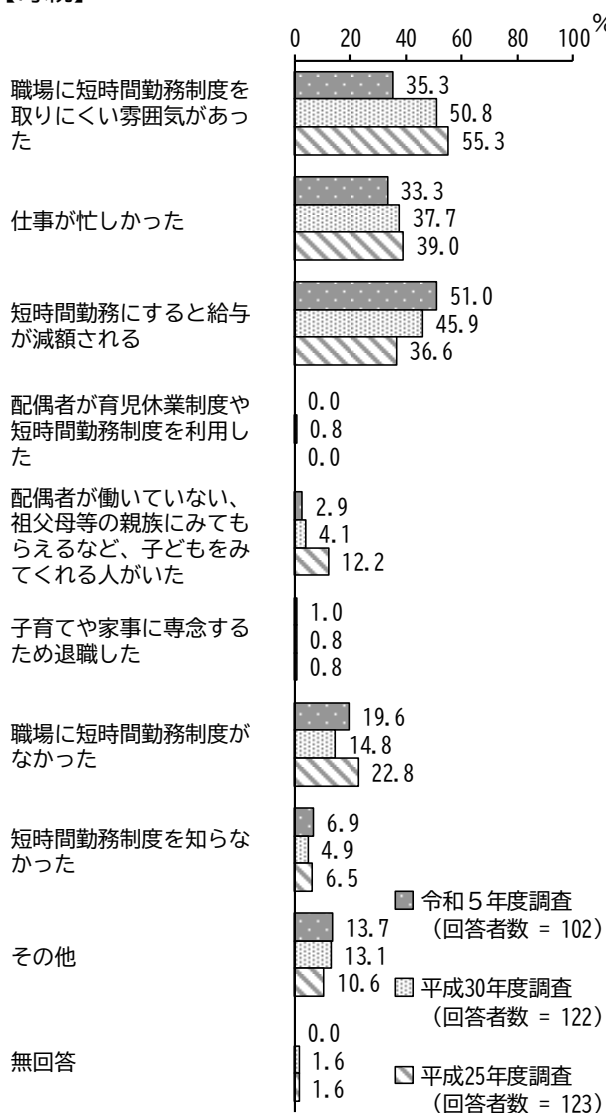
母親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 35.3%、「仕事が忙しかった」の割合が 33.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が減少しています。

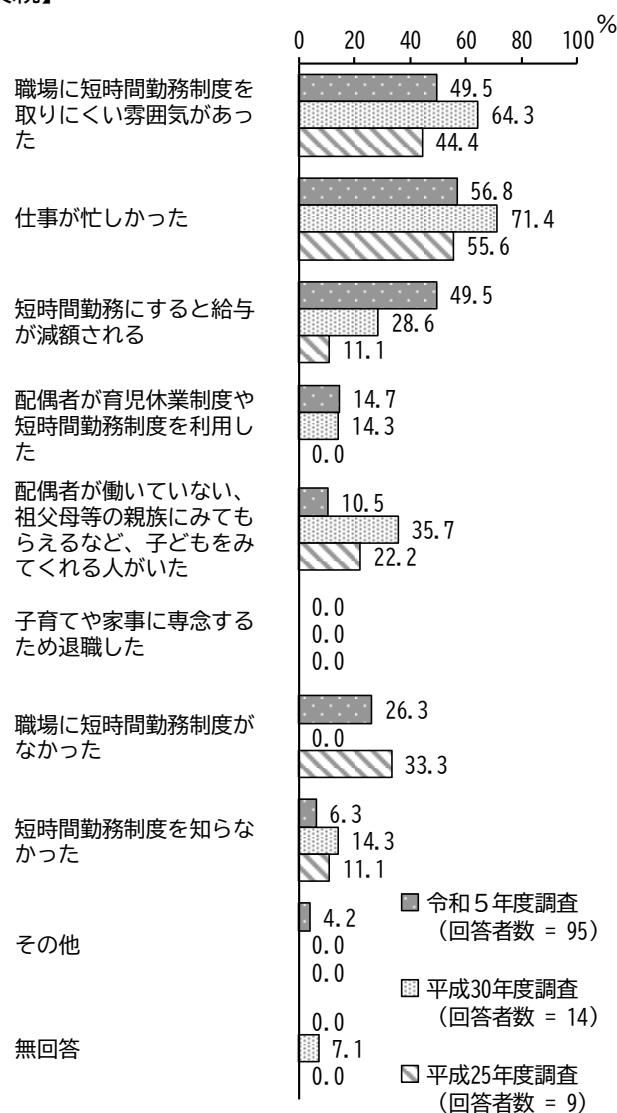
父親では、「仕事が忙しかった」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 49.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」「職場に短時間勤務制度がなかった」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「配偶者が働いていない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた」「短時間勤務制度を知らなかった」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】



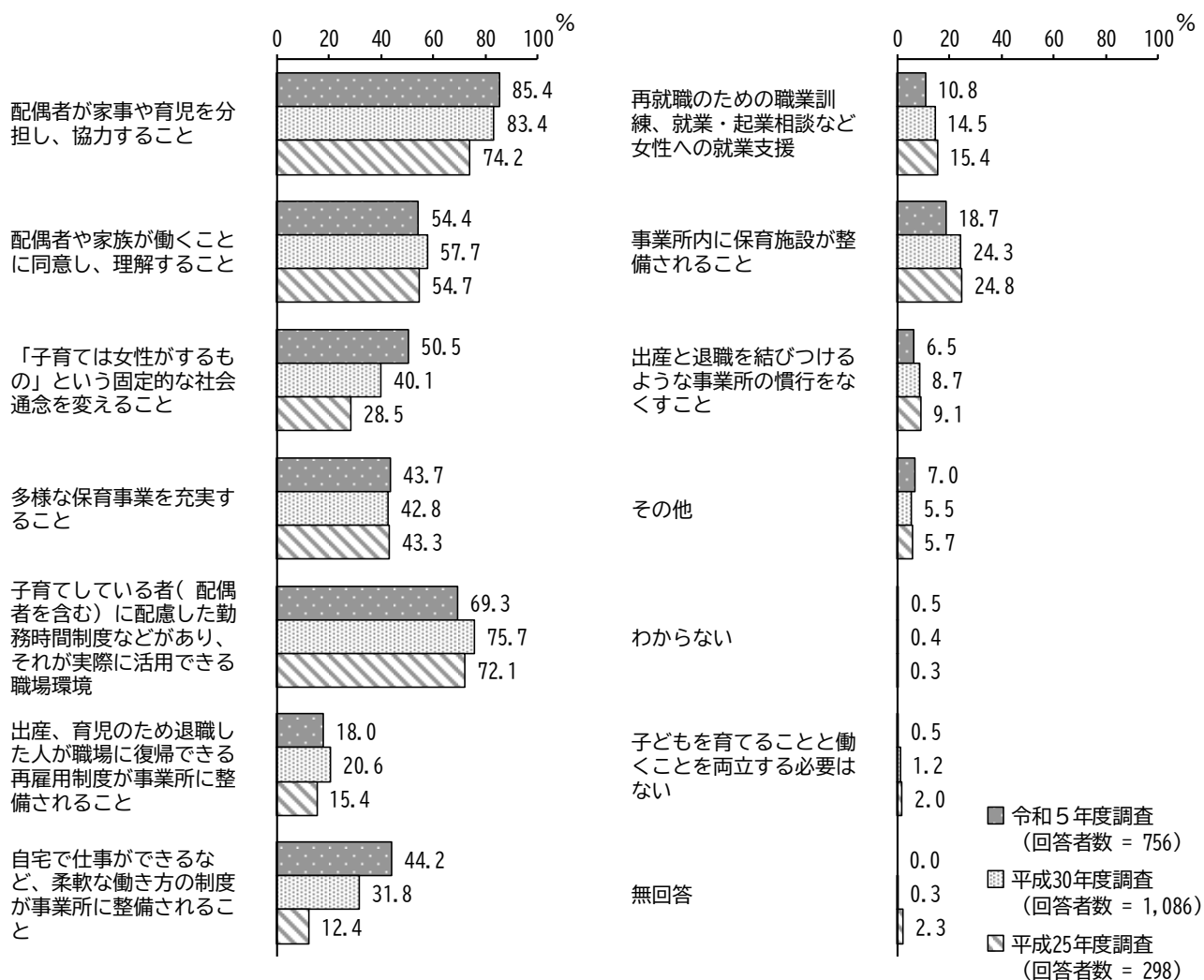
子どもを育てることと働くことを両立するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(あてはまるものを5つまで選んでください。)

低学年児童保護者では、「配偶者が家事や育児を分担し、協力すること」の割合が最も高くなっています。

また「子育てをしている者(配偶者を含む)に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境」、「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること、「配偶者や家族が働くことに同意し、理解すること」の割合が高い傾向にあります。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること」「自宅で仕事ができるなど、柔軟な働き方の制度が事業所に整備されること」の割合が増加しています。一方、「子育てをしている者(配偶者を含む)に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境」「事業所内に保育施設が整備されること」の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】

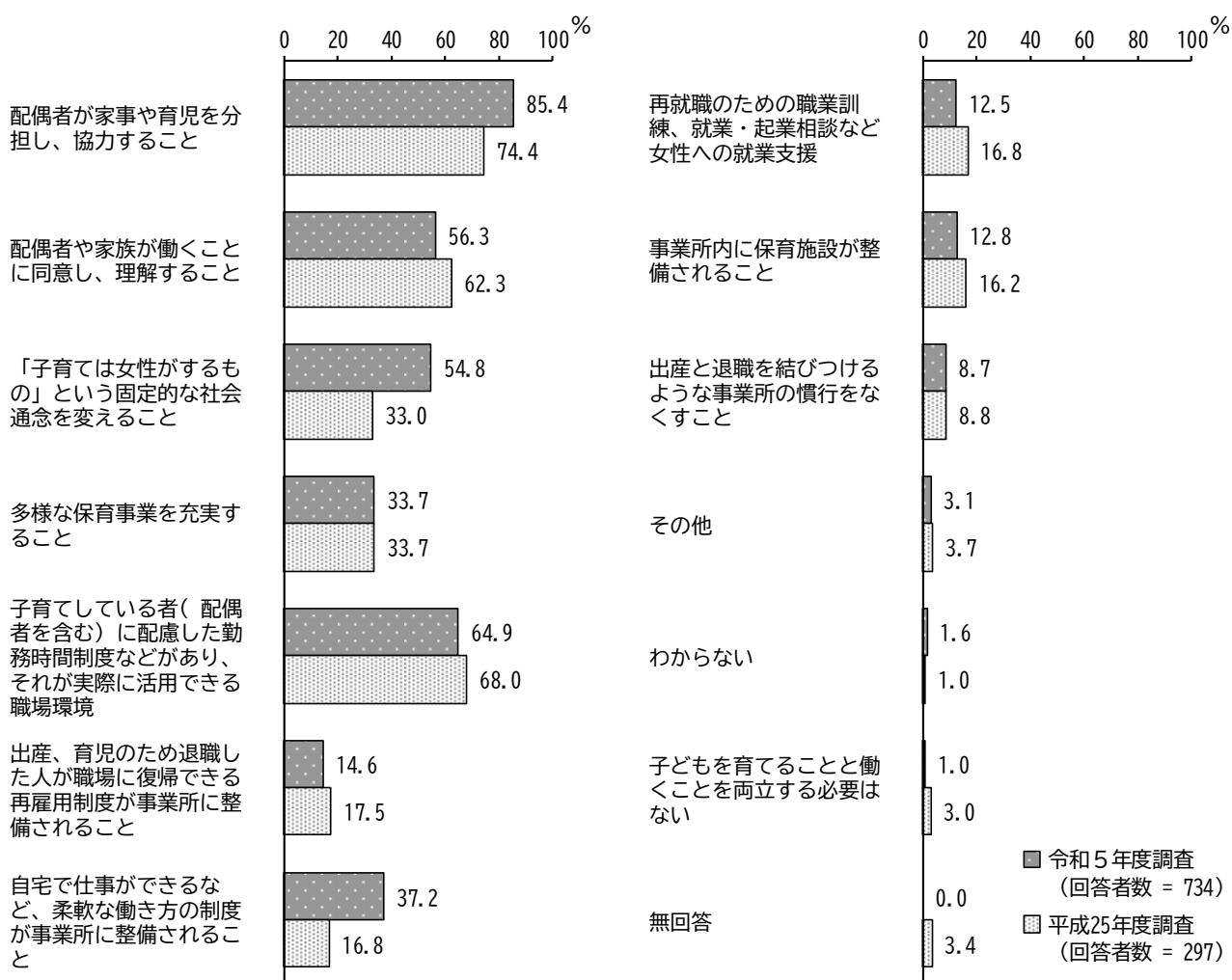


高学年児童保護者では、「配偶者が家事や育児を分担し、協力すること」の割合が最も高くなっています。

また「子育てしている者(配偶者を含む)に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境」、「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること、「配偶者や家族が働くことに同意し、理解すること」の割合が高い傾向にあります。

平成25年度調査と比較すると、「配偶者が家事や育児を分担し、協力すること」「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること」「自宅で仕事ができるなど、柔軟な働き方の制度が事業所に整備されること」の割合が増加しています。一方、「配偶者や家族が働くことに同意し、理解すること」の割合が減少しています。

【高学年児童保護者】

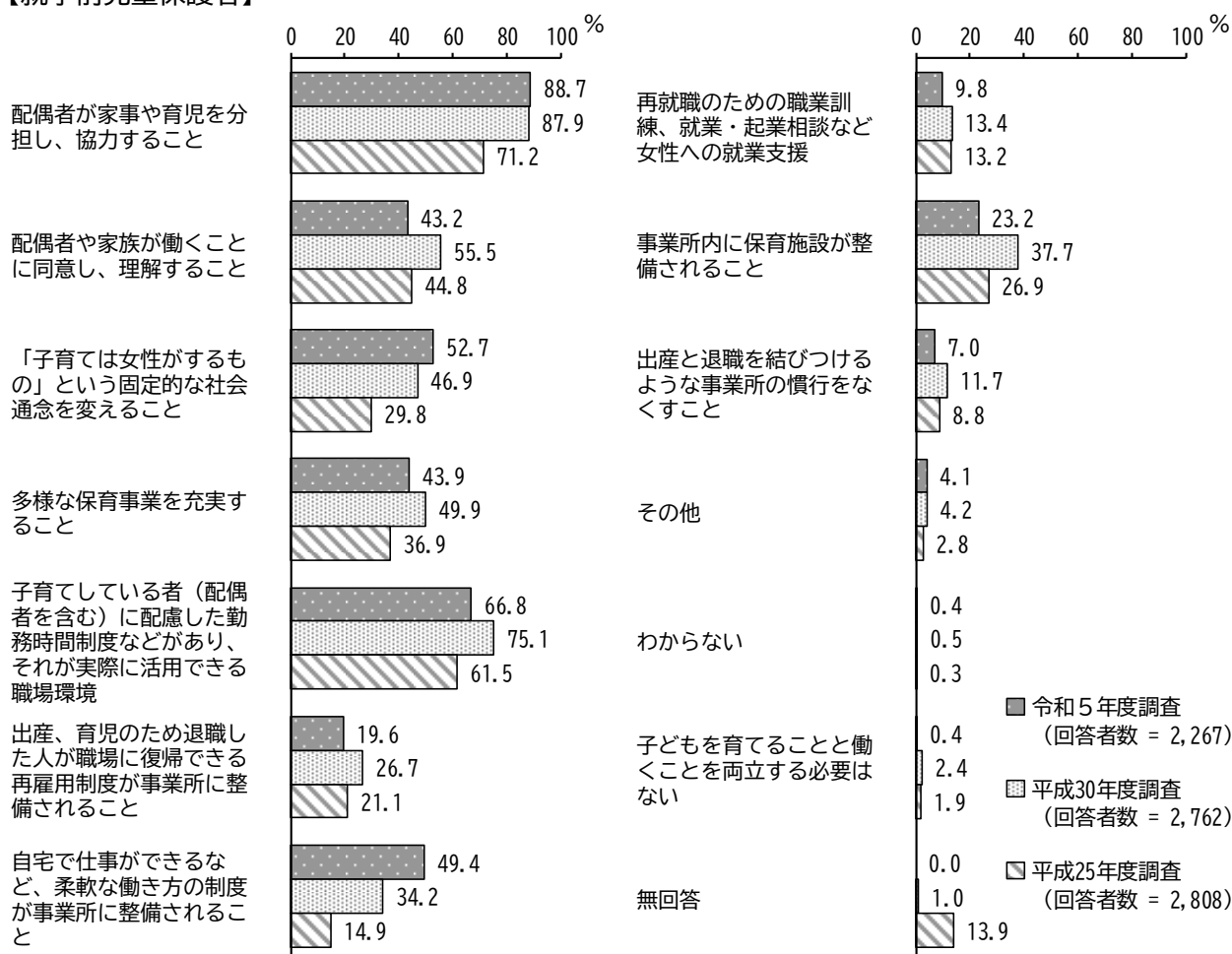


就学前児童保護者では、「配偶者が家事や育児を分担し、協力すること」の割合が最も高くなっています。

また「子育てをしている者(配偶者を含む)に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境」、「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること、「配偶者や家族が働くことに同意し、理解すること」の割合が高い傾向にあります。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること」「自宅で仕事ができるなど、柔軟な働き方の制度が事業所に整備されること」の割合が増加しています。一方、「配偶者や家族が働くことに同意し、理解すること」「多様な保育事業を充実すること」「子育てをしている者(配偶者を含む)に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境」「出産、育児のため退職した人が職場に復帰できる再雇用制度が事業所に整備されること」「事業所内に保育施設が整備されること」の割合が減少しています。

【就学前児童保護者】



(10) 子育てについての考えや感じていること

春日井市は子育てしやすいまちだと思いますか。

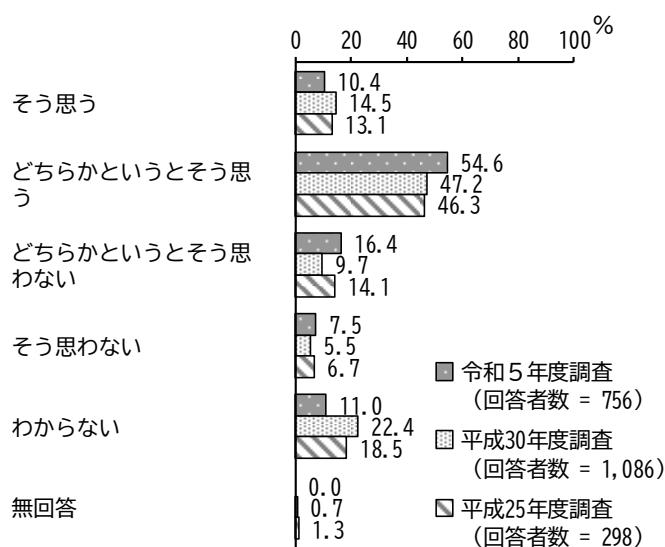
低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者ともに「どちらかというと思う」の割合が最も高くなっています。

低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。

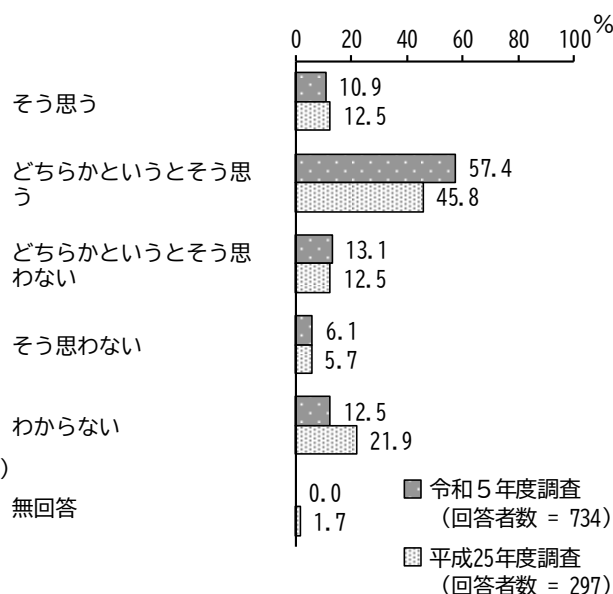
高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、「どちらかというと思う」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。

就学前児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかというと思う」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。

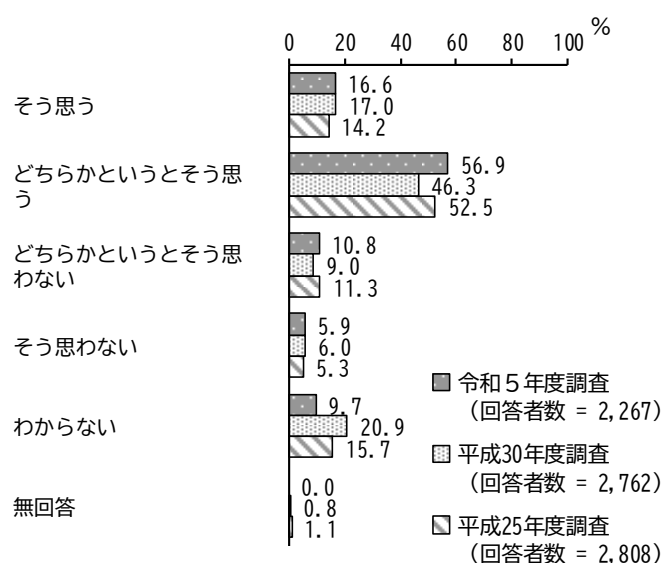
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



【低学年 学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか という そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	756	10.4	54.6	16.4	7.5	11.0	—
小学1年生	265	10.9	56.6	15.1	8.3	9.1	—
小学2年生	258	11.2	51.9	18.2	7.0	11.6	—
小学3年生	233	9.0	55.4	15.9	7.3	12.4	—

【低学年 現在の家計の状況別】

現在の家計の状況別にみると、ややゆとりがあるで「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか という そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	756	10.4	54.6	16.4	7.5	11.0	—
大変苦しい	118	0.8	44.9	20.3	22.0	11.9	—
やや苦しい	231	8.7	55.0	17.3	8.2	10.8	—
普通	339	13.9	57.5	14.7	2.9	10.9	—
ややゆとりがある	61	16.4	55.7	14.8	1.6	11.5	—
大変ゆとりがある	7	14.3	57.1	14.3	14.3	—	—

【低学年 気軽な相談先の有無別】

気軽な相談先の有無別にみると、気軽な相談先が『ない』で「わからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか という そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	756	10.4	54.6	16.4	7.5	11.0	—
ある	657	11.3	56.9	16.4	5.5	9.9	—
ない	99	5.1	39.4	16.2	21.2	18.2	—

【低学年 子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別】

子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別にみると、支えられているか『わからない』で「わからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	756	10.4	54.6	16.4	7.5	11.0	—
そう思う	86	24.4	61.6	3.5	3.5	7.0	—
どちらかというと思う	337	12.8	62.0	13.9	4.7	6.5	—
どちらかというと思わない	168	4.8	54.2	23.2	5.4	12.5	—
そう思わない	112	0.9	33.0	25.0	25.9	15.2	—
わからない	53	11.3	43.4	13.2	—	32.1	—

【高学年 学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	734	10.9	57.4	13.1	6.1	12.5	—
小学4年生	212	14.2	55.7	10.8	7.5	11.8	—
小学5年生	280	9.6	57.9	16.8	5.7	10.0	—
小学6年生	242	9.5	58.3	10.7	5.4	16.1	—

【高学年 現在の家計の状況別】

現在の家計の状況別にみると、ゆとりがあるほど「そう思う」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	734	10.9	57.4	13.1	6.1	12.5	—
大変苦しい	129	7.0	47.3	20.2	10.9	14.7	—
やや苦しい	229	8.3	59.0	16.2	7.0	9.6	—
普通	313	12.5	59.7	9.6	4.2	14.1	—
ややゆとりがある	59	20.3	61.0	5.1	3.4	10.2	—
大変ゆとりがある	4	25.0	50.0	—	—	25.0	—

【高学年 気軽な相談先の有無別】

気軽な相談先の有無別にみると、気軽な相談先が『ない』で「そう思わない」「わからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	734	10.9	57.4	13.1	6.1	12.5	—
ある	618	11.7	59.9	12.5	4.9	11.2	—
ない	116	6.9	44.0	16.4	12.9	19.8	—

【高学年 子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別】

子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別にみると、支えられているかについて『そう思わない』で、「そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	734	10.9	57.4	13.1	6.1	12.5	—
そう思う	77	33.8	51.9	2.6	2.6	9.1	—
どちらかという そう思う	329	12.2	69.3	9.4	0.6	8.5	—
どちらかという そう思わない	156	5.1	57.7	25.6	5.8	5.8	—
そう思わない	105	4.8	32.4	15.2	26.7	21.0	—
わからない	67	1.5	43.3	10.4	6.0	38.8	—

【就学前 現在の家計の状況別】

現在の家計の状況別にみると、大変ゆとりがあるで「どちらかというと思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	2,267	16.6	56.9	10.8	5.9	9.7	—
大変苦しい	297	11.1	45.1	18.9	14.8	10.1	—
やや苦しい	705	15.0	58.6	10.8	5.4	10.2	—
普通	1,071	18.8	58.8	9.1	3.9	9.4	—
ややゆとりがある	181	18.8	58.0	8.8	5.0	9.4	—
大変ゆとりがある	13	15.4	69.2	—	7.7	7.7	—

【就学前 気軽な相談先の有無別】

気軽な相談先の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	2,267	16.6	56.9	10.8	5.9	9.7	—
ある	2,043	17.3	57.4	10.7	5.0	9.5	—
ない	224	10.3	52.7	11.6	13.8	11.6	—

【就学前 子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別】

子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別にみると、支えられているかについて『そう思う』で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

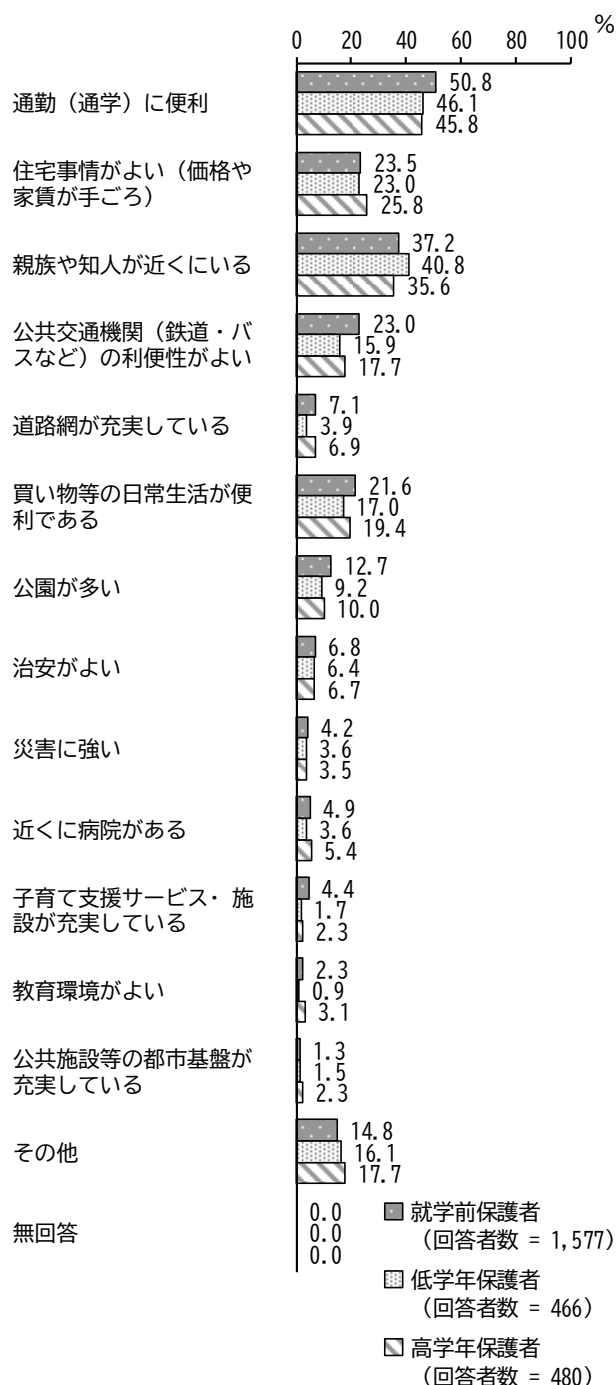
区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	2,267	16.6	56.9	10.8	5.9	9.7	—
そう思う	240	42.1	46.3	5.0	1.7	5.0	—
どちらかという そう思う	981	18.6	68.0	6.8	2.2	4.4	—
どちらかという そう思わない	492	8.9	53.7	20.3	6.1	11.0	—
そう思わない	333	6.9	43.5	15.9	20.7	12.9	—
わからない	221	11.8	47.1	5.9	4.1	31.2	—

春日井市へ引っ越しを決めた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

就学前児童保護者では、「通勤（通学）に便利」の割合が50.8%と最も高く、次いで「親族や知人が近くにいる」の割合が37.2%、「住宅事情がよい（価格や家賃が手ごろ）」の割合が23.5%となっています。

低学年児童保護者では、「通勤（通学）に便利」の割合が46.1%と最も高く、次いで「親族や知人が近くにいる」の割合が40.8%、「住宅事情がよい（価格や家賃が手ごろ）」の割合が23.0%となっています。

高学年児童保護者では、「通勤（通学）に便利」の割合が45.8%と最も高く、次いで「親族や知人が近くにいる」の割合が35.6%、「住宅事情がよい（価格や家賃が手ごろ）」の割合が25.8%となっています。



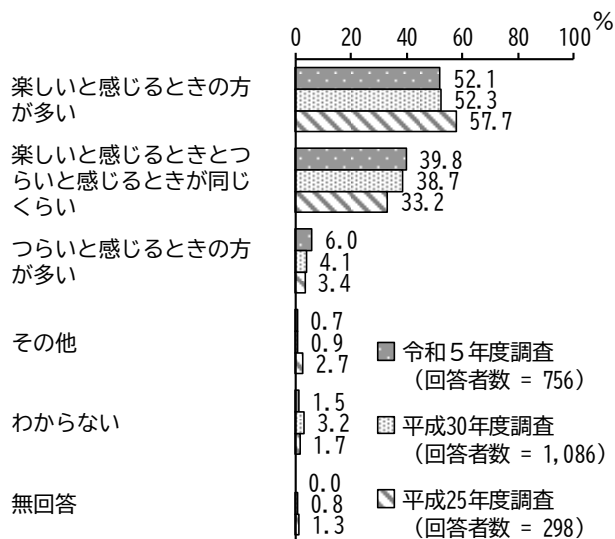
子育てについて、あなたはどのように感じていますか。

低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者ともに「楽しいと感じるときの方が多い」の割合が最も高くなっています。

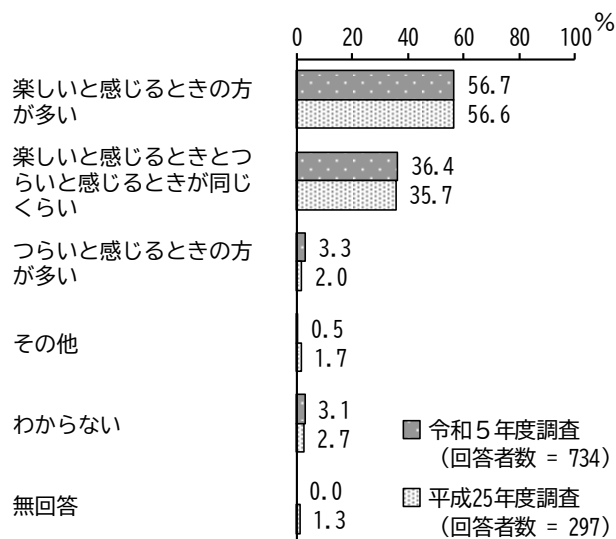
低学年児童保護者、就学前児童保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

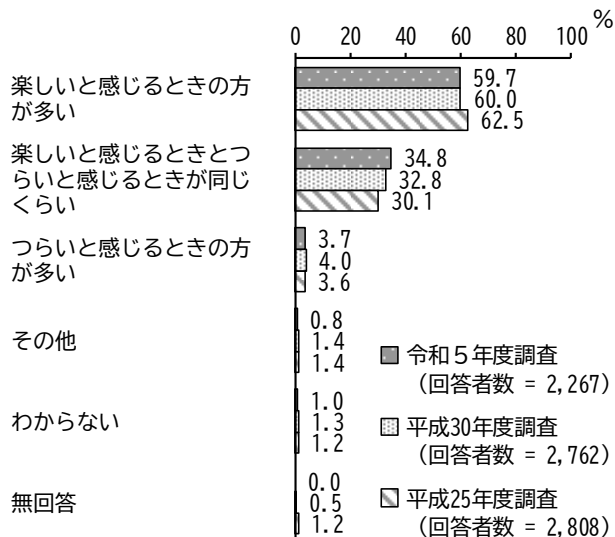
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



【低学年 学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと つらいと感じるときが 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	756	52.1	39.8	6.0	0.7	1.5	—
小学1年生	265	47.2	43.8	6.4	1.1	1.5	—
小学2年生	258	55.0	35.7	7.4	0.8	1.2	—
小学3年生	233	54.5	39.9	3.9	—	1.7	—

【低学年 現在の家計の状況別】

現在の家計の状況別にみると、ややゆとりがあるで「楽しいと感じるときの方が多く」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと つらいと感じるときが 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	756	52.1	39.8	6.0	0.7	1.5	—
大変苦しい	118	33.1	51.7	11.9	—	3.4	—
やや苦しい	231	50.2	39.0	7.4	1.3	2.2	—
普通	339	57.2	38.6	3.5	0.3	0.3	—
ややゆとりがある	61	68.9	26.2	3.3	—	1.6	—
大変ゆとりがある	7	42.9	42.9	—	14.3	—	—

【低学年 気軽な相談先の有無別】

気軽な相談先の有無別にみると、相談先が『ない』で「楽しいと感じるときとつらいと感じるときが同じくらい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと つらいと感じるときが 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	756	52.1	39.8	6.0	0.7	1.5	—
ある	657	56.0	38.2	4.1	0.8	0.9	—
ない	99	26.3	50.5	18.2	—	5.1	—

【低学年 子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問いへの回答別】

子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問いへの回答別にみると、支えられているかについて『そう思う』で「楽しいと感じるときの方が多い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	756	52.1	39.8	6.0	0.7	1.5	—
そう思う	86	64.0	29.1	4.7	2.3	—	—
どちらかというと思う	337	57.3	39.8	2.4	0.3	0.3	—
どちらかというと思わない	168	43.5	47.0	6.5	0.6	2.4	—
と思わない	112	41.1	37.5	17.0	0.9	3.6	—
わからない	53	50.9	39.6	5.7	—	3.8	—

【高学年 学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	734	56.7	36.4	3.3	0.5	3.1	—
小学4年生	212	59.0	35.8	2.8	0.9	1.4	—
小学5年生	280	53.6	39.6	4.3	0.4	2.1	—
小学6年生	242	58.3	33.1	2.5	0.4	5.8	—

【高学年 現在の家計の状況別】

現在の家計の状況別にみると、ゆとりがあるほど「楽しいと感じるときの方が多い」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき の方が多い	楽しいと感じるときと つらいと感じるときが 同じくらい	つらいと感じるとき の方が多い	その他	わからない	無回答
全 体	734	56.7	36.4	3.3	0.5	3.1	—
大変苦しい	129	43.4	41.9	9.3	1.6	3.9	—
やや苦しい	229	51.1	42.4	2.2	—	4.4	—
普通	313	60.4	34.8	1.9	0.6	2.2	—
ややゆとりがある	59	84.7	11.9	1.7	—	1.7	—
大変ゆとりがある	4	100.0	—	—	—	—	—

【高学年 気軽な相談先の有無別】

気軽な相談先の有無別にみると、相談先が『ある』で「楽しいと感じるときの方が多い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき の方が多い	楽しいと感じるときと つらいと感じるときが 同じくらい	つらいと感じるとき の方が多い	その他	わからない	無回答
全 体	734	56.7	36.4	3.3	0.5	3.1	—
ある	618	61.2	34.0	2.9	0.3	1.6	—
ない	116	32.8	49.1	5.2	1.7	11.2	—

【高学年 子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別】

子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問いへの回答別にみると、支えられていると思うほど「楽しいと感じるときの方が多い」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	734	56.7	36.4	3.3	0.5	3.1	—
そう思う	77	71.4	27.3	1.3	—	—	—
どちらかというと思う	329	60.2	34.3	2.4	0.3	2.7	—
どちらかというと思わない	156	51.3	42.9	3.8	—	1.9	—
と思わない	105	44.8	39.0	7.6	2.9	5.7	—
わからない	67	53.7	37.3	1.5	—	7.5	—

【就学前 現在の家計の状況別】

現在の家計の状況別にみると、大変ゆとりがあるで「楽しいと感じるときの方が多い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	2,267	59.7	34.8	3.7	0.8	1.0	—
大変苦しい	297	47.5	43.8	6.7	1.3	0.7	—
やや苦しい	705	55.0	38.2	4.7	1.0	1.1	—
普通	1,071	64.5	31.5	2.4	0.6	1.0	—
ややゆとりがある	181	68.0	28.2	2.8	0.6	0.6	—
大変ゆとりがある	13	76.9	23.1	—	—	—	—

【就学前 気軽な相談先の有無別】

気軽な相談先の有無別にみると、相談先が『ない』で「楽しいと感じるときとつらいと感じるときが同じくらい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと つらいと感じるときが 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	2,267	59.7	34.8	3.7	0.8	1.0	—
ある	2,043	62.2	33.5	2.8	0.7	0.8	—
ない	224	36.6	47.3	12.1	1.3	2.7	—

【就学前 子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別】

子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思うかという問への回答別にみると、そう思うで「楽しいと感じるときの方が多い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるとき が多い	楽しいと感じるときと つらいと感じるときが 同じくらい	つらいと感じるとき が多い	その他	わからない	無回答
全 体	2,267	59.7	34.8	3.7	0.8	1.0	—
そう思う	240	68.3	25.8	2.9	2.5	0.4	—
どちらかというと思う	981	62.8	33.8	2.2	0.5	0.6	—
どちらかというと思わない	492	55.7	39.2	4.1	0.2	0.8	—
と思わない	333	52.3	37.8	7.8	1.8	0.3	—
わからない	221	56.6	34.8	4.1	—	4.5	—

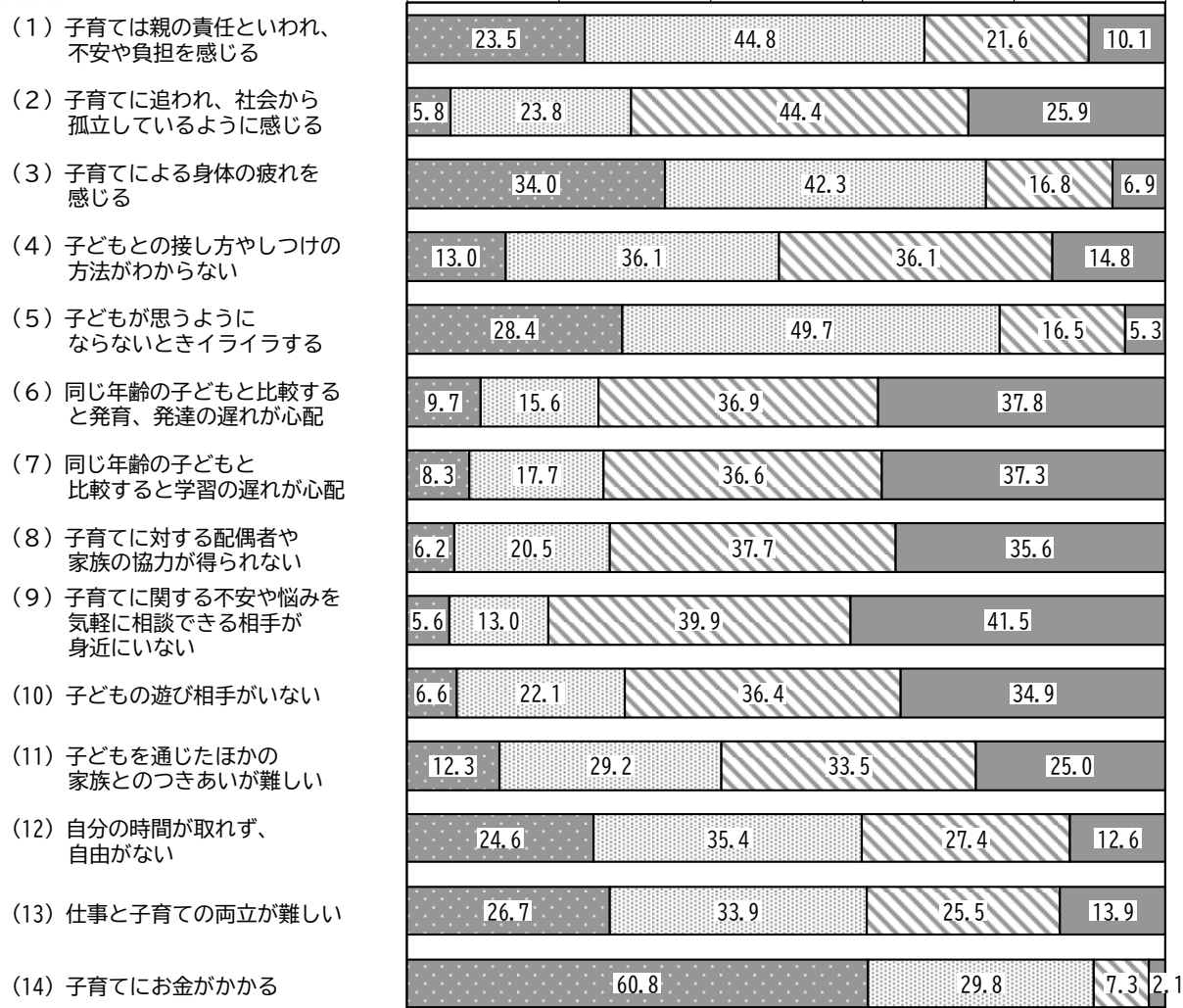
子育てをする上で次のような不安等を感じることはありますか。
次の14の項目（就学前保護者は13項目）それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

低学年児童保護者では、『(3) 子育てによる身体の疲れを感じる』、『(5) 子どもが思うようにならないときイライラする』、『(14) 子育てにお金がかかる』で「よく感じる」と「やや感じる」をあわせた“感じる”の割合が高く、特に『(14) 子育てにお金がかかる』で約9割となっています。

【低学年児童保護者】

■ よく感じる □ やや感じる □ あまり感じない ■ 特に感じない □ 無回答

回答者数 = 756

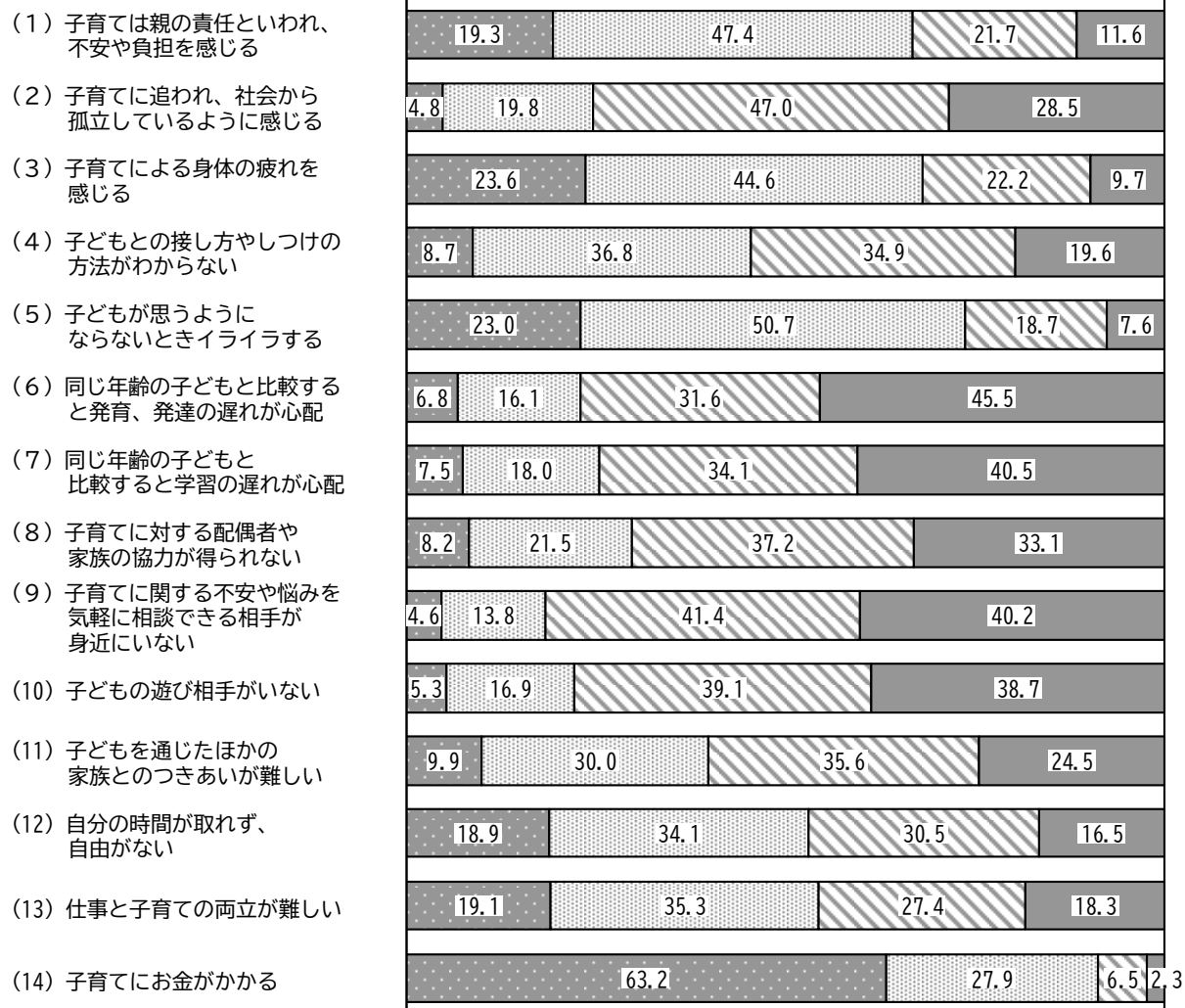


高学年児童保護者では、『(5) 子どもが思うようにならないときイライラする』、『(14) 子育てにお金がかかる』で「よく感じる」と「やや感じる」をあわせた“感じる”の割合が高く、特に『(14) 子育てにお金がかかる』で約9割となっています。

【高学年児童保護者】

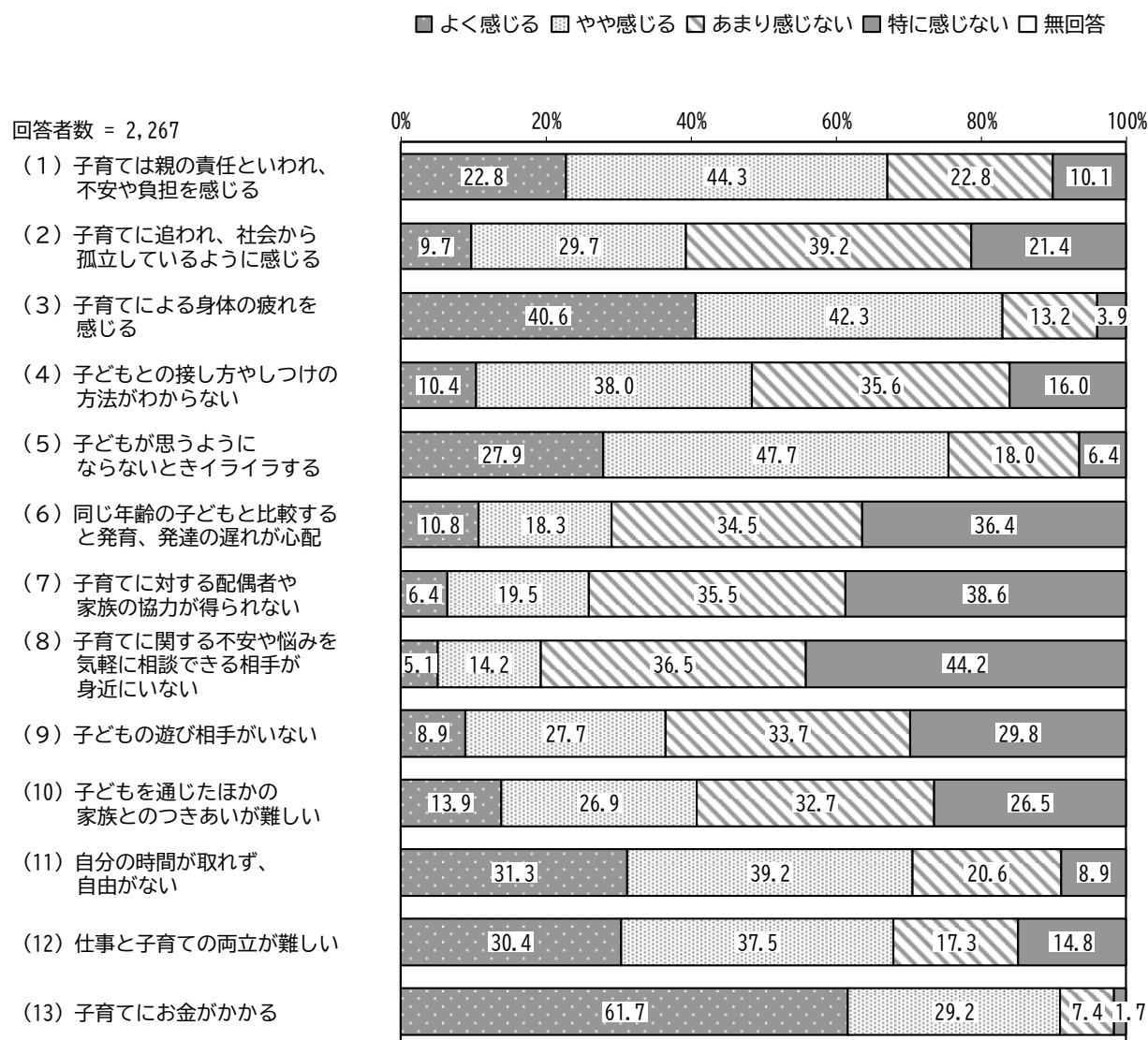
■ よく感じる ■ やや感じる ■ あまり感じない ■ 特に感じない □ 無回答

回答者数 = 734



就学前児童保護者では、『(3) 子育てによる身体の疲れを感じる』、『(5) 子どもが思うようにならないときイライラする』、『(14) 子育てにお金がかかる』で「よく感じる」と「やや感じる」をあわせた“感じる”の割合が高く、特に『(14) 子育てにお金がかかる』で約9割となっています。

【就学前児童保護者】



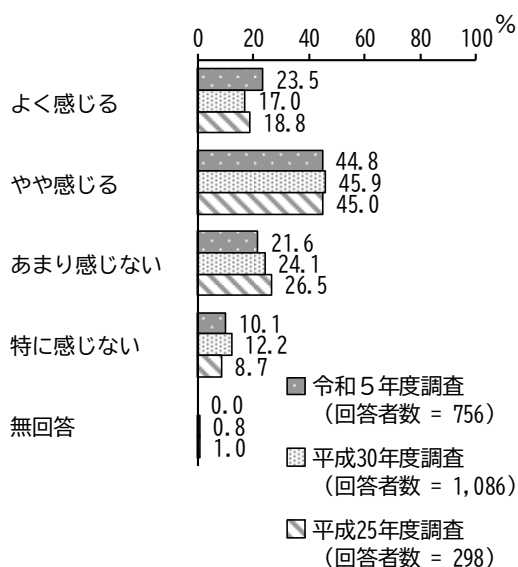
（１）子育ては親の責任といわれ、不安や負担を感じる

低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる” の割合（「よく感じる」と「やや感じる」を合わせた割合）が増加しています。

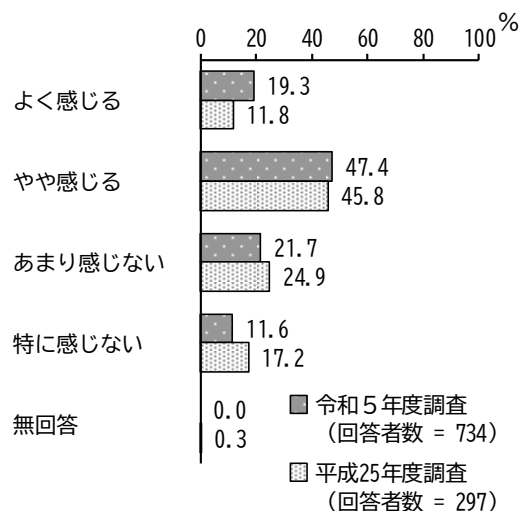
高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる” の割合が増加しています。一方、“感じない” の割合（「あまり感じない」と「特に感じない」を合わせた割合）が減少しています。

就学前児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる” の割合が増加しています。一方、“感じない” の割合が減少しています。

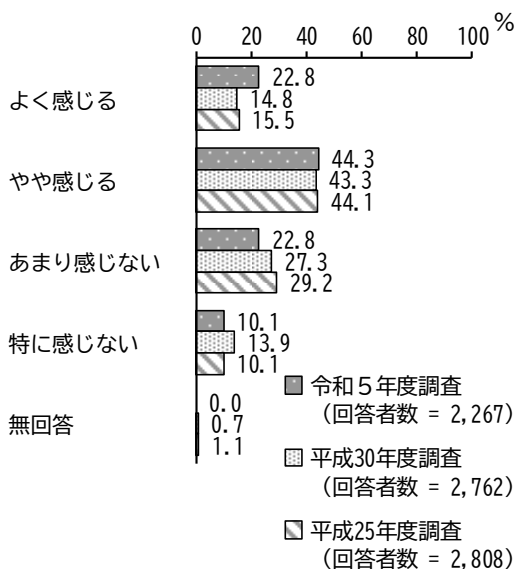
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



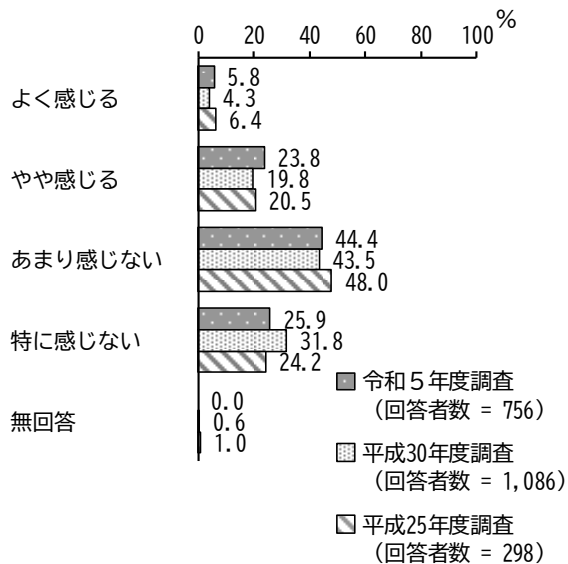
(2) 子育てに追われ、社会から孤立しているように感じる

低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。

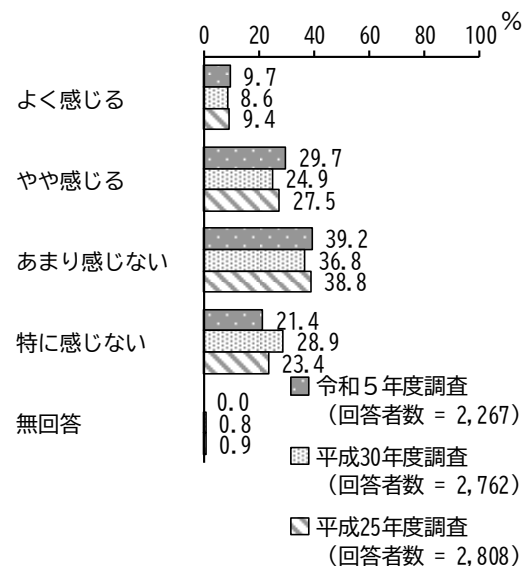
就学前児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。

一方、“感じない”の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



(3) 子育てによる身体の疲れを感じる

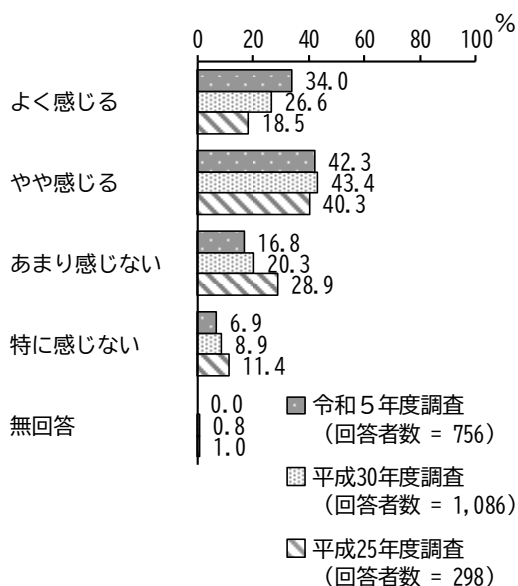
低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。

一方、“感じない”の割合が減少しています。

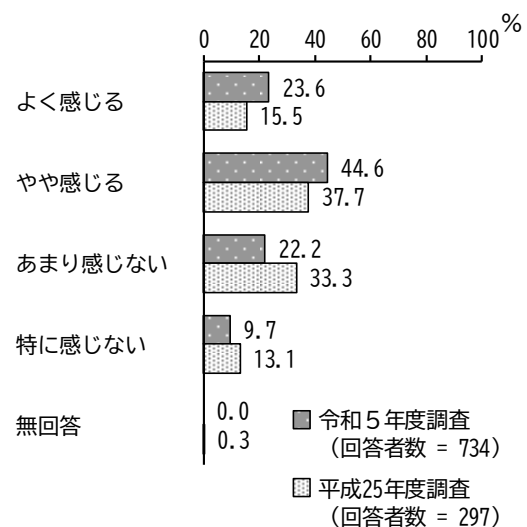
高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。

一方、“感じない”の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】

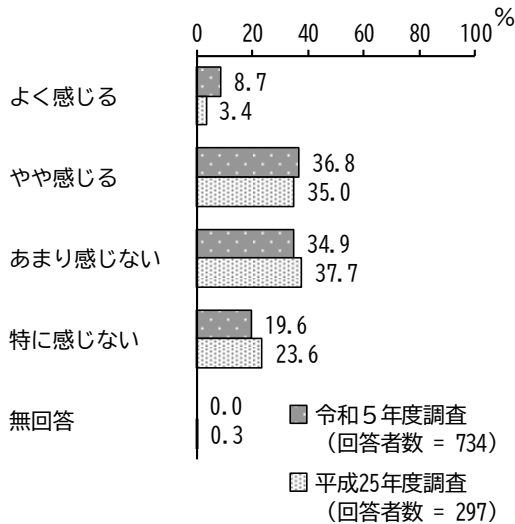


(4) 子どもとの接し方やしつけの方法がわからない

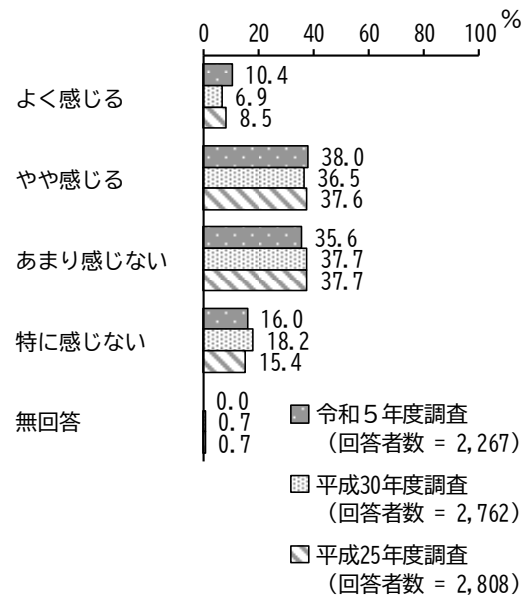
高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる” の割合が増加しています。一方、“感じない” の割合が減少しています。

就学前児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる” の割合が増加しています。

【高学年児童保護者】



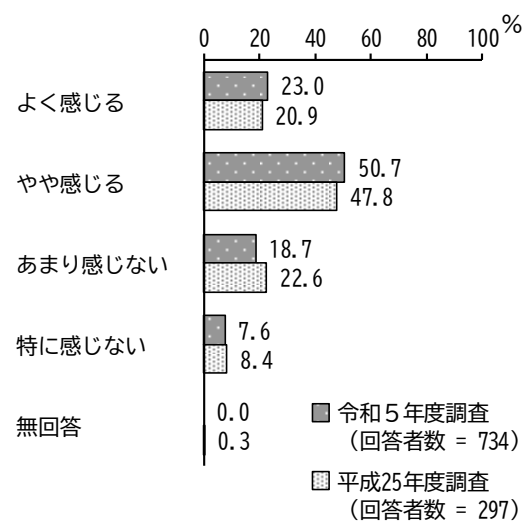
【就学前児童保護者】



(5) 子どもが思うようにならないときイライラする

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる” の割合が増加しています。

【高学年児童保護者】

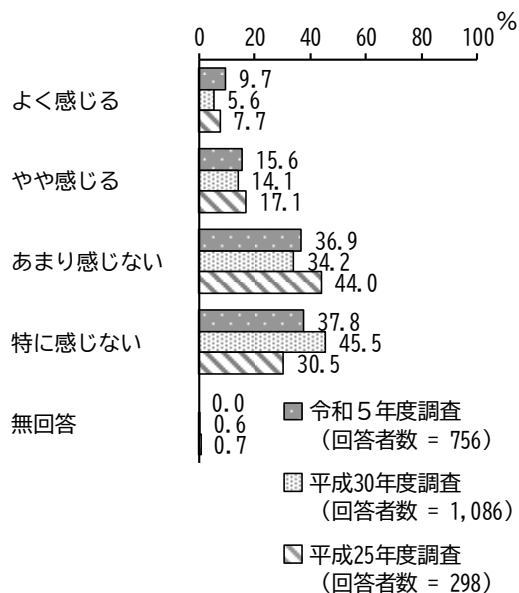


（６）同じ年齢の子どもと比較すると発育、発達の遅れが心配

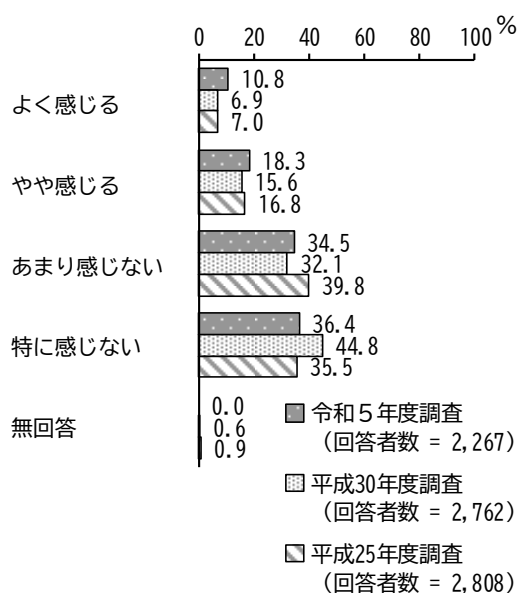
低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



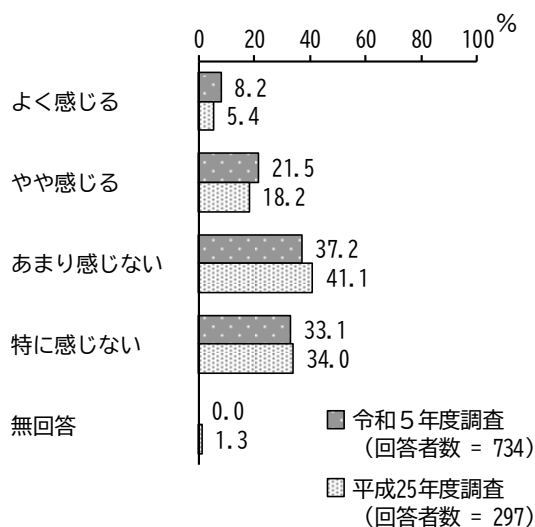
【高学年児童保護者】



（８）子育てに対する配偶者や家族の協力が得られない

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。

【高学年児童保護者】

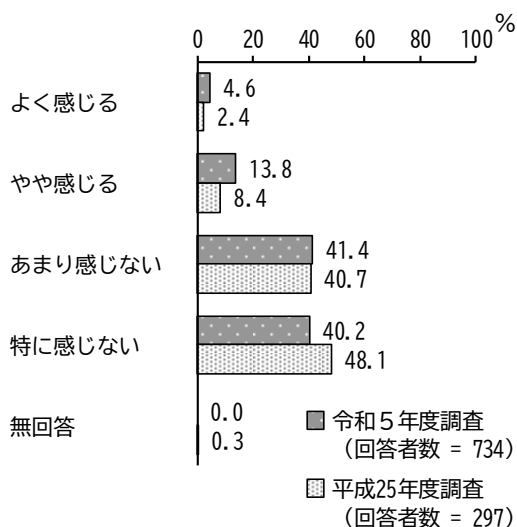


(9) 子育てに関する不安や悩みを気軽に相談できる相手が身近にいない

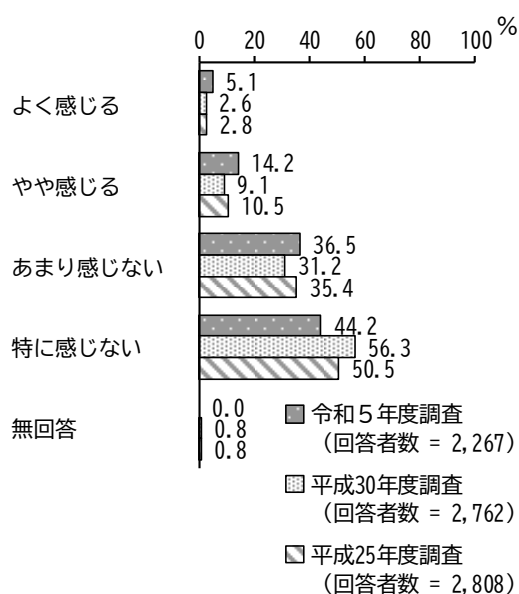
高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

就学前児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

【高学年児童保護者】



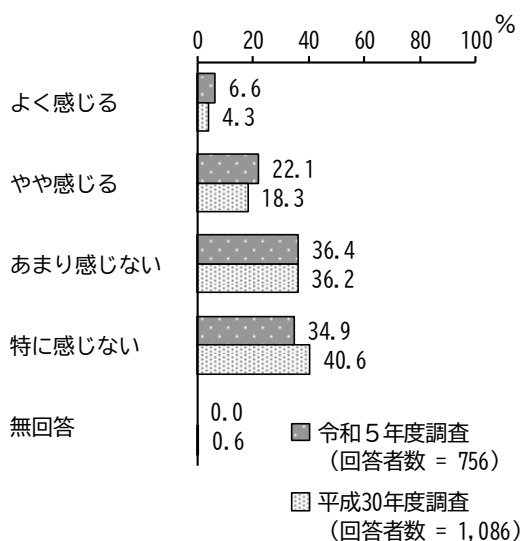
【就学前児童保護者】



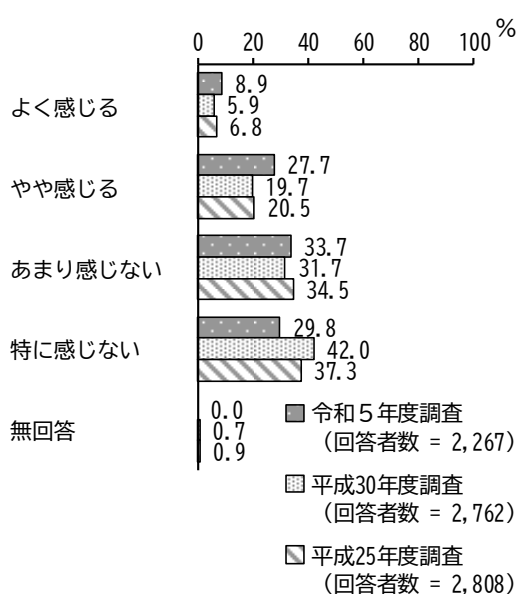
(10) 子どもの遊び相手がいない

低学年児童保護者・就学前児童保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

【低学年児童保護者】



【就学前児童保護者】

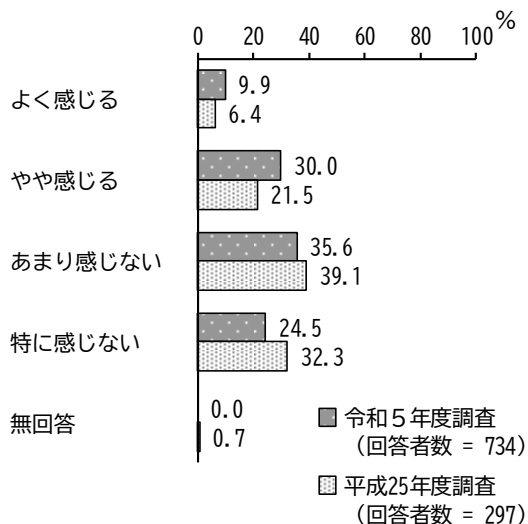


(11) 子どもを通じたほかの家族とのつきあいが難しい

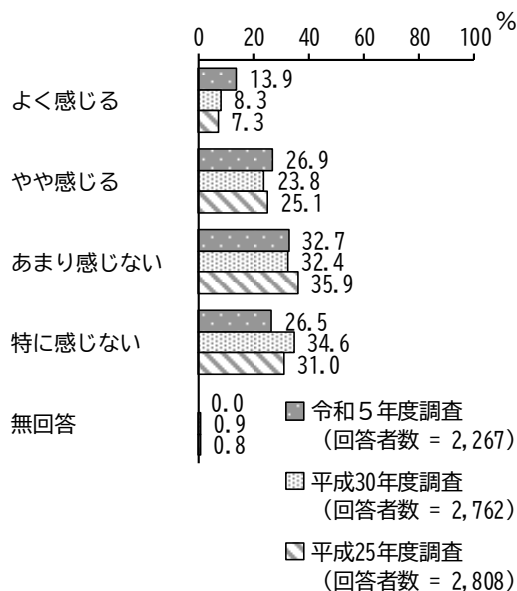
高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

就学前児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

【高学年児童保護者】



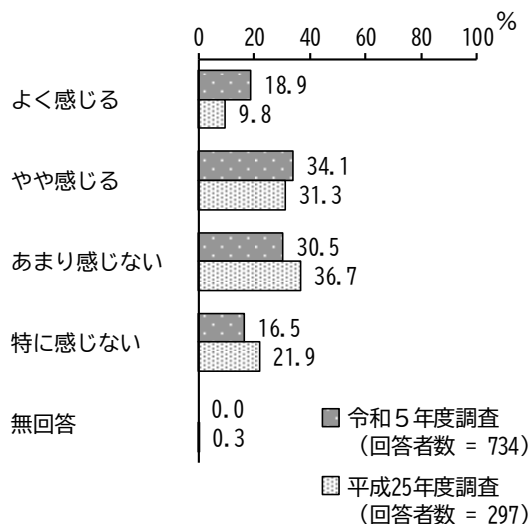
【就学前児童保護者】



(12) 自分の時間が取れず、自由がない

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

【高学年児童保護者】

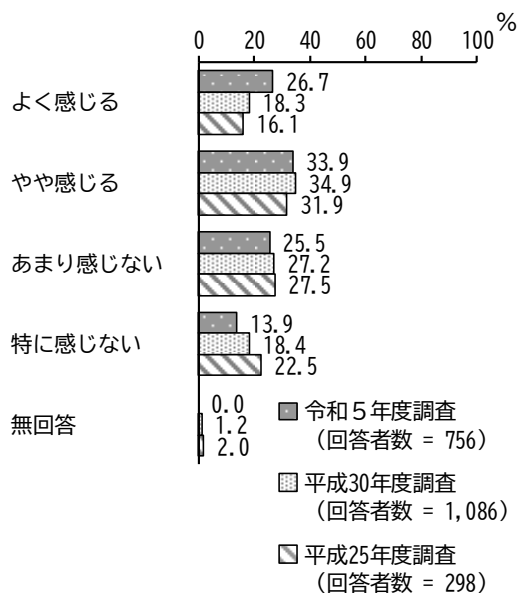


(13) 仕事と子育ての両立が難しい

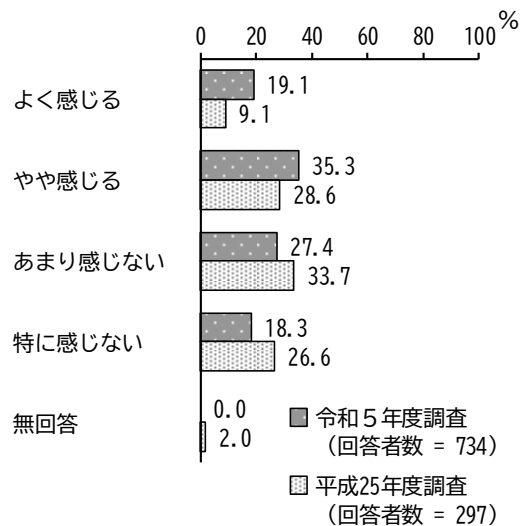
低学年児童保護者・就学前児童保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

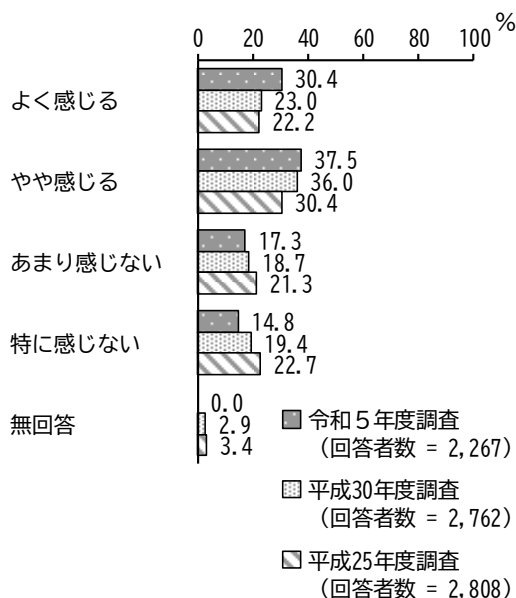
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



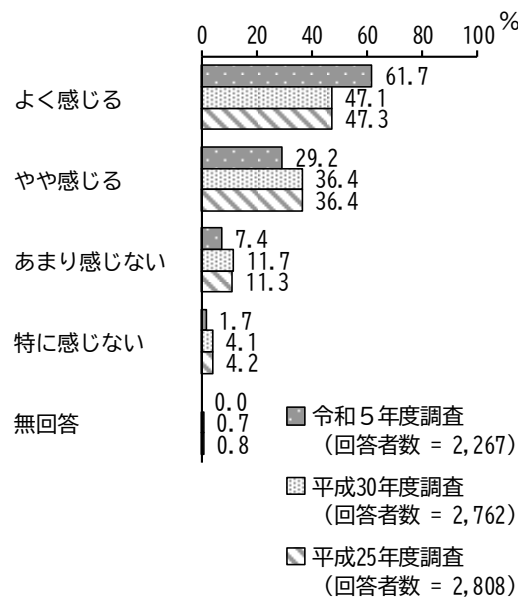
【就学前児童保護者】



(14) 子育てにお金がかかる

就学前児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。一方、“感じない”の割合が減少しています。

【就学前児童保護者】

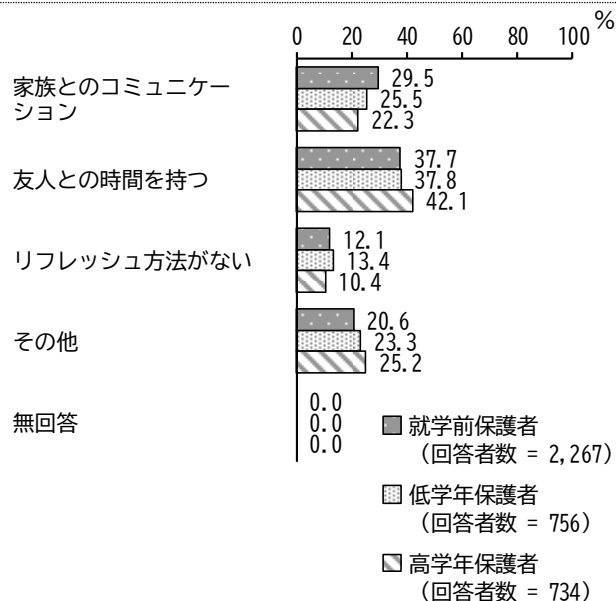


子育てにつらいと感じるとき、どのようにしてリフレッシュしますか。あてはまるものを選んでください。

就学前児童保護者では、「友人との時間を持つ」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「家族とのコミュニケーション」の割合が 29.5%、「リフレッシュ方法がない」の割合が 12.1%となっています。

低学年児童保護者では、「友人との時間を持つ」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「家族とのコミュニケーション」の割合が 25.5%、「リフレッシュ方法がない」の割合が 13.4%となっています。

高学年児童保護者では、「友人との時間を持つ」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「家族とのコミュニケーション」の割合が 22.3%、「リフレッシュ方法がない」の割合が 10.4%となっています。

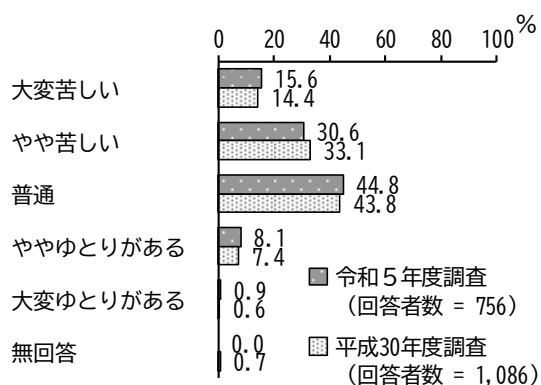


現在の家計の状況について、あなたはどのように感じていますか。あてはまるものを選んでください。

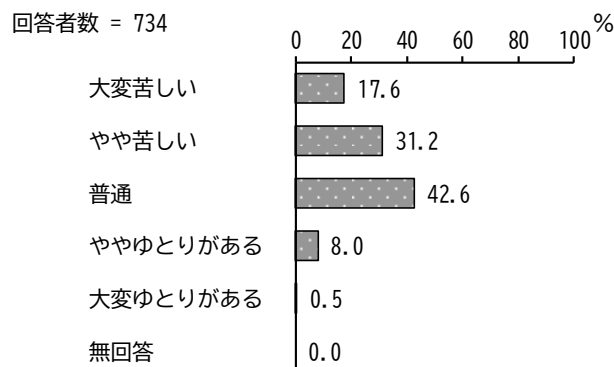
低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者ともに「普通」の割合が最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が高くなっています。

低学年児童保護者、就学前児童保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

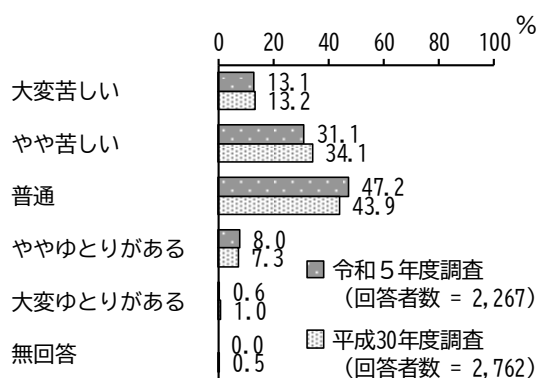
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】



自分自身の子育てが、地域の人々や地域社会に支えられていると思いますか。あてはまるものを選んでください。

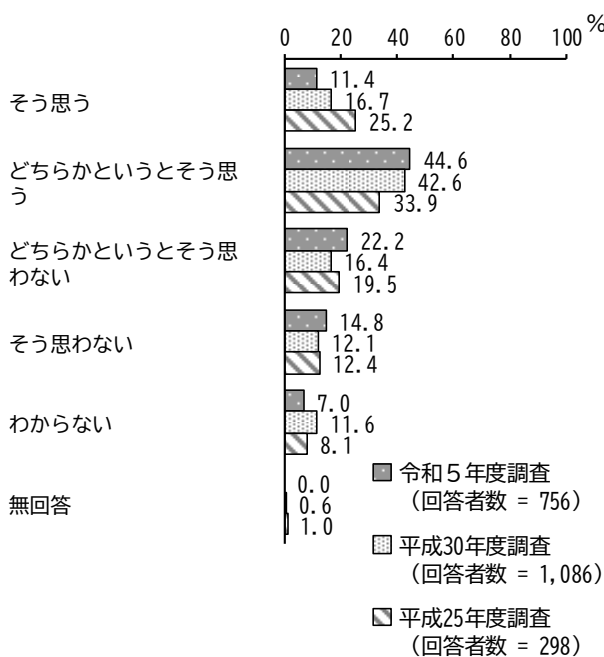
低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者ともに、「どちらかというと思う」の割合が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」の割合が高くなっています。

低学年児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかというと思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。

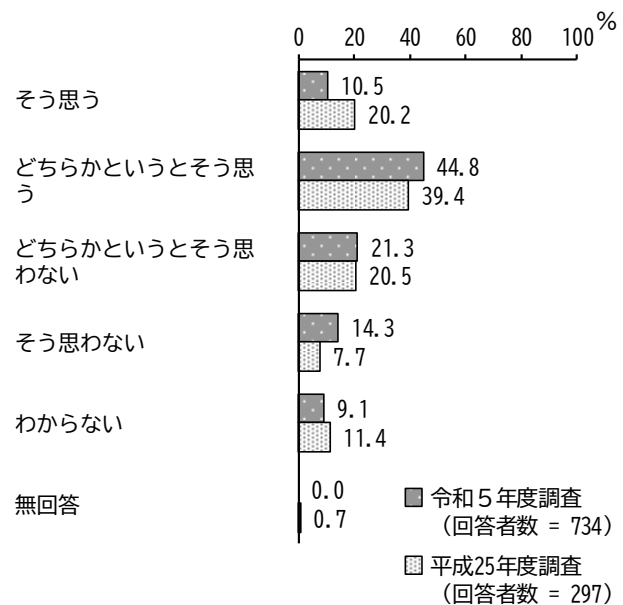
高学年児童保護者では、平成 25 年度調査と比較すると、「どちらかというと思う」「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。

就学前児童保護者では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

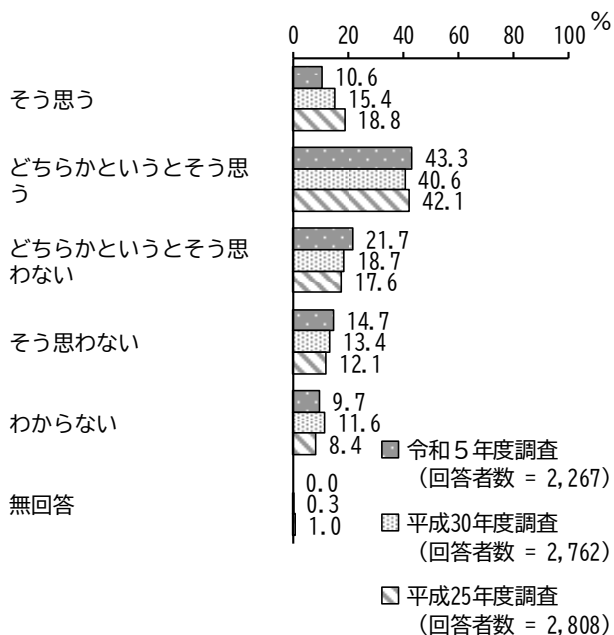
【低学年児童保護者】



【高学年児童保護者】



【就学前児童保護者】

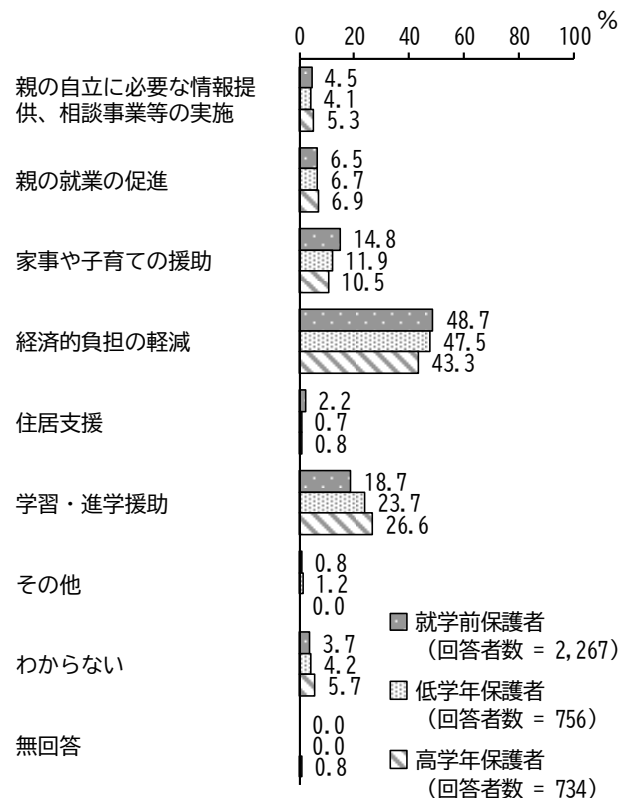


家庭環境が、子どもの将来の可能性を制限（子どもへの貧困の連鎖）することがないよう、市で行っている事業の中で、特に重要と考えるものについて、あてはまるものを1つ選んでください。

就学前児童保護者では、「経済的負担の軽減」の割合が48.7%と最も高く、次いで「学習・進学援助」の割合が18.7%、「家事や子育ての援助」の割合が14.8%となっています。

低学年では、「経済的負担の軽減」の割合が47.5%と最も高く、次いで「学習・進学援助」の割合が23.7%、「家事や子育ての援助」の割合が11.9%となっています。

高学年児童保護者では、「経済的負担の軽減」の割合が43.3%と最も高く、次いで「学習・進学援助」の割合が26.6%、「家事や子育ての援助」の割合が10.5%となっています。

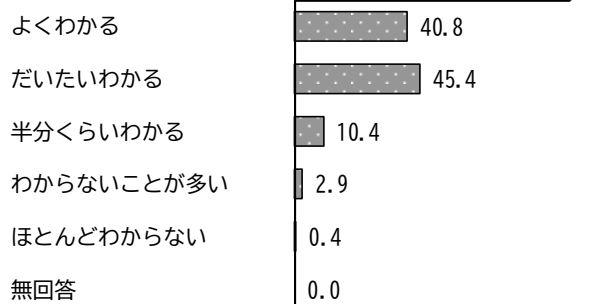


2 小学校高学年本人

学校のじゅ業はよくわかりますか。

「だいたいわかる」の割合が最も高くなっています。

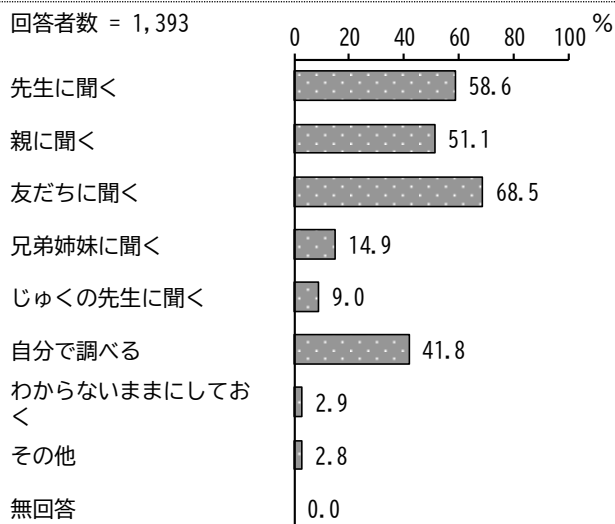
回答者数 = 1,393



学校のじゅ業がわからないときはどうしますか。あてはまるものすべてをお答えください。

「友だちに聞く」の割合が最も高く、次いで「先生に聞く」、「親に聞く」の割合が高くなっています。

回答者数 = 1,393



ふだん、学校以外で1日どのくらい勉強をしていますか。

「30分くらい」の割合が最も高く、次いで「1時間くらい」、「ほとんどしていない」の割合が高い傾向にあります。

回答者数 = 1,393

ほとんどしていない

30分くらい

1時間くらい

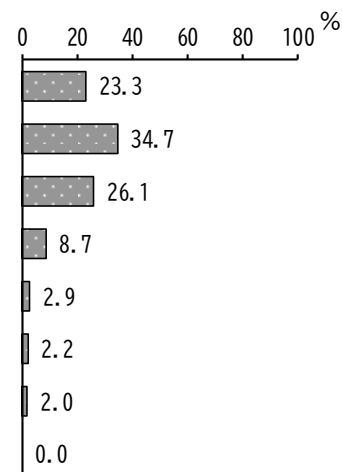
2時間くらい

3時間くらい

4時間くらい

5時間以上

無回答



(体調が悪いとき以外で) 学校に行きたくないと思ったことはありますか。

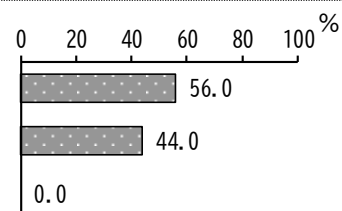
「ある」の割合が 56.0%、「ない」の割合が 44.0%となっています。

回答者数 = 1,393

ある

ない

無回答



学校に行きたくないと思った理由はなんでしたか。 あてはまるものすべてをお答えください。

「なんとなく行きたくない」の割合が最も高く、次いで「勉強がわからない、したくない」、「友だちとケンカした」の割合が高い傾向にあります。

回答者数 = 780

友だちとケンカした

先生にしかられた

親にしかられた

友だちがいない

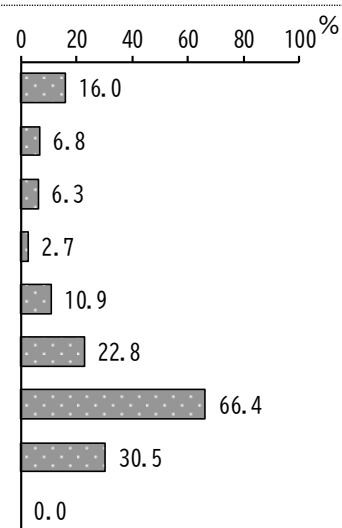
いじめられた

勉強がわからない、したくない

なんとなく行きたくない

その他

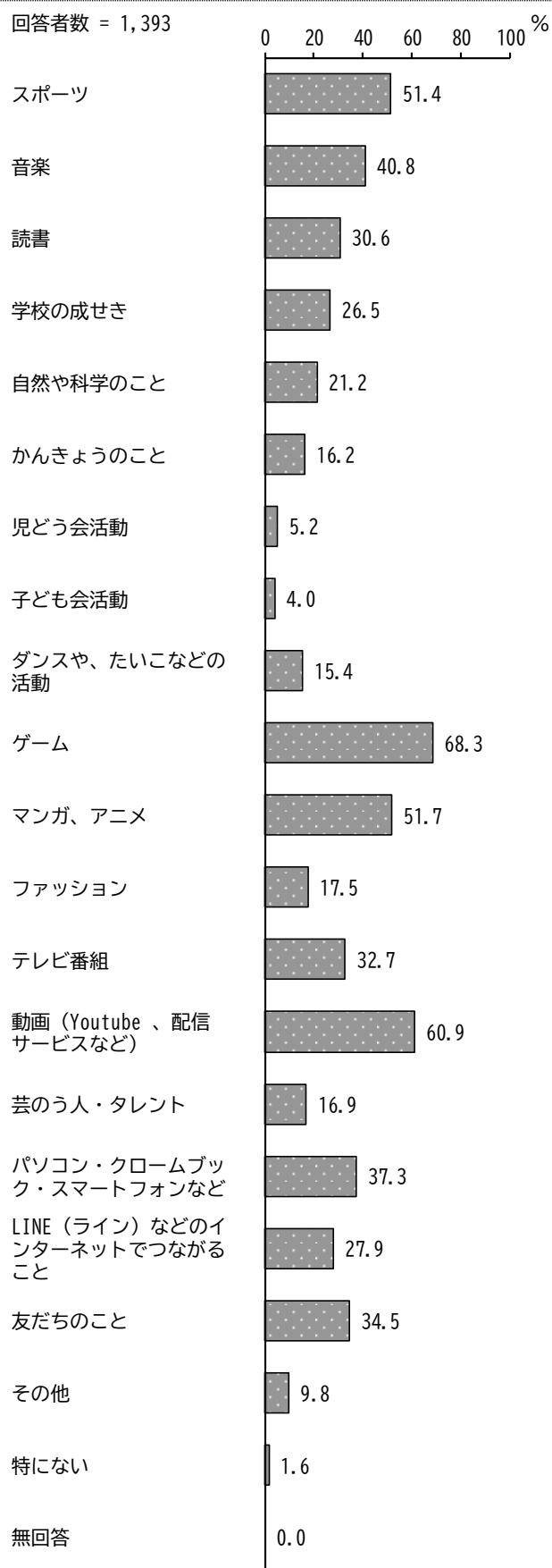
無回答



今、どのようなことにきょうみがありますか。あてはまるものすべてをお答えください。

「ゲーム」の割合が最も高く、次いで「動画（Youtube、配信サービスなど）」、「マンガ、アニメ」の割合が高い傾向にあります。

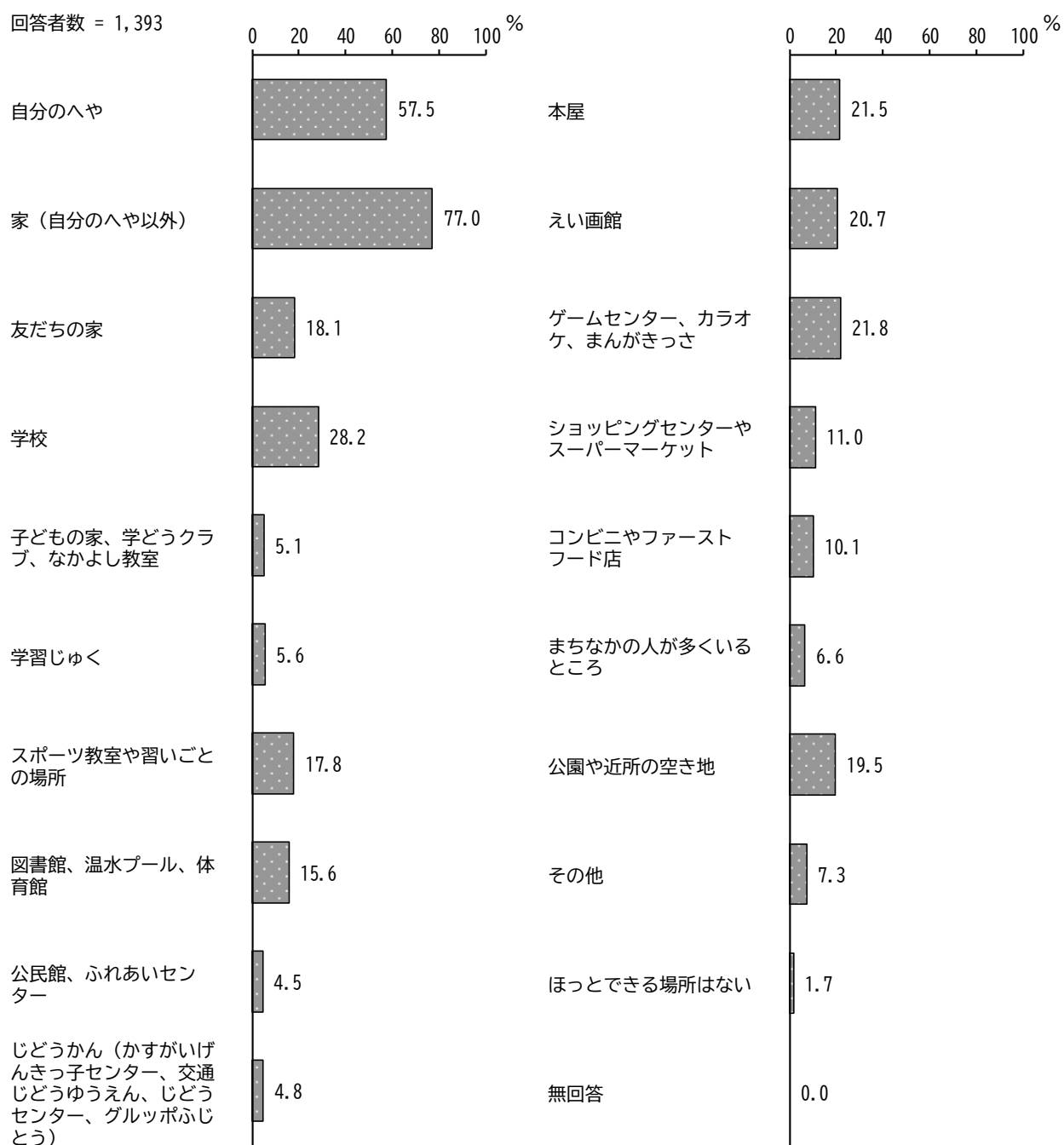
回答者数 = 1,393



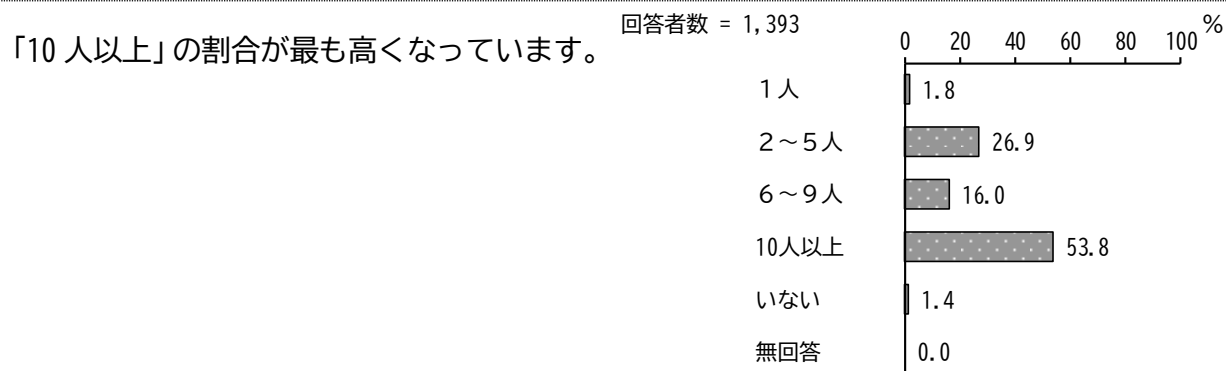
あなたにとって安心してくつろげる（ほっとする）場所はどこですか。あてはまるものすべてをお答えください。

「家（自分のへや以外）」の割合が最も高く、次いで「自分のへや」、「学校」の割合が高い傾向にあります。

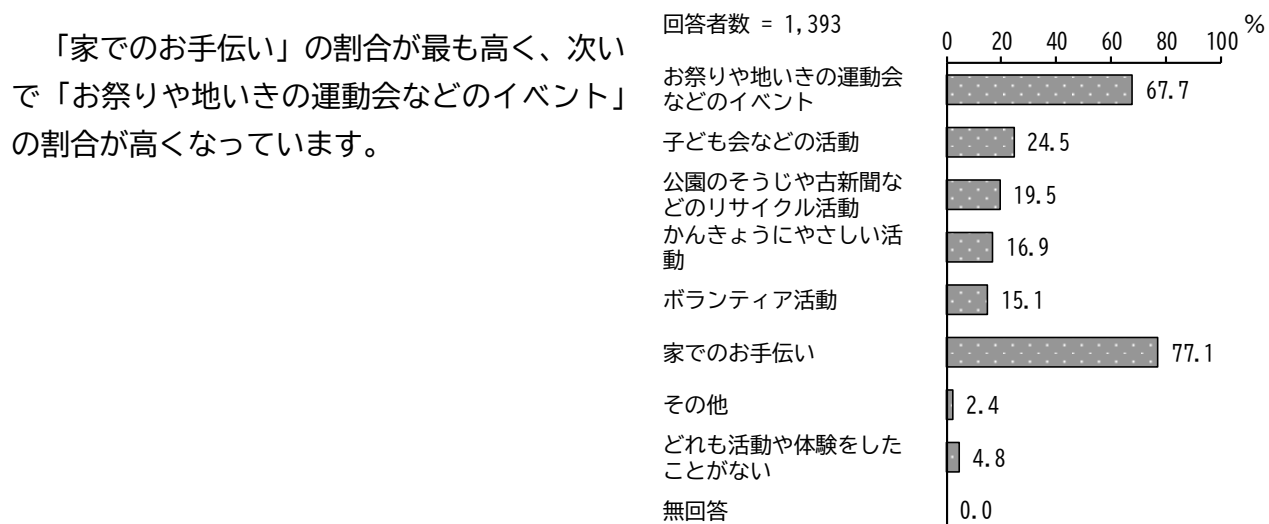
回答者数 = 1,393



いっしょに遊んだり話したりする友だちは何人くらいいますか。



最近1年間に学校以外の活動で、次のような活動や体験をしたことがありますか。あてはまるものすべてをお答えください。



親とその日の出来事をおはなししますか。

「たくさん話す」と「話す」をあわせた“親と話す”の割合が「あまり話さない」と「話さない」をあわせた“親と話さない”の割合より高くなっています。

回答者数 = 1,393

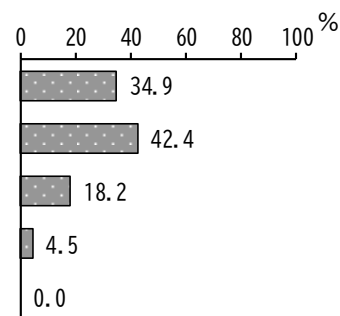
たくさん話す

話す

あまり話さない

話さない

無回答



親や大人ともっとおはなししたいですか。

「今と同じくらいがいい」の割合が最も高くなっています。

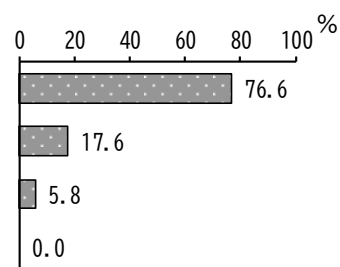
回答者数 = 1,393

今と同じくらいがいい

もっと話したい

話したくない

無回答



家での生活は楽しいか（楽しくないか）教えてください。

「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が93.6%となっています。

回答者数 = 1,393

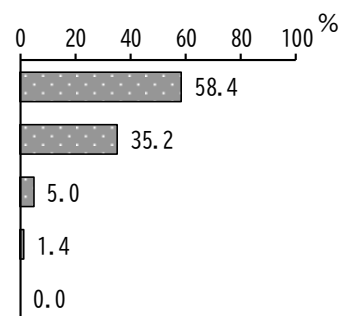
とても楽しい

楽しい

あまり楽しくない

楽しくない

無回答



学校生活は楽しいか（楽しくないか）教えてください。

「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が87.1%となっています。

「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合も10%を超えています。

回答者数 = 1,393

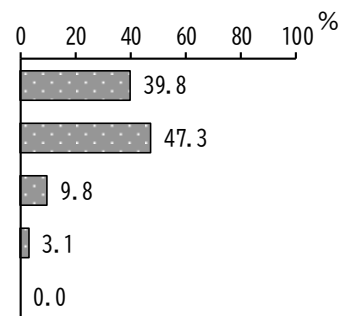
とても楽しい

楽しい

あまり楽しくない

楽しくない

無回答



友だちとの関係は楽しいか（楽しくないか）教えてください。

「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が95.0%となっています。

回答者数 = 1,393

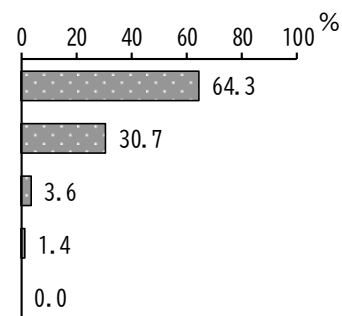
とても楽しい

楽しい

あまり楽しくない

楽しくない

無回答



なやみや心配なことがありますか。あてはまるものすべてをお答えください。

「勉強や中学校のこと」の割合が最も高く、次いで「特にない」、「自分のせいかくのこと」の割合が高い傾向にあります。

回答者数 = 1,393

勉強や中学校のこと

家族のこと

家族以外の大人のこと

友だちのこと

お金のこと

自分のせいかくのこと

自分のスタイルや顔のこと

自分の健康のこと

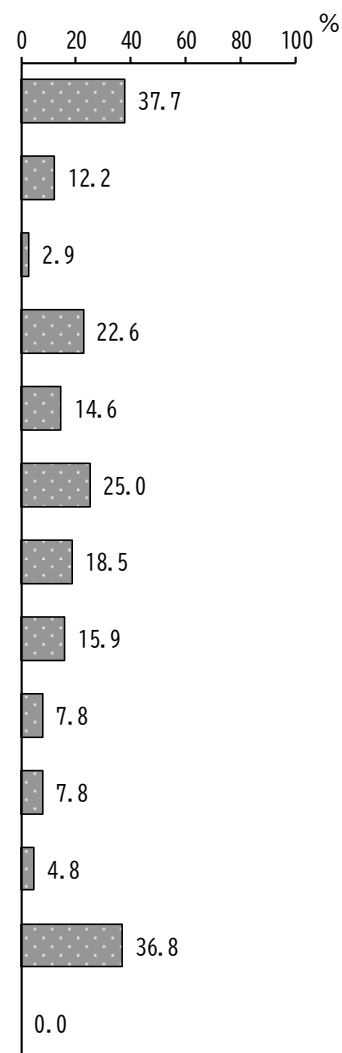
性のこと（自分のからだの変化のこと）

インターネット、オンラインゲームなどのトラブル

その他

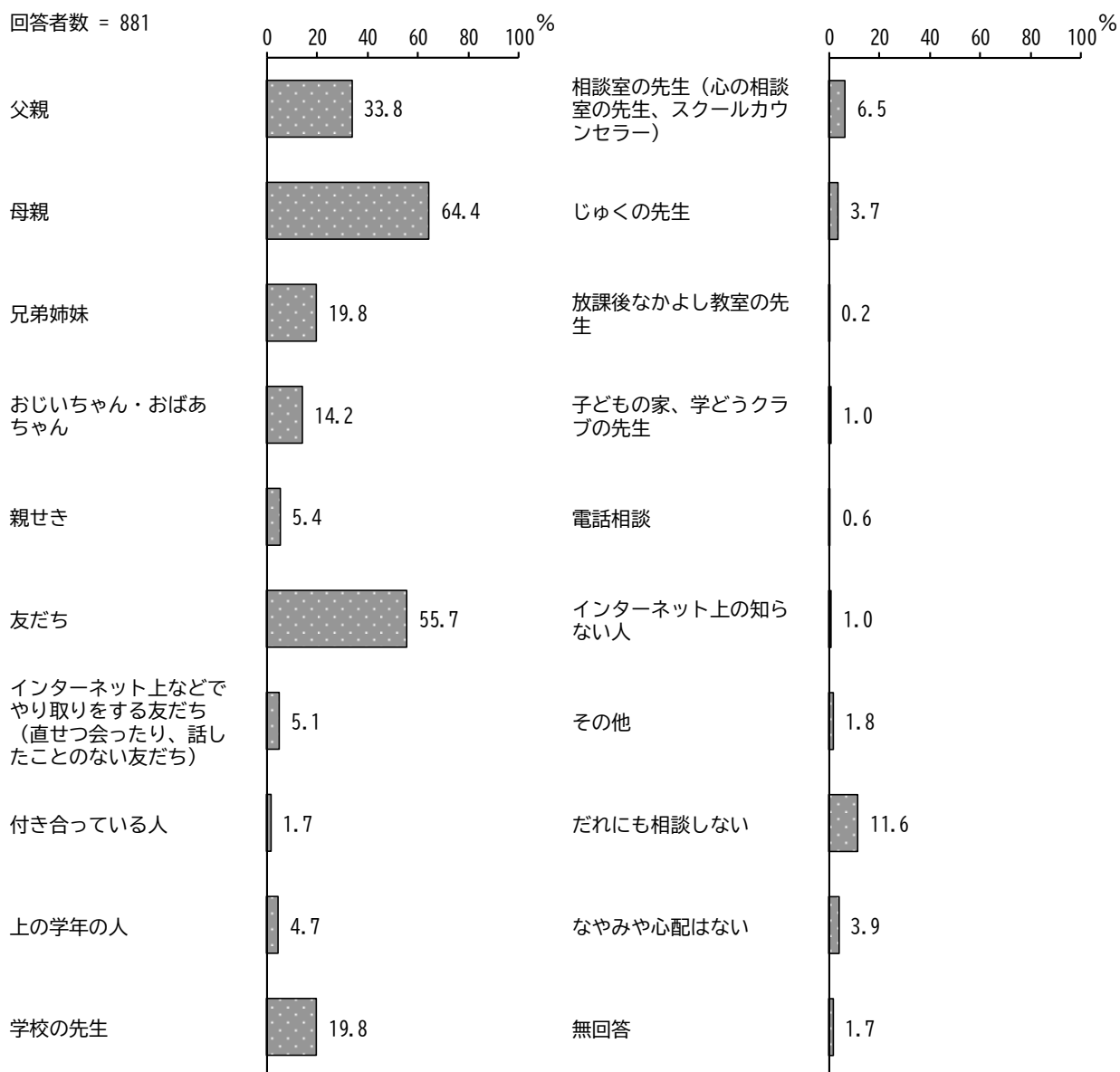
特にない

無回答



なやみや心配なことはだれに相談しますか。あてはまるものすべてをお答えください。

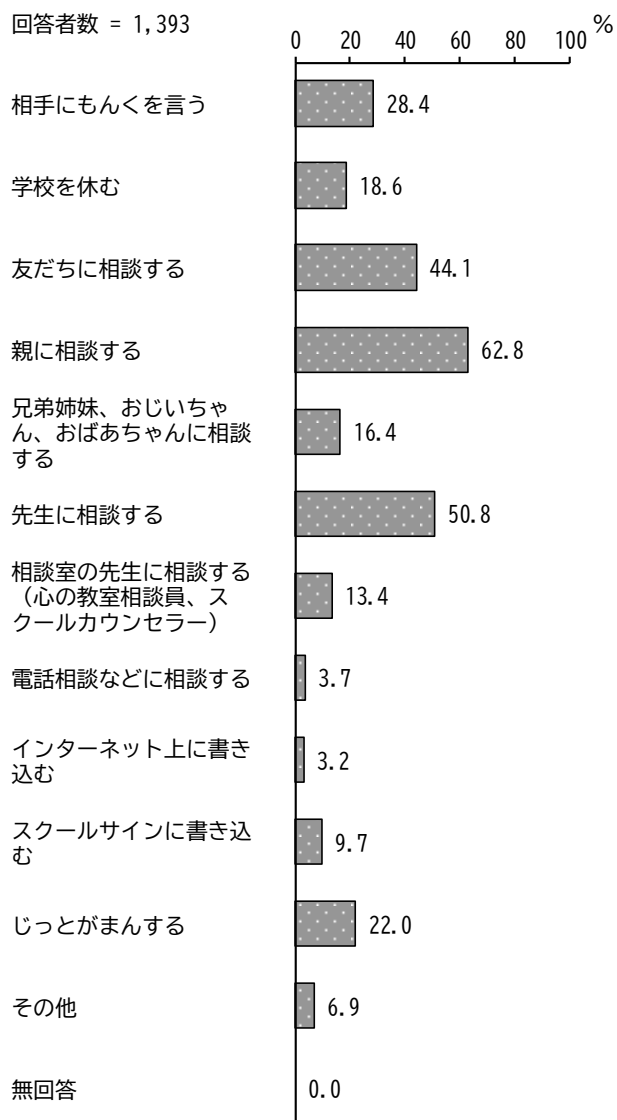
「母親」の割合が最も高く、次いで「友だち」、「父親」の割合が高い傾向にあります。



もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか。あてはまるものすべてをお答えください。

「親に相談する」の割合が最も高く、次いで「先生に相談する」、「友だちに相談する」の割合が高い傾向にあります。

回答者数 = 1,393



【なやみや心配なことの相談先別】

なやみや心配なことの相談先別にみると、だれにも相談しないで「じっとがまんする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	相手にもんくを言う	学校を休む	友だちに相談する	親に相談する	兄弟姉妹、おじいちゃん、おばあちゃんに相談する	先生に相談する
全 体	881	30.3	23.0	45.2	62.3	17.3	48.4
父親	298	31.2	25.5	53.0	80.5	26.2	63.8
母親	567	30.0	24.3	49.6	76.0	20.8	55.0
兄弟姉妹	174	30.5	28.2	54.0	70.7	47.1	55.2
おじいちゃん・おばあちゃん	125	35.2	21.6	53.6	83.2	48.0	61.6
親せき	48	43.8	33.3	64.6	85.4	43.8	68.8
友だち	491	33.4	24.2	65.4	68.0	22.2	55.6
インターネット上などでやり取りをする友だち(直せつ会ったり、話したことのない友だち)	45	42.2	35.6	64.4	71.1	22.2	37.8
付き合っている人	15	40.0	33.3	46.7	60.0	20.0	53.3
上の学年の人	41	43.9	22.0	75.6	78.0	43.9	68.3
学校の先生	174	31.0	23.6	63.2	82.2	29.9	81.6
相談室の先生(心の相談室の先生、スクールカウンセラー)	57	22.8	29.8	63.2	75.4	33.3	71.9
じゅくの先生	33	30.3	24.2	57.6	78.8	39.4	66.7
放課後なかよし教室の先生	2	—	—	100.0	100.0	50.0	50.0
子どもの家、学どうクラブの先生	9	33.3	33.3	77.8	66.7	—	77.8
電話相談	5	40.0	60.0	80.0	80.0	40.0	60.0
インターネット上の知らない人	9	44.4	33.3	44.4	44.4	22.2	33.3
その他	16	25.0	18.8	37.5	50.0	25.0	43.8
だれにも相談しない	102	26.5	22.5	12.7	25.5	4.9	21.6
なやみや心配はない	34	41.2	17.6	35.3	55.9	8.8	47.1

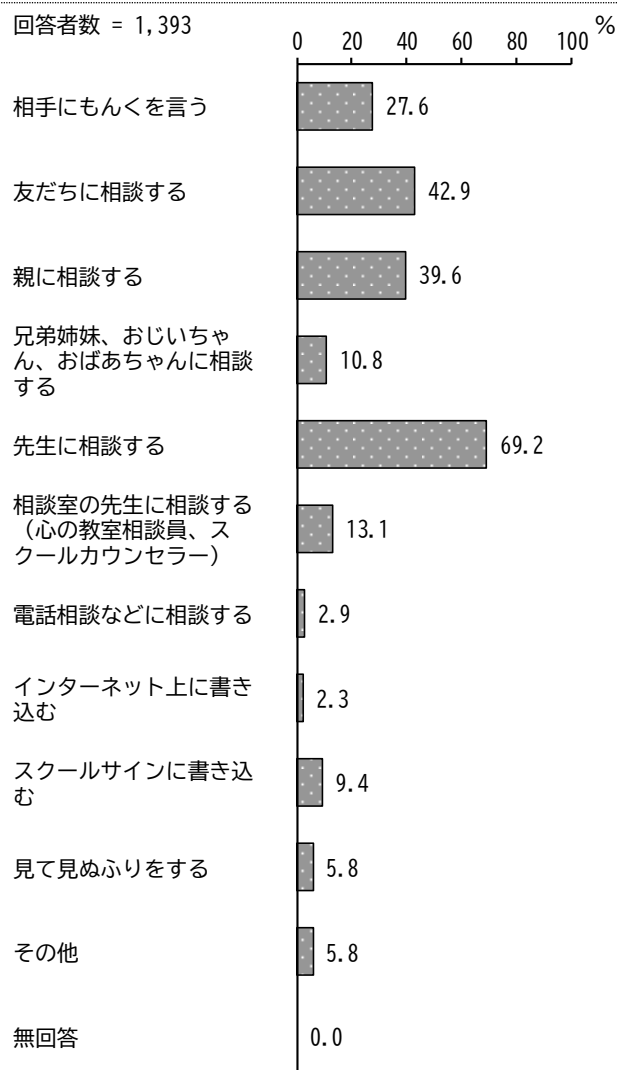
単位：％

区分	相談室の先生に相談する (心の教室相談員、スクールカウンセラー)	電話相談などに相談する	インターネット上に書き込む	スクールサインに書き込む	じつとがまんする	その他	無回答
全 体	12.5	3.2	3.6	10.4	25.1	7.4	—
父親	15.1	4.7	4.4	10.7	19.5	6.4	—
母親	13.4	3.0	3.2	9.5	22.0	6.0	—
兄弟姉妹	12.6	2.3	2.9	10.9	23.6	5.2	—
おじいちゃん・おばあちゃん	23.2	4.0	6.4	8.8	21.6	4.0	—
親せき	20.8	10.4	4.2	12.5	22.9	6.3	—
友だち	15.9	3.3	3.5	11.8	22.2	6.3	—
インターネット上などでやり取りをする友だち (直せつ会ったり、話したことのない友だち)	17.8	4.4	24.4	15.6	20.0	6.7	—
付き合っている人	—	—	6.7	13.3	26.7	13.3	—
上の学年の人	19.5	12.2	7.3	9.8	22.0	9.8	—
学校の先生	21.3	5.2	3.4	13.2	21.3	6.3	—
相談室の先生（心の相談室の先生、スクールカウンセラー）	71.9	7.0	1.8	19.3	28.1	8.8	—
じゅくの先生	18.2	12.1	6.1	24.2	24.2	9.1	—
放課後なかよし教室の先生	50.0	—	—	—	—	—	—
子どもの家、学どうクラブの先生	33.3	11.1	—	11.1	11.1	22.2	—
電話相談	20.0	60.0	40.0	40.0	—	—	—
インターネット上の知らない人	22.2	11.1	55.6	44.4	33.3	22.2	—
その他	6.3	6.3	6.3	18.8	37.5	37.5	—
だれにも相談しない	4.9	2.0	2.9	7.8	49.0	12.7	—
なやみや心配はない	11.8	8.8	5.9	8.8	17.6	—	—

(前ページの表 続き)

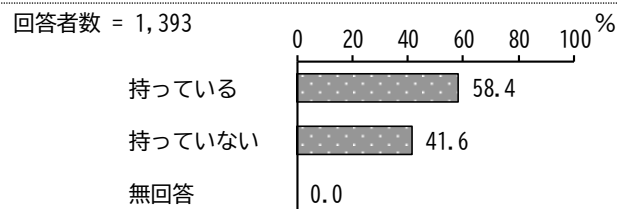
もし、あなたがいじめを見たらどうしますか。あてはまるものすべてをお答えください。

「先生に相談する」の割合が最も高く、次いで「友だちに相談する」、「親に相談する」の割合が高い傾向にあります。



自分のスマートフォンを持っていますか。

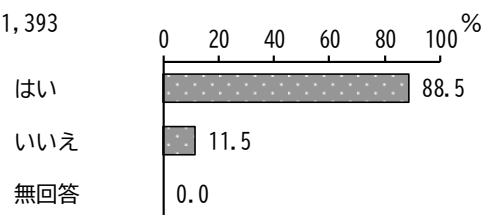
6割近い児童が「持っている」と回答しています。



ふだん、学校のじゅ業以外で、インターネットを利用していますか。

9割近い児童が「利用している」と回答しています。

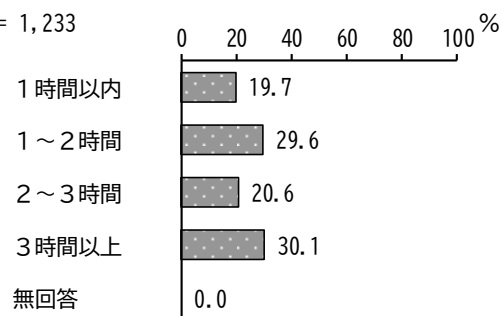
回答者数 = 1,393



パソコン・スマートフォンなどで、インターネットを1日どのくらい利用しますか。

「3時間以上」の割合が最も高くなっています。

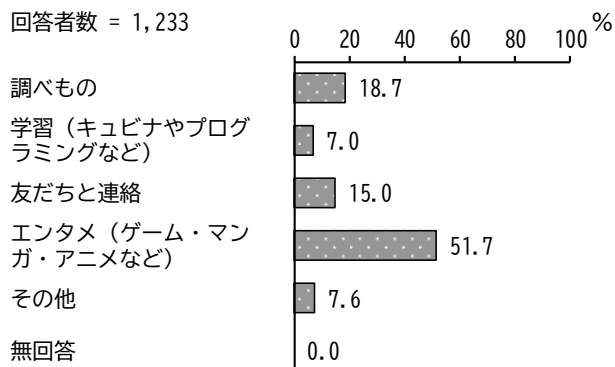
回答者数 = 1,233



パソコン・スマートフォンなどで、1番どんなことに利用していますか。

「エンタメ（ゲーム・マンガ・アニメなど）」の割合が最も高くなっています。

回答者数 = 1,233



Ⅲ 自由意見

調査において、子育てに関する意見を自由に記述していただきました。
主な意見を抜粋して掲載します。

1 低学年児童保護者、高学年児童保護者、就学前児童保護者

(1) 低学年児童保護者

- ・今しかない子どもとの時間をもっと大切にできるよう、社会全体が仕事量を減らしたり、子どもの体調不良の時に気持ちよく休むことができたりなど、良い雰囲気になっていくことを願っています。【小学1年生】
- ・子どもたちが使う通学路で危険な箇所を早期に対処してほしい。【小学1年生】
- ・災害が起きたときに、どう避難するのか不安です。小学校で授業参観があるように、避難訓練も家族単位でできたらと思います。【小学1年生】
- ・勝川町の町内会は地域全体で子どもを歓迎する雰囲気で、大変ありがたかったです。このような空気が市内全体に広まるとよいです。【小学2年生】
- ・補助金申請には難しい見慣れない言葉が並べられ理解不能。【小学2年生】
- ・地震や緊急時の訓練など、親子で参加できるイベントなどを頻繁に開催してほしいです。災害があった時に子どもや家族の命も守りたいので、学校内だけではなく誰でも参加できる機会を増やしていただきたいです。【小学1年生】

(2) 高学年児童保護者

- ・ひとり親家庭の援助について。収入により、援助の度合や、打ち切りはやめてほしいです。収入の壁をもう少し緩和させ、ひとり親家庭でも、給食や学用品などの、学校で最低限要るものは援助していただきたいです。【小学5年生】
- ・子育て世帯の親が子どもと一緒に夕ご飯を食べられる働き方ができるとよい。時間、お金、気持ちにゆとりが持てると子どものペースに合わせ向き合って、子育てが楽しめると思う。【小学5年生】
- ・げんきっ子センターのような、子どもが自分で安心して遊びに行ける場所が、小学校区毎に設置されるとよい。【小学5年生】
- ・保護者も子どもたちも情報収集が大事だと思います。学校側や市からも、市民に対しての情報公開を敏速に対応してもらえると幸いです。【小学6年生】
- ・学校の先生の人数が少ないから、地域で時間がある人が協力できる体制をつくること。もっとみんなで、学校を支えられるようにしていかないとダメな気がする。【小学5年生】
- ・医療機関で働いているため、終了時刻が20時で、子どもが低学年以下のとき、預け先がなくて夕診時刻に働くことを断念しました。夜の時間帯に預かってもらえる場所などがなくて困っていたので、あるとありがたいと思いました。【小学6年生】
- ・サンフロッグの水泳教室や、総合体育館のスポーツ教室で、民間の習い事に比べると安い金額でいろいろ教えていただけて非常に助かっています。勉強の面でもこのような取り組みをしていただけると助かります。【小学5年生】

- ・不登校やヤングケアラー問題に多くの人が関心を持てるように、情報をもっと発信するべき。
【小学5年生】
- ・遊びにいくとか買い物に行かせるにも、治安が良くないと、子どもだけでは行かせられないため、防犯対策にも力を入れてほしい。【小学4年生】
- ・多子世帯に対して、小さい頃でなく、子どもが大きくなってからの支援などが無い。最初だけ出産時赤ちゃんの時だけで、どんどん見放されているような気がしてしまいます。
【小学4年生】
- ・不登校の支援をもっと充実させてほしい。子どもへの支援だけではなく、まず親への支援をお願いしたい。【小学4年生】
- ・子どもに関する支援等は所得制限なく利用できるようにしてほしい。【小学6年生】
- ・出産から3年が、経済的にも精神的にも親が一番未熟な時期なので、SNSの活用をしてけると住みやすいさ繋がると思う。【小学4年生】
- ・良い先生にたくさん勤めていただけるよう、先生方が働きやすい環境にしてあげてほしいです。クレマー的な親などへの対応は専門窓口や法律関係などチームで対応し、先生を守ってあげてほしいです。【小学4年生】
- ・幼稚園の役員、PTA、子ども会の役員がとても負担に思う。断れない、やらないのはおかしい、ということがなくなればよいと思います。【小学4年生】
- ・長期休暇期間の間、学童を利用する際の昼食は給食などを支給してほしい。【小学5年生】
- ・子どもたちが夢を諦めなくてもいいように、大学までなんらかの援助や無償化を願います。
【小学5年生】
- ・家で親に宿題など見てもらえる子どもと、親が働いていて見てもらえない子との学習の差や食生活、睡眠時間などで影響があるように思う。女性の社会参加は必要ではあるが、子どもに皺寄せがあるように感じる。【小学6年生】

（３）就学前児童保護者

- ・市役所の中に一時預かり所がほしい。小さな赤ちゃんを抱えて届け出を出さなくてはいけない人は本当にしんどいと思う。【0歳】
- ・幼児が参加できる市民講座を土日にたくさん増やしてほしいです。【3歳】
- ・市の相談窓口や子育て支援があるのは知っているが、名称や種類が多く、管轄が異なるものも混在していてわかりづらい。ワンストップセンターのようなものがあればよいと思う。（もうあるのかもしれませんが）【4歳】
- ・保育園の園庭開放はもっと入りやすいような雰囲気にしてほしいです。【0歳】
- ・保育園へ通っていてもお母さん同士の繋がりが持てないので、同じ保育園のお母さんとお話ができる機会がほしい。【2歳】
- ・保育士さんの労働環境の改善が子育て支援には欠かせないことだと思うので、充分支援していただきたいと思います。【0歳】
- ・子育ての考え方について、行政と企業の乖離が大きい。祝日で就業日は負担が凄い。【4歳】

- ・子育てに関する提出書類(出生届や児童手当など)をもっと簡素化できないか。産後2週間以内に記入して提出することが大変。【2歳】
- ・保育教材を購入するのは、収入が低い人にとってはとても痛手である。スモックは自由化になったが、通園カバン、手提げ袋も自由でよいと思う。【2歳】
- ・「ハッピーマムズ」など、まだまだ子育てを「母親」「女性」がやるものという差別意識をそのネーミングや利用制度に無意識に植え付けている部分があると思います。【0歳】
- ・6歳までの支援は充実していると思いますが、小中高大と大きくなるにつれて支援が少なくなるように感じます。年齢に比例して養育費は大きくなります。専門や短大、大学卒業が一般的になっている今はそこまで支援の幅を広げたほうがよいのではないのでしょうか。【0歳】
- ・予防接種や子どもの健診、何度も同じことを書かなければいけないことがたくさんある。書類をもっと簡潔化してほしい。【4歳】
- ・多胎児サークルを市の事業としてやってほしい。【1歳】
- ・子どもが家を出る前に出勤する場合の子どもの居場所問題。子どもを一人残して先に出勤しなくてはならないことも不安材料となり、職場復帰前に退職した。【4歳】
- ・一時預かりを利用したいのですが、持ち物が多すぎて利用するのが億劫です。布団は貸出、おむつやおしりふきなどの消耗品は購入(利用料に含める)というのは難しいのでしょうか。子どものことを書いて提出する用紙もありましたが、プリンターを持っていないのでスマホでできたらよいと思います【3歳】
- ・現代は近所との関わりが希薄になってきていると思うので、同世代の子を持つ親同士や、子育てをしている世帯と関われる事業やイベントの情報を発信してほしい。【0歳】
- ・病児保育が受けられるところが、あってないようなものなので、もっと受診できる施設がほしい。【年齢不明】
- ・産後のママが参加できる催し物の種類を増やしてほしい。数と枠が少なく、全然参加できなかったのが残念だった。【0歳】
- ・地域の支援サービスも知ってはいたが、本当に必要なときにそのサービスを利用しようと思える気力がわかず、行動までには至らなかった。地域で利用できるサービスをもっと気軽に利用できるようにし、必要なときに使えるようになればよいと感じる。行ってみよう、チャレンジしてみようと思える取り組みがほしい。例えば、産後1年3回まで利用可能券、100時間まで利用可能券など。母子手帳交付の際につけてもらえたらわかりやすい。サービスを知っていても、なかなか一歩目は踏み出しにくかった。【0歳】
- ・子どもを産んで育てることは大変で負担が大きい、という印象が社会の中で大きすぎるように思います。それは、「子育ては親がするもの」という雰囲気強く、周囲に社会に頼れないからこそその嘆きを取り上げられているからだと思います。多くの人に関わって子育てをできるようになれば、大変で負担が大きいだけでなく、楽しくて幸せなことと思えるのではないのでしょうか。【0歳】
- ・全く知らない人に子育てをお願いすることは怖いです。ファミリー・サポート・センターを使いたいけど、その人に任せても本当に大丈夫なのか不安です。【4歳】
- ・お弁当を持って遊びに行きたいが、公共施設の室内でお弁当を食べられる施設がとても少ないです。お弁当を食べられる室内子連れ施設を検討してほしいです。【0歳】

- ・子連れで行きやすいカフェ、もしくはキッチンカーなどが来てゆっくり過ごせるイベントや手づくり市場などがあるとよい。【3歳】
- ・小学校PTAの親の負担をなくしてほしい。【5歳以上】
- ・小学校区に1つずつ児童館や地域の人が集まれる場があるとよいと思う。【0歳】
- ・春日井市の公園や施設は月曜日定休が多く、幼稚園や小学校の行事の振り替えでお休みでも遊びに行く場所が少ないと感じます。【5歳以上】
- ・育児短時間や部分休業制度を活用し仕事をしているが、定時で帰れることが少なく時間外勤務も多いので、社会の風潮・職場の年配の方々の思考を変えてほしい。【2歳】
- ・多胎育児のきょうだい児のその場での一時預かりや、検診時の付き添いなど、事前申込などで配慮を受けられるとよいと思う。チャイルドシートや双子ベビーカー等のレンタルまたは譲渡サービスがあるとよい。【4歳】
- ・妊娠検診を、補助ではなく全額無料になるようにしてほしい。妊婦健診の都度持ち出しがあり、積み重なるととても大きな金額になります。【1歳】
- ・社会としては女性にも働いてもらいたいが、子どもから見たら常に時間に追われている余裕のない母親がいる家庭は望んでいないと思う。週休3日制や多様な働き方の選択肢があるとよいと思う。【1歳】
- ・春日井市の保育園の多くが土曜日は昼過ぎまでとなっていて、保育所を探すのも大変だった。土曜日も勤務があるため17~18時くらいまで保育時間を伸ばしてほしい。【2歳】
- ・小学生になった子どもの相談窓口などわからない。【3歳】
- ・障がいにはならないハンディキャップを持った子どもと、その親に対する相談先や窓口がないので相談できない。【0歳】
- ・公立保育園の連絡帳がアプリになったのはすごくよかったです。【3歳】
- ・子どもが小学生までの間は1日2時間の時短でも減額なし(行政が負担)の制度もつくってほしい。【0歳】
- ・町内会やこども会との関わり方を悩ましく思います。仕事や毎日の家事に追われ、役員の仕事を受ける心の余裕がありませんが、子どもは地域のお祭り等のイベントに行きたそうです。【3歳】
- ・保育園空き状況がWEBで確認できるようになってたのはよいと思います。【1歳】
- ・子育てキャラバン隊は大好きでした。上八田の子育て支援センターは保育園に通うまでよく利用して、コロナ禍の時は本当に助けられました。【4歳】
- ・外に出て仕事がしたい母親のためのセミナーや、就職活動の、お手伝いをできる環境がない。【5歳以上】
- ・土日祝の仕事の人でも働けるようにサポートしてほしいです。【5歳以上】
- ・働き先が決まらないと預け先も決められず、働き先からは預け先が決まらないと派遣先は紹介できないと言われ、板挟み状態で困っている。【0歳】

2 小学校高学年本人

- ・本がたくさんほしいけど、意外と高くてお小遣いだけでは買える本が少ない。「子供割」みたいな制度があったら、お小遣いでも買える本が増えるし、読書に興味を持つ子が増えると思う。

春日井市

子ども・子育てに関するアンケート調査

発 行 年 月：令和6年5月

発 行：春日井市 こども未来部 子育て推進課

〒486-8686

愛知県春日井市鳥居松町5-44

電 話：0568-85-620